

THE ROTARY-NO-TOMO

ロータリーの友

4

2017
APRIL
VOL.65 NO.4



過去から今、そして未来へ①
インターアクター

女性会員で広がる多様性

Rotary



CELEBRATE WITH US IN ATLANTA

アトランタ国際大会が近づいてきました。この大会が皆さまにとって最も素晴らしいロータリーの経験になると信じています。私たちは、ロータリー財団 100 周年を大いに祝うことになりますが、ロータリー財団が誕生したこのアトランタを置いてほかにふさわしい場所はありません。

ジュディーと私は、アトランタの町とその南部の温かいもてなしが大好きです。刺激を受け、楽しみ、新しい友人をつくるためにも、ぜひアトランタにお越しください。一生に一度の機会を、お見逃しなく！

John Judy

John Germ, Rotary International President,
and his wife Judy

大会へのご登録は
riconvention.org/jaから

Rotary



ロータリー国際大会
米国ジョージア州・アトランタ
2017年6月10日～14日

ワクチンの素晴らしい効果

親愛なるロータリアンの皆さん、世界的には、先進国でも発展途上国でも乳幼児の死亡率は低下しており、平均寿命は延びてきています。1960年には、新生児1,000人のうち182人が5歳になる前に亡くなっていました。今日では、この数は43人にまで減っています。1960年、子どもが生まれた時、平均寿命は52歳でしたが、今年生まれた子どもたちは平均で71歳まで生きると考えられています。

当時も今も、子どもの人生を決定する主要因は、この世に生を受けた時にほぼ決まっています。生まれた場所、家族の学歴や経済的な事情、医療が受けられるかどうか。公衆衛生における最も重要な進歩の一つが世界中の国々に行き届いた今、すべての子どもに行きわたらせなければならないものがあります。それは予防接種です。

ワクチンの接種により、ジフテリアや破傷風、風疹など、かつてはまん延していた疾病が世界中の多くの地域でほぼ根絶しています。ワクチンのおかげで、2000年以降、2,000万人の命がはしかから救われました。天然痘は根絶されています。次はポリオです。

30年前には、ポリオの症例数は全世界で年間約35万件と目されていました。2016年のポリオ発症例はわずか37件です。これは史上最低の記録です。安全で信頼性が高く安価なワクチンが広く使われるようになったため、この37人以外はポリオにかからずに済み、体がまひすることも、命を落とすことから免れました。

世界保健機関（WHO）によると、予防接種によって全世界で200万～300万人の命が救われていると推定されています。また、まひによる障がいと経済的損失という莫大な負担も回避できます。とはいえ、私たちにはもっとできることがあるはず。世界中のワクチン接種率を上げることで、さらに150万人の命が救えるのです。

4月24～30日に、ロータリーはWHO、ユニセフ、アメリカ疾病対策センターとともに世界予防接種週間の実施に参加し、ワクチンがグローバル医療に与える素晴らしい効果について人々の意識を高める活動を行います。今年のテーマは「Vaccines Work（ワクチンは効く）」です。ワクチンには効果があるのです。ワクチン接種率が上がれば、公衆衛生上の幅広い影響が得られます。ウイルス性肝炎を抑制し、抗生物質の必要性和抗生物質による耐性菌の発生率を下げ、より多くの子どもや若者たちに必要不可欠な医療を届けることができるようになるのです。健康な未来への最大の可能性をあらゆる子どもに与えるために、世界中のどの地域でも、定期的予防接種が重要であることに変わりはありません。

確かなことは何一つないこの世の中で、ワクチンは、「子どもたちを一生守る」という素晴らしい贈り物を与えてくれます。ポリオやほかの予防可能な疾病からすべての子どもたちを守るために共に活動することで、ロータリーは真に「人類に奉仕」しているのです。今の世代にも、これから生まれてくる世代にも。



ジョン F. ジャーム R I 会長の講演とニュースは www.rotary.org/office-president から。

John F. Germ
2016-17年度 国際ロータリー会長



ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

原文（英語）はこちらから

4月は母子の健康月間です

- 3 RI 会長メッセージ
ワクチンの素晴らしい効果 
RI 会長 ジョン F. ジャーム
-
- 19 ロータリー財団100周年を祝う
金沢香林坊 RC / 京都伏見 RC 吉村 将人 /
加古川市内3クラブ / 栃木 RC / 防府南 RC 村田 真美 /
栃木南 RC 堀橋 英夫 / 足利わたらせ RC 真尾 進一 /
庄原 RC / 富山みらい RC 幹事 吉田 大介 / 第2590地区
-
- 26 視点 ガバナーのページ
第2600地区 原 拓男 / 第2610地区 岡部 一輝
第2620地区 生子 哲男 / 第2630地区 鋤田 廣喜
第2750地区 大槻 哲也 / 第2760地区 服部 良男
第2780地区 佐野 英之 / 第2640地区 福井隆一郎
-
- 30 World Roundup
世界のロータリーニュース
THE ROTARIAN 4月号から
-
- 32 よねやまだより
“よねやま”から広がる新しい世界 ②②
カンボジアからのうれしい便り
宇都宮東 RC 辻 裕司
米山学友 サ・ソチア
-
- 34 職業奉仕、職業サービスを考える
2007-08年度 RI 職業奉仕委員会委員 廣畑 富雄
-
- 35 地区大会略報IV
第2660地区・第2580地区・第2750地区
-
- 7 特集
過去から今、そして未来へ
インターアクター ①
-
- 8 インターアクト いま
茨城キリスト教学園高校 IAC /
札幌龍谷学園高校 IAC / 川内商工高校 IAC /
南砺福光高校 IAC / 仁愛高校 IAC /
唐津西高校 IAC / れいめい高校 IAC /
第2580地区 / 第2560地区 / 第2780地区 /
第2650地区 / 第2660地区 /
宇部フロンティア大学付属香川高校 IAC /
第2790地区
-
- 12 インターアクト むかし
京都西京商業高校 IAC / 宮城盲学校 IAC /
豊前農業高校 IAC / 鹿児島商業高校 IAC /
松本工業高校 IAC / 鹿屋高校 IAC /
千厩農業高校 IAC
-
- 14 女性会員で広がる多様性
札幌南 RC 深貝 享 / 福岡東 RC 中 脩治郎 /
高知 RC 西山 彰一 / 福井 RC 石丸 敦士 /
多治見西 RC 加藤 三紀 / 北上西 RC 澤藤 廣己 /
名古屋守山 RC 松崎美都子 / 堺 RC 和田 武子
-
- 36 ようこそ Rotary
ロータリーと歌
-
- 38 心は共に
東日本大震災
岩沼 RC / 千厩 RC 山本 廣志
-
- 39 『ロータリーの友』新コーナーのお知らせ
-
- 6 ■ロータリーとは
37 ■パズルdeロータリー
40 ■エバンスン便り
40 ■管理委員長の思い 
41 ■「パズルdeロータリー」(1月号)の答えと解説
42 ■お知らせ
IAC 名称変更・新 RAC・2017-18 年度版
ロータリー手帳のご案内・地区別クラブ数/会員数一覧表・
『友』5月号主要記事予定
43 ■日本ロータリー分布図
43 ■奥付

一般社団法人 ロータリーの友事務所
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友 
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp



P7～13 年の差はどれくらい？ インターアクターはいつも楽しく、活動し続けています。

ロータリーの友 委員会		地区 代表委員	
委員長	清水 良夫 (横浜)	2500	福地 博行 (北見)
副委員長	片山 主水 (名古屋東南)	2510	松原 良次 (札幌南)
R1理事	斎藤 直美 (豊田)	2520	熊谷 雅也 (大船渡西)
R1理事エレクト	石黒 慶一 (鶴岡西)	2530	白岩 良子 (三春)
特別顧問	神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)	2540	佐野 公彦 (秋田北)
顧問	上野 孝 (横浜)	2550	真尾 進一 (足利わたらせ)
	安平 和彦 (姫路)	2560	杉本 俊夫 (長岡東)
	片岡 信彦 (土浦南)	2570	古屋 一生 (熊谷西)
	橋本 長平 (京都東)	2580	伊藤 悟 (大宮シティ)
	井原 實 (さいたま新都心)	2590	金井 淨 (成田コスモポリタン)
	田中 賢三 (茅ヶ崎)	2600	林 政俊 (山形)
	東 良輝 (宇都西)	2610	関根 一彦 (古河中央)
	吉田 雅俊 (東京新都心)	2620	米内 安芸 (八戸南)
	猿渡 昌盛 (東京武蔵府中)	2630	板垣 忍 (前橋)
		2640	林 茂男 (東京ベイ)
			小黒 久男 (川崎西)
			西堀 恒司 (松本)
			川合 声一 (南砺)
			西貝 誠一 (清水中央)
			清水 幸平 (高山中央)
			井上 直行 (東京町田サルビア)
			尾本 和弘 (名古屋東南)
			井島 誠行 (小田原中)
			寺崎 勝彦 (堺)
			浅野 一裕 (日本ロータリークラブ2650)
			一瓢 秀次 (大阪北)
			三浦 聖人 (観音寺)
			佐茂 省治 (尼崎中)
			岡田 端 (境港)
			坂井 圭子 (甘木)
			澁谷 紀子 (広島中央)
			赤川 治之 (大分中央)
			祝迫 哲哉 (姫路)
			阿部 芳男 (長崎北)
			編集長 二神 典子 (東京築地)

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数35,263、会員総数1,227,217人（2016年11月30日RI公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,264、会員数89,335人（2017年1月末現在）となっています。

2016 - 17 RI テーマ



ROTARY SERVING HUMANITY

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか



過去から今、そして未来へ① インターアクター

日本で最初に結成されたインターアクトクラブ（IAC）は、1963年6月27日結成の宮城県・仙台育英学園高校IACです。それから約50年。今回は、インターアクターたちの今と昔のさまざまな取り組みを写真でご紹介します。昔と今を比べると、時代の移り変わりを見ることができます。





◀ 老人ホームで交流会 茨城キリスト教学園高校 I A C

10月15日、インターアクター11人と日立港ロータリークラブ会員が特別養護老人ホーム・成華園を訪問し、交流会を実施。合唱や手遊び、ゲームなどで参加者一同笑顔の絶えない、楽しいひとときを過ごしました。この交流会は恒例行事として定着し、利用者にも親しまれており、今後も継続して交流する予定です。

(第2820地区 茨城県)

インターアクト いま

雪遊びを満喫

札幌龍谷学園高校 I A C ▶

地域の寺が企画する子どもの宿泊行事・キッズサンガに協力し、参加した小学生と一緒に学校のグラウンドで雪中の宝探しと鬼ごっこ。今回は、12月としては異例の積雪で、雪遊びを満喫しました。踏み固められていないところを歩くと雪に埋まるため、小学生は喜び、インターアクターはへとへと。道が迷路のようになっていて、歩くだけでも楽しい時間になりました。

(第2510地区 北海道)



◀ 福島をひまわりで元気に

川内商工高校 I A C

福島でひまわりを咲かせて復興のシンボルにする活動「福島ひまわり里親プロジェクト」に参加。東日本大震災を忘れない、復興の支援が少しでもできたら、という思いで続け、5年目を迎えました。2016年は5月に福島から種を購入し、約300の種をまき、7月にはきれいなひまわりの花が咲きました。10月に種を取り乾燥させて分別し、約1.6kgの種を福島に送りました。今後も福島を元気にするこの活動を続けていく予定です。

(第2730地区 鹿児島県)



◀ 大災害の復興支援のための募金活動

南砺福光高校 I A C

大災害の復興支援のための募金活動を随時行っています。4月には、南砺市福光地域のショッピングモール・楽蔵と学校内で熊本地震救済のための募金活動を実施。また9月の学校祭では、来校者にイタリア中部地震救済のための募金を呼び掛けました。集まった寄付金は日本赤十字社を通じて各地域の被災者に届けられました。（第2610地区 富山県）

熊本地震復興支援のための募金活動

仁愛高校 I A C ▶

福島県内のインターアクターが熊本地震復興支援のための募金活動を実施。仁愛高校インターアクトクラブでは5月29日に会津若松城入り口で熊本の写真を掲示し、観光客に募金を呼び掛けました。最初は緊張していましたが、だんだんと大きな声を出せるようになり、大勢の観光客が協力。13万48円と、予想以上の善意が集まり、日本赤十字社を通じ熊本に送りました。（第2530地区 福島県）



◀ 歳末たすけあい募金

唐津西高校 I A C

12月20日はスポンサークラブの唐津ロータリークラブの例会で、23日、まいづる百貨店本店で歳末たすけあい募金を行いました。27日、両日の募金7万7,700円を唐津市社会福祉協議会を訪問し寄付。同会から感謝状を贈呈され、理事長から「今後も地域社会のために奉仕活動を行ってください」と励まされました。また、地元ケーブルテレビの取材を受け、後日ニュースとして放映されました。（第2740地区 佐賀県）

赤い羽根共同募金活動

れいめい高校 I A C ▶

10月8日と11月12日、赤い羽根共同募金の活動に参加。3年生が引退して、1～2年生4人で活動している中、会長を除く全員、街頭募金が初めての経験でした。何をしたらよいかかわらずただ掛け声を発していただけでしたが、次第にあいさつなど、人と接する大切さを理解。小さな活動しかできないクラブですが、「自分たちができることを精いっぱい」をスローガンにがんばっています。

（第2730地区 鹿児島県）





▲ 浅草実地研修

第 2580 地区

8月7日、日本大学第一高校インターアクトクラブがホスト校となり、東京・両国にある同校で第53回インターアクト年次大会を開催しました。「和…今、最も大切な言葉…」をテーマに、インターアクター80人、ロータリアン110人、顧問教師13人、ローターアクター10人、来賓15人が参加。浅草を回っての実地研修、そのまとめと発表で学びました。終了後の懇親会では、東京地区と沖縄地区のインターアクターが交流しました。

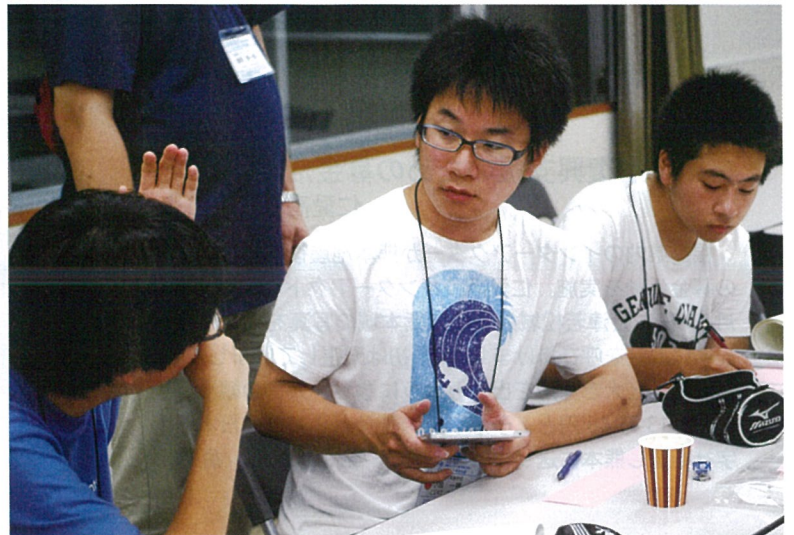
(東京都・沖縄県)

私のまちの良さを発表

第 2560 地区 ▲

7月16～17日、新潟県の妙高戸隠連山国立公園内でインターアクト年次大会を開催。テーマ「世界の皆さん!! 私のまちに遊びに来て!!」を掲げ、インターアクターやロータリアン、留学生など約230人が参加しました。外国人から見た日本の良さ、地域の素晴らしさをインターアクターが自ら引き出し、考えまとめ上げていくという難題に挑戦。各観光地に分かれ、積極的に留学生と交流して意見交換を行い、白熱した議論が交わされました。発表会では、すべてのグループが素晴らしい発表を行い、外国人の目線を見事に代弁していました。

(新潟県)



▲ 笑顔の輪を広げるために

第 2780 地区

11月19日に第26回インターアクト年次大会を開催。テーマ「Smiling ～笑顔の輪を広げよう～」についての意見発表や、各インターアクトクラブによる活動報告が行われました。

(神奈川県)

カンボジアで児童養護施設を訪問

第 2650 地区 ▲

7月31日～8月5日、地区インターアクトの夏期研修でカンボジアを訪問。研修の目的は、国際理解と思いやりの気持ちを深めることです。訪問した児童養護施設は同じ目線に立ち行動することを基本としており、インターアクターは子どもたちとの協同作業や交流を通じて理解を深めました。また同施設でボランティア活動をしている岩田亮子氏から児童養護施設での仕事に対する思いを聞き、その志に感動。相手の文化を尊重することの大切さと、安易に物を与えることが間違いであることも学びました。

(福井県・滋賀県・京都府・奈良県)





◀ セブで一緒に折り紙

第 2660 地区

8月2～5日、フィリピンのセブで海外研修を行いました。現地のインターアクターと互いに歌やダンスの披露、お土産交換、折り紙などで楽しく交流。小学校を訪問し、日本で集めた文房具を、48人のインターアクター全員が小学生に直接手渡しました。自分たちがいかに恵まれているかを痛感したり、子どもたちから最高に輝いた笑顔をもらえたりと、素晴らしい体験をしました。

(大阪府)

留学生と一緒に料理

宇部フロンティア大学付属
香川高校 IAC

12月22日、インターアクター、宇部西ロータリークラブ、米山奨学生で宇部フロンティア大学大学院生の張文晋氏と同大学の中国人留学生たちとの交流会を実施。最初に張氏から中国の歴史、文化などに関するプレゼンテーションが行われ、続いて互いの国の料理を一緒に作り会食しました。親睦と理解を大いに深めることができました。

(第 2710 地区 山口県)



▼ 台湾の学園祭で一緒に屋台

第 2790 地区

11月11～14日、台湾・台北市でインターアクト国外研修を実施。台湾・第 3520 地区のインターアクターと一緒に、台北市立福安国民中学校の学園祭で屋台運営や記念植樹、交流会を行いました。台湾を知るための社会見学として、台湾のテレビ局・壹電視 (Next TV) を訪問し、実際の撮影現場を見学。さらに、九份エリアを散策し、台湾の文化に触れました。帰国前日の夜は、班ごとに出し物を発表する研修を行いました。

(千葉県)





◀ 活動資金を得るため アルバイト

京都西京商業高校 I A C

活動資金を得るため、夏期休暇にガソリンスタンドで洗車のアルバイトを行いました。

(第 365 地区 京都府)

—1964 年 10 月号—

1960 年代

インターアクト むかし

点字の行き先、時間標識作成

宮城盲学校 I A C ▼

点字の行き先、時間標識を作成、仙台市交通局の協力で市内の主要なバス停に取り付け、目の不自由な方々から感謝されました。

(第 352 地区 宮城県)

—1969 年 9 月号—



▲ 友愛の舎を建設

豊前農業高校 I A C

行橋ロータリークラブ (RC) と協同で、郊外の海辺の松林の中に友愛の舎を建設。ワンダーフォーゲルの宿舍、インターアクト夏期例会会場、ロータリークラブ家族会場などに活用しました。

(第 370 地区 福岡県)

—1969 年 2 月号—



1970 年代

溶岩の落書き消し

鹿児島商業高校 I A C ▶

毎年休みの日を利用しては桜島の溶岩原に出かけ、溶岩の落書き消しと紙くずや空き缶拾いなどを行っています。9 年間も続いたため、地元桜島町から表彰を受けました。

(第 373 地区 鹿児島県)

—1974 年 12 月号—



阪神・淡路大震災の被災者支援

松本工業高校 I A C ▶

阪神・淡路大震災の被災者支援のため、松本駅前で募金活動を開始。その後被災地へ出向き、被災者への食事づくり、がれきの撤去、お年寄りの話し相手になるなどの活動を行いました。

(第2600地区 長野県)

—1995年9月号—



1990年代



◀ 肩もみでお年寄りと交歓

鹿屋高校 I A C

2月11日、老人ホーム「寿光園」を慰問。鹿屋高校に交換学生として留学中のダーリン S. フットさんも参加して、お年寄りの肩もみをしながら楽しく語らい、口や耳が不自由なお年寄りとは筆談で、元気なお年寄りとは一緒にゲームをして汗を流すなど、交歓のひとときを過ごしました。

(第273地区 鹿児島県)

—1982年5月号—

1980年代

活動開始！

千厩農業高校 I A C ▶

20人の女子だけのクラブが誕生。意欲的に活動を開始しました。

(第252地区 岩手県)

—1980年11月号—

※『ロータリーの友』バックナンバーから転載しています。地区番号表記ならびにクラブ名は当時のものです。





女性会員で広がる多様性

硬くぎこちなかったクラブからしなやかなクラブに

札幌南RC 深貝 亨

当クラブは、札幌市の南東部を拠点とする会員数 67 人（うち、札幌南ライラックロータリー衛星クラブ 11 人）、創立 52 年のクラブです。

記憶をたどれば、15 年ほど前から女性会員の入会に関する課題が持ち上がり、創立 40 周年を前に 2 人の入会打診がありました。しかし当時理事会は、時期尚早との判断を下しました。

創立 50 周年を控え、再度、女性から入会の申し込みがされたのは 4 年前。当時の会長の強い意志と根回しが反対派を抑え込み、女性会員第一号が実現しました。若干の難産を経て誕生した女性会員も、その後は順調に数を増やし、現在 11 人（うち衛星クラブ 6 人）が活躍しています。

異性の価値観を共有することは、今や社会人として当然のことかもしれませんが、女性会員の入会は男性社会にありがちな上下関係や意地の張り合い（いわば「メンツ」）の解消に大きく貢献しているように見えますし、さまざまな問題を解消する特効薬にもなっています。会議時間の短縮、経費の削減、アルコール量の減少、寄付金増加、会員の若返り……何よりも行事に参加する子どもたちが増えます。クリスマス例会にしか顔を見かけなかった子どもたちが、女性会員に連れられて

奉仕プロジェクトに姿を見せるようになりました。

硬くぎこちなかったクラブは、次第にしなやかになっていきます。会員増強が図られ、広報活動を通じた地域へのイメージ向上が、クラブの大切な事業に希望の光を当て始めています。

ここからは持論ですが、高い職業倫理に裏打ちされた会員による地域社会への奉仕をロータリー活動の原点とするなら、女性の入会は、会員として当然受容しなければなりません。クラブの魅力は会員個々の魅力ともいえますが、ロータリーの魅力は何よりも大きな器のロータリー精神です。一度、ロータリーの精神を実感したならば、男女の別に関係なく、心にはロータリー精神が宿ります。そしてその会員は、周囲の人たちを惹きつけます。

ロータリアンが心を開けば、ロータリーの輪は確実に広がります。バラエティーに富んだ会員を受容することが、クラブのパワーアップにつながるものと確信します。

（第 2510 地区 北海道）



女性会員なかりせば……

福岡東RC 中 脩治郎

わがクラブに女性会員が入会してすでに14年目になります。当時は福岡市および周辺の12クラブ中、女性会員が在籍しているのは福岡平成ロータリークラブだけでした。

私がクラブ会長を務めた2003－04年度、会長方針の中で会員増強の重要性を強調しました。具体策として「仲間を増やすプロジェクト90」を立ち上げ、その中で女性会員の入会を検討しようと提案しました。クラブ内で活発な議論が交わされ、反対意見も出されました。そこで、女性会員が在籍していた地区内のクラブの協力も得て、視察訪問を行うと同時に、自クラブにおいても、歴代会長会議、理事会、全体会議などで議論を重ね、その結果、女性の入会を認める方向で決議されました。

決め手になったのは、①ロータリークラブは職業分類による未充填^{じゅうてん}業種の補充が会員増強の基本であり、男女を問わず、ロータリアンにふさわしい立派な人を補充することで推進する、②最近では女性の社会進出が目まじしく、また、女性ならではの職業も増えてきたこと、③学校（大学や高校）における男女比率や優秀な女性の学生が増えており、こういう若者が社会に進出してくる時代であること、これらを考えれば、今や女性を入会させない考え方に無理がある、という結論に至りました。



また、女性会員が入会することにより、既存会員の退会者が出ることもありませんでした。

現在会員81人中、女性会員は17人。全体の21%を占めています。全体の会員数は変わっていませんので「女性会員なかりせば……」ということになります。すでに女性会長も誕生しており、本当によかったと思っています。

(第2700地区 福岡県)

石蔵啓孝会長から

当クラブは20年にわたり、中村学園女子中学校・高等学校インターアクトクラブを支援しています。女性会員のおかげで、男性会員だけではできない、女子インターアクターたちへのきめ細かな気配りと、やりとりが可能になりました。現在も女性会員の数は増えており、バランスの良いクラブ運営となっています。ロータリーを変えていこうという時に、女性会員の力が大きな助けになると思います。

広がる女性会員の活躍の場

高知RC 西山 彰一

高知ロータリークラブが、女性会員を迎えて20年、現在の会員数は93人、女性会員は14人、構成比15%で、地区内最大の会員数を維持しつつ、さらに会員増強を積極的に行っております。女性会員の活躍が注目されている3つの活動を挙げます。

まずは1991年以来、26年間継続している「地球33番地環境浄化活動」として、サクラの木の植樹、地元の幼稚園児とともにコイの放流、清掃活動などを行っています。これらの活動は、毎年、地元の新聞、テレビで放送され、特に幼稚園児たちに寄り添う女性会員の姿は、ロータリーの公共イメージの向上に貢献してい

ます。

2番目の事例は、毎年、実施している青少年交換プロ



グラム（長期・短期）。以前、来日していた短期交換学生が熱中症になり入院したことがありました。その際、重度の内臓疾患が見つかり、アメリカから急きょ母親が来日することになりました。その間も女性会員が看病に立ち会ったのですが、交換学生はもとより、その母親も、女性会員が立ち会うことで心強かったのではないかと思います。そのほかにもホームシックの子への対応、交換学生の両親との連絡など、女性会員の支えによってより充実したものになり、プログラムの歴史を積み重ねております。

3番目の事例として、クラブは今年、創立80周年を迎えますが、数年前から、クラブの歴史を築いてこれたOB会員を全国から招き、夜間例会「ホームカミングナイト」を行っています。これは女性会員の発案で実現したものです。これがきっかけとなって、10月8日に行われる創立80周年の記念式典に、多くのOBが参加することになっています。これからも、女性会員をはじめさまざまな会員の企画、運営を通じて、豊かなロータリー活動を行い、感謝とおもてなしの喜びの輪を広げていきたいと思っています。

（第2670地区 高知県）

女性会員から得られる利益と価値

昨年度は、当時の会長が、女性会員数を増やすことを明言。会員増強委員長を女性が務めることで、これまでなかった新たな人脈から会員増強につながりました。

女性会員の入会に関して、反対意見もありますが、女性の入会を直接の原因とする退会者はありませんでした。女性会員が増え始めたころ、そのことを懸念する意見がありましたが、むしろ賛成意見の方が多かったように思います。現在、女性会員は会員135人中11人。40～50代の女性会員で、非常に活発な親睦が図られています。

さらに今年度は、親睦活動委員会のメンバー約30人のうち、副委員長2人を女性会員が務め、クリスマス例会、夜間例会、花見例会、新年会など家族が参加するイベントの際、会員の夫人同士の親睦も図れるような席の配置をし

たり、クリスマス会のプレゼントの対象として、従来のお子さん、お孫さんに加え、夫人へのプレゼントを用意したりと、女性目線での企画、演出力が反映されるよう

福井RC 石丸 敦士



あら、こんな例会も？ 広がる例会のバリエーション

フラワーアレンジメント例会

2016年10月6日、多治見西ロータリークラブ(RC)では、卓話に代えてフラワーアレンジメントの講習を行いました。講師は多治見リバーサイドRCの会員。最初、男性会員は少々戸惑った様子でした。

しかし、花を手にとると早速包みを開き出し、講師の説明に耳を傾け、熱心に花を生け始めました。黙々と作業は続き、会場内が静寂に包まれるほど。30～40分後には皆さんそれなりにハロウィーンのアレンジメントが完成。中には玄人はだしの作品もありました。

当クラブには女性会員が4人おり、女性ならではの、今までになかった多彩な卓話があります。多胎児ネット

ワークの卓話では、虐待や育児放棄、多胎児の置かれている現状を知り、子育ての苦労について初めて考えさせられたのではないのでしょうか。また、フラワーアレンジメント講習では花さえ生けたことのない男性会員がほとんどですが、意外にも楽しい時間を過ごしていただけたようです。

ロータリークラブもまだまだ男性会員が多数ですが、こうした取り組みにより視野を広め、さまざまな活動にも挑戦していきたいと思っています。

（第2630地区 岐阜県）

になりました。

炉辺会合では、女性会員が世話役になることが多く、利用する店もバラエティーに富んでおり、マンネリ化が避けられます。プライベートではなかなか行くことのない店を利用することもあり、会員歴の長い会員もそれはそれで楽しいご様子。新鮮な雰囲気は、新たな話題にもつながります。また、ワイン会、季楽会（B級グルメの会）、友の輪会（ゴルフ）などの同好会活動にも、毎回女性会員が数人参加し、会を盛り上げてくれるため、参加率が

上昇しています。

そのほか、クラブの枠を超えて、女子会（女性会員限定）があるそうで、女性会員が率先して会員夫人を集めて会食したりしています。

これらは当クラブの例ですが、第1段階で女性会員の入会、第2段階で女性会員の増強、第3段階として女性会員に重要な役職を任せること、これが多様性を大切にするロータリークラブの風土において、ますます求められてくると考えます。

（第2650地区 福井県）

女性会員が3割、まだまだ……

私たちのクラブに女性会員が誕生したのは、クラブが創立して21年目の1990年のこと。ある会員が亡くなり、共同経営者の夫人が会員として迎えられたのです。活動的で協調性のある人柄は、会員間でもよく知られており、こうして「女人禁制」の壁は取り除かれました。

その影響もあってか、その後、女性会員は増えて、現在、会員数25人中、女性が7人にまで増えました。クラブ全体の3割なので、まだ満足できる数字ではありませんが、会員増強はいまひとつの昨今、女性会員の増加は、クラブの活性化に貢献していると思います。

私たちのクラブは、毎月「ロータリーを読む会」という勉強会を行っています。その会に女性会員が挙げて参加していることで、活発な議論が行われ、盛り上がるようになりました。

家族旅行会では女性が細かくプランを練り、楽しさが増しました。ある時から例会場に花が飾られるようになったのも、女性会員の発案によるものです。最近では、

北上西RC 澤藤 廣己



ガバナー補佐になって地区で活躍している会員もいます。

女性会員が増えたからといって、特別に活動計画を変えたということはありません。むしろ、先に挙げた例に見られるように、活動が新陳代謝されたというべきでしょうか。

（第2520地区 岩手県）



クラブを救った女性ロータリアン

名古屋守山RC 松崎美都子

今の時代に「女性会員お断り」ですって？ あり得ない！ 考えられない！ 差別？ まさかロータリークラブが、いまだにそんな考え方なんて……、信じられない。人道主義だの世界平和だの友愛だのと唱えているのに……。なぜ、女性はだめなのかしら？

かつて、当クラブには誇り高い男性会員が多く、プライドとプライドの衝突から、100人いた会員が31人にまで減りました。この危機を救ったのが、ある女性会員でした。

その女性会員は、会員の了解の上で「しげちゃん」「たけちゃん」と、名前に「ちゃん」を付けて呼び始めました。するとどうでしょう。社会的地位の高い人たちが^{よろい}鎧を脱ぎ捨て、まるで童心に返ったように柔和な顔になり、クラブにリラックスモードが漂い始めました。例会や親睦会での居心地が良



くなりました。

2017年2月末時点で会員数40人、そのうち女性会員5人と復活の兆しが見え始め、クラブに活力が出てきました。40代の若い会員から92歳の人生の先輩までが一つになって、年の差、性別を忘れて楽しんでおります。

当クラブの男性会員に、女性会員が増えて良かったこと、悪かったことを尋ねてみました。

「こまやかな気遣いや配慮」「体をいたわってくれる」「例会に出るのが楽しみになった」「男性よりバイタリ

ティーがある」「クラブに活力が出てきた」「もめごとがなくなった」「和む」「男性会員が元気になった」などなど……。

男女を問わず、幅広く多様な人材を受け入れ、真のロータリアンに育てることによって、ロータリーの未来は開かれると思います。皆さま、女性会員を迎え入れてください。

(第2760地区 愛知県)

私とロータリー

堺RC 和田 武子

私の所属している地区は、全国で女性会員数の割合が特に多いとのこと。堺ロータリークラブ(RC)では、1995年4月に最初の女性会員として、眼科医の近江栄美子氏が入会しました。その時期はまだ、男性会員の反対者も多数いたと聞いていますが、次々と医療関係、文化関係の女性会員が入会。今では会員60人中、女性が8人です。

女性会員がいることによって、受付などに明るさ、おもてなしの柔らかさがあるように感じます。また、男性が言いにくい発言も女性なら許される点もあるように思います。私が入会したのは2001年ですが、堺市内の14クラブが集まる合同例会で、出席委員長だ



った私が報告をした時、空気が一瞬変わった記憶があります。その後、親睦委員長、SAA、堺RC基金、会計など役職を務めることに一生懸命で、あっという間に時が過ぎました。もうロータリーも卒業かなと思った時、副会長を命ぜられました。

私は1932(昭和7)年生まれ。今年84歳になります。日本画の絵描きで、アトリエ兼用の3LDKのマンションに一人暮らしです。部屋の窓からは、あべのハルカスや通天閣が見えます。ビルや屋根の谷間に色や人生を感じます。芸術家の篠田桃紅先生(1913～)は104歳になられた今でも「自分の人生において文化とは『迷い』である」と言っておられます。明るくて笑顔の絶えないロータリーの仲間によって助けられて、毎週楽しく心の杖を持って出席しています。

(第2640地区 大阪府)

和田会員は、今は副会長、来年度はSAA。女性会員主導で同好会「美と美の会」をつくり、会員の親睦を深めておられます。いろいろなクラブの行事にも積極的に参加され、頼もしい存在です。入会当初から違和感なく溶け込めておられるのは、女性会員の素晴らしい人間力にほかならないと思っております。ほかの女性会員も理事役員に加わり、バランス良く温かい雰囲気の中、会議が進行できるのも良いと感じます。今年もバレンタインデーにチョコレートをいただき、家族に自慢出来ました。感謝！

黒川 眞男会員

ロータリー財団 100 周年を祝う

気球に乗って空から観た金沢の緑

金沢香林坊ロータリークラブ

当クラブは過去 25 年間、金沢市内に植樹を続けてきましたが、今年度は次年度に創立 30 周年を迎える足掛かりにすること、ロータリー財団 100 周年を祝うという意味を込めて、金沢城公園で熱気球を係留し、親子で気球に乗ってもらう体験イベント「青少年かなざわ緑化普及プロジェクト～気球に乗って空から観た金沢の緑～」を、10 月 16 日に実施しました。

緑化協力金として一人 500 円を乗船者からいただき、空から緑を見て植物を増やす意義を考えてもらう。また、協力金を使って後日、近隣の認定こども園の園児とともに植樹を体験するという循環型の緑化普及プロジェクトです。

当日は、日の出前の 5 時から順番待ちをする親子もいて、受付開始の 6 時半を待たず定員を超える大盛況。軽くなると浮いてしまう気球の特性を考えて、2 基の気球に手際よく案内しつつ、7 時から 9 時半までフル回転で、計 491 人の親子に体験してもらいました。気球から降りた親子

の表情はとても明るく、親たちの方がワクワクしていた様子でした。「世界でよいこと」をしてきたロータリー財団を知ってもらう活動も行い、帰りには植物の種を手渡し緑を増やすことをお願いして、秋晴れのよい休日を過ごすことができました。

(第 2610 地区 石川県)



京都伏見ロータリーカップ・少年少女ラグビー大会開催

京都伏見 R C 吉村 将人

今年度、ロータリー財団が 100 周年を迎えることを記念して、ロータリー財団の地区補助金を活用し、11 月 13 日、N T T 淀総合運動場にて、京都府では初となる小学 3～4 年生を対象とした「京都伏見ロータリーカップ・少年少女ラグビー大会」を開催。京都府下で活動するほぼ全てのラグビースクールにあたる計 13 スクールのエントリーを得て、トーナメント戦を展開しまし

た。

参加児童数は約 200 人、各スクールの指導者、応援の保護者らを含め計 500 人を超え、大盛況でした。京都府ラグビーフットボール協会の協力のもと、大きなけがもなく、運営もスムーズでした。計 18 試合の熱戦が繰り広げられ、決勝戦は小学校中学年とは思えないハイレベルな攻防の末、同点となり、両チーム優勝となりました。試合後に優勝した両チームが一緒に記念撮影する光景は、まさにノーサイドの精神を具現化したものでした。

2015 年のラグビーワールドカップにおける日本代表の活躍を受け、全国的に小学生のラグビースクールへの加入が急増し、京都府でもその傾向が顕著だそうです。小学 3～4 年生のラグビーは一チーム 7 人で構成されます。スクール生の急増により、児童一人あたりの試合への出場機会が減少する傾向にありますが、今大会を通じて子どもたちに貴重な出場の機会を提供できたことをうれしく思います。

(第 2650 地区 京都府)



ポリオ撲滅運動を 知ってもらう

加古川市内 3 クラブ

9月17～18日、地域最大級（来場者3万人）の商工祭「加古川楽市」が開催されました。期間中、加古川中央ロータリークラブ（RC）、加古川RC、加古川平成RCの3クラブ協同で、ロータリー財団100周年を記念し、ポリオ撲滅運動を啓発、併せて募金活動を実施するロータリーデーを実施



しました。啓発グッズ、記念品、子ども向け記念品を会員が相談して準備し、盛況のうちに終わることができました。（第2680地区 兵庫県）

巴波桜植樹式を挙行 栃木ロータリークラブ

当クラブはロータリー財団100周年記念事業の一環として、栃木市の「とちぎ小江戸ブランド」にも認定される巴波桜^{うずま}20本を市に寄贈しました。11月9日には栃木秀磨ガバナーと鈴木俊美栃木市長を招き、永野川緑地公園で巴波桜植樹式を行い、寄贈を記念した石碑を建



立しました。

巴波桜は花と実の両方を楽しめる珍しい品種です。市のシンボルである巴波川にちなみ、多くの市民に愛され、市を象徴する名木に育ってほしいと、鈴木市長が命名しました。クラブでは、同緑地公園を利用する市民に、潤いと季節感を得られる環境を提供しようと寄贈した次第です。

当クラブでは、今回寄贈した巴波桜が、あたかも市民の間に心のネットワークを張り巡らせ、市と市民の一体感を醸成するかのようになく枝を広げ、無数の花と実をつけてくれることを願うとともに、ロータリーの礎である奉仕の実践を通じて、ロータリーの認知度と地域社会での公共イメージをさらに高める活動を続けていく所存です。

（第2550地区 栃木県）

映画鑑賞のプレゼント 防府南RC 村田 真美

防府南ロータリークラブでは、5年前から福祉型障がい児入所施設・華の浦学園において誠英高等学校インターアクトクラブとともに入所者と交流し、障がい児（者）の映画鑑賞は他者への遠慮から劇場での鑑賞が非常に困難であるが、いつか映画館で見せてあげたいとのニーズを拾った。

このたび地区補助金を活用して映画館を借り切り、11月4日、映画鑑賞するチャンスを提供した。

（第2710地区 山口県）



交通安全願い横断旗寄贈

栃木南 R C 埋橋 英夫

ロータリー財団 100 周年事業として、地区補助金を活用し、小学生の登下校時に使用する安全横断旗を栃木市内全 30 校の小学校へ 650 本寄贈しました。10 月 13 日、早朝から会員も保護者と一緒に横断道路に立ち、登校時の学童の誘導やドライバーへの安全運転を呼びかけました。横断旗には栃木市の公式マスコットキャラクター「とち介」がデザインされており、子どもたちに親しみと関心のある旗となっています。



寄贈式は同日、教育委員会、P T A 連合会、警察署、市内全小学校校長先生、全クラブ会員参集のもとに市庁舎において行われました。これまで旗が破れているなど不備がありながら大量購入できなかったという学校関係者からは、寄贈した翌日から市内小学校において早速利用し、好評と感謝の声が上がっています。この様子は地元のケーブルテレビや新聞などでも取り上げられました。

(第 2550 地区 栃木県)

親睦ゴルフコンペで 100 周年を祝う

足利わたらせ R C 真尾 進一



ロータリー財団 100 周年記念イベントとして、栃木秀磨ガバナー、宮田進ガバナー補佐も参加し、総勢第 8 グループ 25 人で行われました。小雨の降る中のスタートでしたが、日中は好天になり、最高のゴルフ日和となりました。ラウンド中・終了後とロータリー談議に花が咲き、グループ内の親睦も深め合うことができました。とても楽しい一日となりました。

(第 2550 地区 栃木県)

子どもたちの未来のために 庄原ロータリークラブ

9 月 15 日、ロータリー財団 100 周年記念プロジェクトの一環として、庄原市田川子育て支援施設の園庭の環境整備を実施し、はしご型の遊具・ラダーウォールを贈りました。ラダーウォールは、子どもたちがつかまったりして遊ぶうちに感覚が刺激されて発達を促すのに役立つとされています。

園庭の環境整備は、施設を運営する一般社団法人里山こども未来会議のメンバーも加わり、高所作業車での樹木の剪定など、総勢約 30 人で行いました。

ラダーウォールの贈呈式で、同法人の久保照子代表理事から「全ての子どもたちに光を当てる事業を共に果たしていこうという勇気をもらった」と感謝の言葉をいただきました。(第 2710 地区 広島県)



クラブ創立 20 周年の挑戦 バヌアツ支援のかたちを「モノ」から「ヒト」へ

富山みらい R C 幹事 吉田 大介

今から約 10 年前、2006 年にイギリスの環境保護団体による発表「地球幸福度指数」で第 1 位に選ばれたバヌアツ共和国。当時、姉妹クラブであるオーストラリアのセントハースト・ロータリークラブ（R C）とのマッチング・グラントで、バヌアツ共和国のエスピリトゥ・サント島に診療所を建設したのが最初の支援となり、当クラブではその後 3 回にわたり、島の小学校にソーラーパネルやパソコン、デジカメなどの「モノ」の支援を続けてきました。

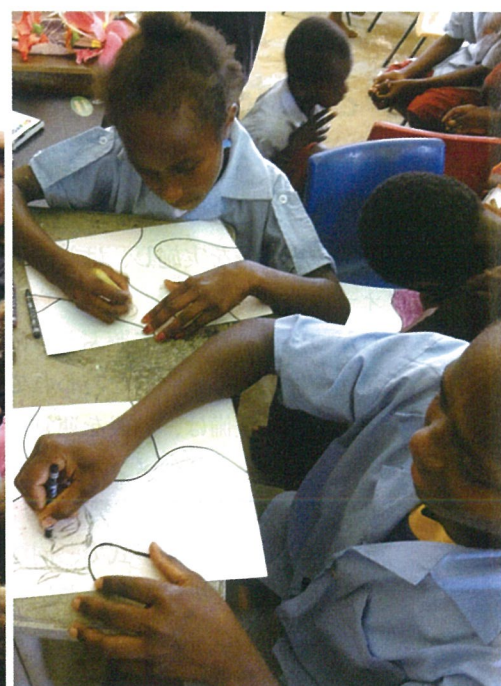
この 10 年間で 5 度目の訪問となる今回、100 周年を迎えたロータリー財団の地区補助金を活用し、これまで支援を全く行ったことがない、山奥のヴィルヴィル小学校に「モノ」を支援するとともに、当クラブが創立 20 周年を迎えるのを機に、将来を見据えたチャレンジとして、富山の小学校と現地の子どもたちの交流、つまり「ヒト」の支援に挑戦しました。

まず 2016 年 10 月に富山市立堀川小学校で、前回訪問した時の写真などを使って、バヌアツについての授業を実施。「世界で一番幸せな国」なのに、裸足だったり、雨水を飲んだりしている様子は、児童には衝撃だったようです。「テレビやゲーム機はないが、みんな笑顔で幸せそう。会話があるのだと思う」「服や靴を寄付したい」「私ならモ

ノをもらうのは嫌。失礼ではないか」などの意見が出て、白熱した授業となりました。

その後、子どもたちが覚えてたの英語で書いた手紙や、写真、折り紙、文房具、衣類などを携え、11 月 22 ～ 26 日、セントハースト R C の会員、富山テレビの取材スタッフを含め総勢 10 人でバヌアツを訪問。4 度目の支援となるエスピリトゥ・サント島のホグハーバー小学校で、事前に撮影しておいた、富山の小学 6 年生の子どもが朝起きてから寝るまでの一日をビデオ上映しました。子どもたちが一瞬も見逃さないよう、食い入るように見る姿は、今でも忘れられません。次に、バヌアツがなぜ世界で一番幸せな国なのかを知るために、27 人の子どもたちに 5 つの質問をしました。

- Q1. あなたの夢は何ですか？……日本に行ってみたい 3 人、医者（看護師）になって人を救いたい 2 人など。
- Q2. 将来何になりたいですか？……パイロット 7 人、船乗り 5 人、先生 5 人など。
- Q3. あなたにとって大切なものは？……教育（学校）8 人、お金 5 人、水・食料 3 人など。



Q4. 学校は楽しいですか？

……27 人全員 YES！ 将来仕事に就くため 10 人、学べるから 6 人など。

Q5. あなたは今幸せですか？

……これも 27 人全員 YES！あなたたち(われわれ訪問団)に会えたから 4 人など。

帰国後、保護者にも参加してもらって、特別公開授業を実施。まず、バヌアツの子どもたちが手紙や衣類などを笑顔で受け取る様子や、真剣なまなざしで返事の手紙を書く様子をビデオで

報告。次に堀川小学校のみんなにも同じ 5 つの質問に記入してもらい、その後、バヌアツの子どもたちの回答を紹介しました。最後に返事の手紙を子どもたちに渡しましたが、バヌアツの子どもから宛て先に自分の名前が入った返事をもらった児童は大興奮。子どもたちの「早く返事の手紙を送りたい！」という願いを受け、今後、子どもたち同士が継続的に手紙のやりとりができる支援ができれば、と考えています。

この特別公開授業は大変好評で、校長先生や担任の先生、保護者から「素晴らしかった」「来年もやってほしい」という声を多数いただき、同行した富山テレビが帰国後まもなく夕方のニュース番組でバヌアツ特集(2 夜連続)



を放映してくれたり、その視聴者から「家庭で幸せについて話し合うよい機会になった」という声が何件も寄せられたりと、当初の想定をはるかに上回る反響を得ることができました。

「モノ」の支援から、未来を担う富山とバヌアツの子どもたち同士が交流する「ヒト」の支援へ。創立 20 周年の記念事業が子どもたちの記憶に残り、世界みんなが幸せになる一助になったのなら、とても幸せです。

なお、これまでに支援したエスピリトゥ・サント島の小学校は、ホグハーバー小学校 4 回、ナタワ小学校 2 回、サラ小学校とヴィルヴィル小学校が初めてで、全部で 4 校です。

(第 2610 地区 富山県)



ロータリーみなとみらいチャリティーマラソン —ポリオ撲滅・障がい者支援マラソン—



2月11日、風は少し冷たいものの好天に恵まれたこの日、早朝から、横浜市みなとみらい臨港パークに多くの人たちが集まりました。第2590地区（横浜・川崎）が主催するチャリティーマラソンに参加する人々、応援する人々、そしてロータリアンやローターアクトなどです。

マラソンと言っても、42.195kmをある地点からある地点まで走るという一般的なマラソンとは異なり、いろいろな人たちが参加し、楽しめるように複数の種目が用意され、起伏に富んだ公園内を何週か走るといったレースです。種目は「車いすFUNラン」「個人1.25km、5km、10km」「1km親子ペアラン」「ハーフマラソンリレー」「フルマラソンリレー」。

それぞれの種目が時間を置きながらスタートしていきますが、種目によってスタート地点が変わります。競技の参加者だけではなく、応援の人たちもアナウンスに従いながら移動していきます。

最初の「車いすFUNラン」は、海側の遊歩道を使った100mの直線コース。競技用ではなく一般の車いすでのレースは、かなりの体力が必要なようで、ゴールした参加者たちはすべての力を出し切った満足そうな表情を浮かべていました。

「1km親子ペアラン」のルールは、スタート時とゴール時に親子が手をつないでいること。お父さん、お母さんが子どもをリードするのではとの予想に反し、ほとんどの親たちがわが子についていくのに必死で、親の背中



を見せるのではなく、子どもの背中を追いながら何とかゴールしていました。

個人やリレーの種目には、一般の人たちに交じり、近隣のロータリアンのグループも参加していました。1周1.25kmのコースで、フルマラソンと同じ距離を走るためには約34周しなければいけません。今、自分たちが何周しているのか、あと何周走ればいいのかを正確に数えるのは難しいことです。そこで力を発揮するのが、最新技術。走者がつけているタグでポイントを通過するたびに、何周目かが記録され、今何周、あと何周とアナウンスをしてくれます。もちろんタイムも正確に記録されていきました。

開会式では、高良明ガバナーが、ロータリーとロータ

リー財団についてわかりやすく紹介。また、少しでも多くの参加者をたたえようと、たくさん用意された賞品は、地元のロータリアンから提供された品々。表彰式で賞品が発表されるたびに大きな歓声が上がりました。参加者たちは、楽しい思い出とともに「ロータリー」という名前を心に刻み込んでくれたものと思います。

この日、ロータリー財団地区補助金で、横浜市身体障害者団体連合会ならびに川崎市身体障害者協会に車椅子2台ずつを寄贈。マラソン参加者の登録料には寄付が含まれていて、22万4,400円がポリオプラス基金に贈られました。ロータリーとロータリー財団について知ってもらい、ロータリー財団100年を祝う充実した活動となりました。

取材 『友』編集長 二神 典子

前半の大事業 公式訪問と地区大会

第 2600 地区

原 拓男 ガバナー

(佐久 R C)



ガバナーに就任した半月後から、当地区 55 クラブへの公式訪問を始めました。会長、幹事との懇談では和やかながら真剣な意見交換を行い、例会では皆さまと有意義な時間を過ごし、好意と友情を深めることができました。

各クラブは会員減少や高齢化などの問題を抱えながらも、国際ロータリー(R I)テーマ「人類に奉仕するロータリー」をよく理解し奉仕活動をしていること、さらに地区標語「Basic & New ! (原点に返り新たな改革を)」、行動指針「長所を認め合い絆を深めよう」についても同様に理解していることなどを確認できました。

地区最大の行事、地区大会は、最高の秋晴れに恵まれた 10 月 15 ~ 16 日、軽井沢プリンスホテルを会場に、R I 会長代理の金杉誠様ご夫妻、阿部守一長野県知事、藤巻進軽井沢町長、柳田清二佐久市長ご臨席の下、多くの会員が参加し、盛大に開催することができました。

R I 会長代理歓迎晩餐会ではジャズバンドの生演奏でジャズやオールディーズの名曲が演奏され、立って手拍子を打ち踊る方もいるなど、「楽しくなければロータリーではない」を実践し、大いに親睦を深めました。

記念講演にはテレビなどでおなじみの森永卓郎氏をお招きしましたが、森永氏独特のユニークでユーモアあふれる楽しい話の中にも鋭い指摘があり、われわれロータリアンにとって重要な「人類に奉仕する」ヒントをいただきました。最後は参加者全員で「故郷」を大合唱し、生まれて初めて指揮までさせていただきましたが、あの感激は一生忘れることはないでしょう。ちなみに「故郷」の作詞・作曲はロータリーソング「我等の生業」と同様、作詞・高野辰之先生(長野県中野市出身)、作曲・岡野貞一先生の名コンビであるのはご存じの通りです。

忙しかった 9 か月でしたが、楽しい思い出ばかりで、ガバナーという役を受けて本当に良かったと思っています。残りの 3 か月も、楽しみながら人類に奉仕しようと思います。

(清酒製造)



温故知新

第 2610 地区

岡部 一輝 ガバナー

(南砺 R C)



近年、発展途上国のロータリーは大きく飛躍し、その勢力を拡大しつつあります。一方、日本のロータリーは 97 年の歴史の中で、世界第 3 位の経済大国であることを背景に、成熟期を迎えようとしています。このように歴史、文化、風土の違いからロータリーに対する価値観の相違が生じている中、2016 年の規定審議会では、「ロータリークラブ定款」に「第 7 条 例会と出席に関する規定の例外」を加え、クラブの運営に「柔軟性」を認める大きな改革がなされました。日本のロータリーの喫緊の課題は、高齢化と会員減少です。与えられた「柔軟性」を最大限に活用し、従来の画一的なクラブ運営から、それぞれの自主性を重んじたクラブ運営が求められていると思います。

ポリオ撲滅運動は、広く理解者を集めて大きな成果を上げており、最終章を迎えました。この活動と結果は全世界から高い評価を得る一方で、国際ロータリーに対して新たな期待とニーズが生じ、さらなるロータリー財団の資金の充実が求められているのではと推察します。

ロータリー活動は自分を磨き、人を育て、時には慈善行為、ボランティア活動などを行う世界的な団体との理解で、仲間とともに励んできました。しかし、本来の草の根的活動が、いつしか人道的奉仕を目的とした団体に変化してきているように思います。このようなことから、世界各地のニーズに応えるために、寄付金の増額や会員増強が強く求められているのではないのでしょうか。今回の規定審議会で「第 10 条 会員身分」が変更され、「第 9 条 会員身分に関する規定の例外」が加えられたことは、このような背景が一部にあると思われます。

しかしながら、職業人を対象とするロータリーの目的には何ら変化がないことに、矛盾を感じております。

職業奉仕の理念が希薄化するロータリーは、他の奉仕団体とどこが違うのか、問われる時代に入ったように感じられます。

(放送・通信サービス)



変化のロータリーと 会員増強

第 2620 地区

生子 哲男 ガバナー

(清水中央 R C)



昨年 1 月の国際協議会で、ジョン F. ジャーム国際ロータリー (R I) 会長エレクト (当時) は「現在のロータリーにとって一番重要な問題は会員増強とポリオ撲滅である」と述べました。世界的に減少する会員数をいかに増強するか。日本のロータリーも深刻な状況です。日本全体で 8 万 9,625 人 (2017 年 1 月末現在) で、現在の 3 ゾーンが 2019 - 20 年度から 2.5 ゾーンに減ることが R I 理事会で決まりました。20 人以下のクラブや、少人数で平均年齢の高いクラブは特に深刻です。会員増強をいかにすべきかをいま一度深刻に捉え、5 年、10 年先を見据えたクラブ運営を考え、根本的にロータリークラブを変化させる必要があります。

今年度はまさに変化の年。規定審議会で強調されたのは、ロータリーは将来への備えができていなければならないこと。クラブ運営に柔軟性を認められたことにより、クラブの選択肢が増えましたが、併せて主体性が問われ、今後のクラブの活動についても、ロータリーの歴史は尊重しつつ、5 年、10 年先を見据えた戦略計画を立てたクラブ運営と奉仕活動が必要となります。

ロータリーの中核的価値観 (親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ) は変わっていません。クラブの特徴を生かしつつ、これらをいかに上手にクラブ運営に取り入れ、柔軟性と多様性に応じた運営をするかが鍵になります。会費、例会回数や内容、開催曜日、時間、方法、入会金などは入会者がクラブを選ぶ条件であり、特に若い人や女性、現役で働いている人にとっては大事なことです。これらの方々の入会はクラブの戦略にかかっており、よく検討することが大事です。古き良き時代のロータリーの歴史を尊重しつつ、ロータリーの未来に向けた、ロータリークラブの柔軟性が求められています。

山梨・静岡



最近、クラブで会員増強や今後のクラブ運営を話し合ったことがありますか。クラブの戦略会議を開いてください。

(獣医師)

日本ロータリーの伝統の 堅持を

第 2630 地区

剣田 廣喜 ガバナー

(高山中央 R C)



地区方針 (ガバナー信条) 「One profits most who attends most (最も出席するもの最も報いられる)」を地区内ロータリアンに訴え続けてきました。国際ロータリー (R I) への挑戦と言われることもありましたが、世の中のあらゆる有用な職業から選ばれた裁量権を持った職業人が、週 1 回の例会に集い、例会の場で、職業上の発想の交換を通じて分かち合いの精神による事業の持続性を学び、友情を深め、自己改善を図り、その結果として奉仕の心が育まれてきます。例会で高められた奉仕の心を持って、それぞれの家庭、職場、地域社会に帰り、奉仕活動を実践します。これが日本のロータリーが大切にしてきたロータリーライフ (職業奉仕) です。

2016 年規定審議会の最大のトピックスは、例外規定をロータリークラブ定款の「例会と出席」ならびに「会員身分」に設けたことです。伝統的に例会を重んじる日本のロータリーにとって、職業奉仕の形骸化、R I 主導のボランティア活動が主流となることへの懸念でもあります。幸い、今年度の第 2630 地区大会で「日本の伝統として継承するロータリー文化を堅持する決議」が採択され、私の訴え (例会を大切にして職業奉仕を中核とした人づくりのロータリー) が共有できたことを率直に喜んでいきます。しかしその堅持には、以下のことが重要です (服部芳樹パストガバナーの書簡より抜粋、要約)。「1. 制度としては、地区大会決議をロータリークラブ細則で明確にし、2. 地区大会決議を決議審議会に上程して、なるべく多くの地区の賛同を得ることによって、力ある決議案と成し、3. 日本のロータリーの姿を世界のロータリーに示して、成熟したロータリー文化を持つ他国の地区の理解と賛同を得ること」「(立法案として) どう『かたち』にするかは、例えば今後のロータリー章典などを勘案して作成し、R I にとっても良策で実利があると納得させるものでなければならない」

岐阜・三重



(製紙原料販売)

地区チームは クラブを支援する

第 2750 地区

大槻 哲也 ガバナー

(東京中央 R C)



わが地区は、東京南部の地域と、海外のグアム、サイパンなど北マリアナ諸島、パラオ共和国、そしてポンペイおよびチュークなど、ミクロネシア連邦地域が範囲です。クラブ数は国内 91 クラブ、海外 9 クラブの合計 100 クラブ、会員数は 4,860 人 (2017 年 1 月末現在) です。

1 クラブの平均会員数は 48 人ですが、会員数 100 人を超えるクラブが 8 クラブあります。一方で、平均会員数に満たないクラブが 66 クラブ (うち海外 6 クラブ) あり、そのうち 11 クラブ (うち海外 4 クラブ) は会員数 20 人に満たない小規模のクラブです。

クラブの管理運営においては、クラブ規模の大小にかかわらず、各クラブの会長、幹事が先頭に立ち、リーダーシップを発揮して、奉仕事業などの目標達成に向けて会員の意欲を高め、成功を収めるため奮闘中です。多くのクラブが戦略計画に基づいて活動の成果を挙げていますが、ごく一部に、小規模のためマンパワーや財政面で満足な奉仕活動ができず、苦戦しているクラブがあります。その一方で、小規模であるがゆえに地区内外クラブと協同してアイデア交換を行うなど、積極的にクラブの活性化を図っているクラブもあります。

地区では、地区の組織を「地区チーム」として、「地区チームはクラブを支援する」ことを掲げて活動しています。会員増強の推進では、各クラブが自クラブの適正規模を描き、会員としてふさわしい人を「職業分類表」の調整と未充填分類に着目して推薦するようアドバイスしています。また国際ロータリーテーマ「人類に奉仕するロータリー」を受け、ガバナーの信条を込めた地区運営方針「奉仕の哲学を実践しよう」を推進するために、ロータリー財団 100 周年や米山記念奨学事業への寄付、

奨学生や青少年交換学生の活動の意義を周知し、奉仕研究委員会が各クラブの活動の情報を共有し、卓話などで広めています。

(社会保険労務士)



継続で成果を挙げる V T T 事業

第 2760 地区

服部 良男 ガバナー

(岡崎 R C)



2010 - 11 年度に試験的プロジェクトとしてロータリー財団「未来の夢計画」が始まり、V T T (職業研修チーム) プログラムが導入されて以来、パイロット (試験) 地区に選ばれた当地区は、世界で唯一初年度から V T T 事業を継続実施しています。グローバル補助金を使い、6 つの重点分野の中の「疾病予防と治療」をテーマに、医療専門家チームの派遣と受け入れを行っています。3 年間のパイロット期間終了後も、2013 - 14 年度にはフィリピン・ケソン市 (第 3780 地区)、2014 - 15 年度にはマレーシア・コタキナバル (第 3310 地区)、2015 - 16 年度にはインドネシア・ジャカルタ (第 3410 地区)、そして今年度は再びフィリピン・ケソン市で実施し、受け入れも行っています。

特徴は、相手地区の事業への理解と協力を得るために、福田哲三・地区 V T T 委員長 (名古屋和合ロータリークラブ) が毎回事前に打ち合わせを行い、相手地区のガバナー、財団委員長をはじめ、ロータリアンから地区を挙げての協力を得るよう努力していることです。

例えば 2013 - 14 年度 (第 3780 地区) は、前年度の会長エレクト研修セミナーに参加し、V T T 事業に対する理解と協力を呼びかけました。2014 - 15 年度 (第 3310 地区) は、事前に現地の地区大会でスピーカーとして大会出席者に説明。今年度 (第 3780 地区) は現地の地区研修・協議会の分科会で説明して理解いただきました。過去いずれの事業でも、相手地区と当地区の両ガバナーエレクトが国際協議会で約束し、再会を誓い、そしてガバナーが現地研修に同行し、派遣メンバーの激励と、現地ガバナーやロータリアンたちとの交流をしてきました。そのことによって、両地区での国際奉仕交流が持続・継続されています。

今後多くのロータリアンが関わる「地区事業」として、地区間の交流促進も含めた V T T 事業を目指していきます。

(厨房機器製造)



会員増強に向けて

第 2780 地区

佐野 英之 ガバナー

(秦野 R C)



第 2780 地区は神奈川県横浜・川崎地域を除く県内西部を中心に 65 クラブで構成されておりましたが、今年 1 月に新クラブが誕生し、66 クラブとなりました。地理的には西は箱根連山から丹沢連峰に囲まれ、歴史ある鎌倉市、小田原市が含まれており、一方、湘南地方といった開放感あふれる土地柄でもあります。

早いもので、昨年のサンディエゴでの国際協議会に参加して以来、ガバナー就任早々始まった公式訪問、各種地区セミナー、秋の地区大会と、公式行事はあっという間に過ぎてしまいました。地区大会では、当地区では初めて女性の国際ロータリー会長代理をお迎えしました。大会会場が 2 か所にまたがったため移動には大変不便をおかけしましたが、晴天に恵まれ盛会のうちに終了することができました。また姉妹締結をした韓国（第 3662 地区）・済州島の皆さまにも大勢参加いただき、親しく国際交流の場を持つことができました。

さて、当地区も会員増強を一番の目標に掲げ、いろいろきめ細かい方策を取っていますが、達成には困難を来しております。最近、各方面で活躍する女性が目立ちます。そういう方々にぜひ入会していただけるよう、取り組み方を考え、3 月には女性会員増強のためのセミナーを開催。できれば地区内のロータリークラブが、社会で活躍する女性への積極的なアプローチと、受け入れる柔軟性を持って会員増強にあたってほしい、そのきっかけになればと思っています。

誰かが一石を投じて、その雰囲気を変えることも大切です。会員が協力して活発に行事や奉仕活動をしているクラブ内の空気は会員を動かす力がありますので、クラブ内のプログラムを見直し、何かきっかけで会員が積極的に参加できるように“前向きサイクル”を作ってほしいと思います。明日のロータリーが輝くように、一つひとつのクラブが生き生きと活動できるように心から願っています。

(酒醸造業)



神奈川

対話で胸襟を開いた 公式訪問

第 2640 地区

福井隆一郎 ガバナー

(堺 R C)



わが地区は、北は大阪市の南部を流れる大和川以南から、南は和歌山県全域の縦に長い地区です。公式訪問は基本的にバス、電車などの公共交通で移動し、担当のガバナー補佐と地区幹事に同行してもらいました。地区内にはユネスコ世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」があり、高野山や熊野古道、那智の滝が有名です。私自身、体力に自信はありましたが、暑い夏の公式訪問が過酷なのは言うまでもありません。しかし、素晴らしい景色や温かい歓迎に、大変感激しました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

今年度の公式訪問は、数年来続いた当地区の混乱から、あるべき地区へ生まれ変わる大きな役割を占めていました。全 70 クラブを一クラブごと、丁寧に訪問することが私の最大の役目でした。クラブ協議会で会長・幹事との対話を通じて、また例会でさまざまなロータリアンと対話することで胸襟を開くことができ、地区への不信感はある程度、払拭できたと思います。地区方針「対話から新たな一歩へ 共に楽しむロータリー」はクラブ、ロータリアンと地区を結ぶ、文字通りの、ガバナーとしての最大の役目でありました。さまざまな職業や経歴、考えを持つロータリアンが互いに対話し、理解し、奉仕活動を通じて自己研鑽し、成長することがより鮮明になった気がします。個人的には、エレクト年度にも独自で訪問するのも大事だと思います。会員減少、高齢化、少人数クラブの増加など、地区にはさまざまな問題が山積しています。クラブから見る地区の思い、地区から見るクラブの思いは私自身が皆さんに接することで両者の風通しを良くできます。そして国際ロータリーの思いとクラブの思いをつなぐガバナーの役目がいかに大事わかりました。またガバナー補佐を通じた、分区の活動の重要性も大きいと思います。

ネット社会ですが、対話を通じた公式訪問の重要性が、今後ますます増大すると思います。

(刃物販売)



大阪南部・
和歌山

World Roundup

世界のロータリーニュース



日本

11月27日、東京で「ロータリー財団100周年記念シンポジウム」が開催され、ロータリアン、ロータリー学友とその家族約800人が集い、ロータリアンになっているロータリー財団学友の磐石なネットワークを示しました。「国際人道奉仕の第一線で活躍するロータリー財団学友の報告」と題されたこのシンポジウムは、日本ロータリー学友会が主催。同学友会には、現在25地区が参加しています。基調講演を行ったジョン・F・ジャーム国際ロータリー会長は、日本の3分の2の地区に学友会があり、日本は、1947年以来、世界で4万3,000人以上いるロータリー財団奨学生ならびにロータリー平和フェローのうち、第2位となる約8,700人を支えてきたことなどに触れました（詳細は『友』2017年1月号横組みP24～27）。

ロータリー米山記念奨学会はこれまで、日本への留学生約2万人を支援してきました。



ガンビア

ガンビアの小さな村ジャランバンに初めて学校ができたのは2010年のことでした。ある企業のツアーガイドが、満足した顧客からの寄付で1つの学校「Mansa Colley Bojang School」を建てたのです。イギリスのイーリー・ヘリワード・ロータリークラブ元会長のクリスティーン・ガスコイン氏は2011年、この学校をクラブで全面支援することを提案。翌年には、ノーフォークの北部沿岸で行った80kmのウォーキング行事で1,200ポンド（約17万円）の寄付の誓約を得たほか、クラブからも400ポンド（約5万6,000円）を寄付しました。2015～16年度、イギリス（第1080地区）とのマッチング・グラントで、この学校に鶏小屋と生まれたてのひよこ500羽が寄贈されました。ガスコイン氏は次のように話します。「ひよこの寄贈から半年で、毎日400個の卵を生み出し、10ポンド（約1,400円）の収入を生み出しているだけでなく、国内5番目の規模を誇る卵の生産者になりました」



ブラジル

ブラジル南部に位置するパラナ州のマンダグアリ・ロータリークラブは、地元のファーストレスポnder（事故、災害などの現場で最初に対応に当たる警察官や消防隊員など）と協力して交通事故の現場を再現し、合計18時間をかけ、2,000人の子どもや若者に交通安全の重要性について認識を高めるための講習をしました。つくり物の事故現場とはいえ、現実味を重視。アマゾン通りで、実際に消防士と救急救命士が「けがをした通行人」の処置に当たったり、携帯電話に気を取られたドライバーがバイクを横転、炎上させたという設定で、実際にバイクの消火作業も行われました。この再現の後、クラブ会員は安全運転のパンフレットを配布し、安全運転をトピックにしたゲームの審判も務めました。



アメリカ

ヒューストンの北東にある人口約8,300人の町、テキサス州リバティでは、至る所でコンクリート製の鐘を見かけます。これはロータリアンたちが販売しているもので、住宅の庭や会社、公園などに飾られ、町の人たちの誇りとなっています。「ポリオプラスへの寄付と、フィラデルフィア自由の鐘のレプリカをつり下げるリバティベルタワーの再建という2つの目的を達成するために、この鐘を利用した資金調達のアイデアを出したのは、リバティ・ロータリークラブ（RC）会員のビル・ブラッキン氏です」と話すのは、現在はテキサス州ベイトウンRC会員で、リバティRC元会長のキャロル・スキューズ氏。重さ約136kg、高さ約90cm、1個300ドル（約3万5,000円）の鐘は約80個売れ、経費を引いた6,000ドル（約70万円）ずつ、前述の2つの目的のために使われました。

2014年、ボリビアでの人口1人あたりの医療費は947ドル（約11万円）、アメリカでは9,400ドル（約110万円）でした。



ボリビア

ボリビアの国民保険制度では、水頭症（すいとうしょう過剰に生成された脳脊髄液が蓄積する病気）の手術と術後ケアは保険が適用されますが、脳脊髄液を排出するために挿入されるカテーテルの費用には保険が適用されません。ラパス市のチュキアゴマルカ・ロータリークラブの会員によると、このために多くの人々が手術することなく、健康を害する恐れがあると言います。これを阻止しようと、同クラブでは15年前にカテーテルバンクを創設し、数百人もの貧しい患者たちにカテーテルを提供してきました。マッチング・グラントで始まったこの取り組みは、実施国側が主導するプロジェクトの好例として賞賛され、現在、グローバル補助金プロジェクトとして成功を収めています。5月にはカテーテルの寄贈が1,000本に達する予定です。

通常数百ドルほどするカテーテルの手数料として、受益者の家族から35ドル（約4,000円）だけを受け取っていることがこのプロジェクトを象徴しています。この出資は、「それぞれの患者とその家族になくてはならない、参加意識」をもたらすと、同クラブ会員で、元クラブ会長のリカルド・サンチェス氏とともに銀行のコーディネーターを務めるユキオ・ハセガワ氏は話します。「患者は、無料で受け取った行為やものにありがたみを感じません」

—ブラッド・ウェーバー



“よねやま”から広がる新しい世界 ②

カンボジアからのうれしい便り



宇都宮東 R C
(第 2550 地区 栃木県)

カウンセラー
辻 裕司 さん

新年のメールで再び結ばれた縁

私は何人もの米山奨学生のカウンセラーを担当してきました。サ・ソチア君もその一人でした。彼はいつもニコニコと笑顔で人当たりが良く、クラブの会員と積極的に交流を図っていました。私は、これまでの奨学生と同じように自宅に招き、行事に誘い、また、家族連れでの苦しい生活を送っていた彼のため、会員の経営するスーパーマーケットの仕事を夫人に紹介したこともありました。

一番大変だったのは、指導教員の病気が影響して、彼の論文の完成が遅れ、博士号を取ることができなくなるとわかった時です。指導教員を訪ねて、面倒を見ることを約束してもらった上で、私からクラブに継続支援をお願いしました。幸いにも理解が得られ、クラブ独自で1年間奨学金を支給。期待に応え、彼が博士号を取得した際には、全員でお祝いしたのは言うまでもありません。

その後、カンボジアに帰国した彼からは、たまに手紙やはがきが届きましたが、現地の郵便事情が悪く返事が届かなかったり、こちらも多忙で連絡できなかったりして、音信は途絶えがちでした。それが今年の初め、新年

のあいさつを兼ねた写真付きのメールが届き、電話もかかってきました。「カンボジアの大学で学生に日本語を教えたり、日本文化を紹介している」との報告を受け、大変うれしく、ありがたかったです。近々カンボジアに会いに行くと約束しましたが、彼も、われわれと再び交流できることを期待してくれているようです。

夢や希望を語り合う訪問に

私は地区米山記念奨学委員長として、次年度で3年目を務めることとなりますが、この仕事は大変な責務と事務作業量を抱えています。より良い体制づくりが急務と考え、今年度から、選考、学友、寄付増進の各小委員会を設け、チームで分担するようにしました。新体制を軌道に乗せるべく目の回るような忙しさで、これまで世話した学友に連絡する余裕がないというジレンマもありますが、彼らをお世話した経験が、この委員会の仕事に活かされているのは確かです。奨学生たちがどのような生活をしているかわかりますし、世話クラブやカウンセラーに、具体的なアドバイスをすることができます。何より私自身、カウンセラーをやったからこそ、こうして米山と離れられなくなってしまったのだと言えます。

内戦で壊滅的被害を受けた母国の教育現場で、ソチア君が頑張っていることは、われわれにとっても励みです。彼の挑戦にも手を差し伸べられたら、と考えています。彼の元を訪ね、互いの夢や希望を語り合いたいと思います。彼が指導した学生たちを米山奨学生として受け入れる、そうした未来も、そう遠くない話かもしれません。

正月にソチア君の家族を招いて



ソチア君のセンターで書道を学ぶ学生たち

カンボジアから届いた一通のメール。長く連絡できなかったことをわびつつ、日本への留学を希望する若者たちを指導している、という近況がつづられていました。差し出し人は、カンボジアのパニャサストラ大学に勤める米山学友のサ・ソチアさん。受け取ったのは彼のカウンセラーで、第2550地区米山記念奨学委員長を務める辻裕司さんです。一通の便りをきっかけに浮かんできたさまざまな思い出、新たな交流の始まりについて語ってもらいました。



米山学友
サ・ソチアさん

出身：カンボジア
奨学期間：2009 - 11
学校名：宇都宮大学大学院

ロータリーの支援でかなった夢

ロータリーとの出会いは留学前。長い内戦が終わっても再建が進まないカンボジアの状況を見て、「第二次世界大戦後に奇跡の復興を遂げた日本について学び、母国の発展に生かしたい」と思い、大学で専攻した数学を学ぶ傍ら、日本語の勉強を始めました。そして、岡山県の高梁ロータリークラブ（RC）がカンボジアに設立した小学校で2年間、日本語を教え、その後、高梁RCのおかげで、日本に留学することができたのです。

宇都宮大学大学院の博士課程に進学し、今度は米山奨学生として、再びロータリーの支援を受けました。最も心に残ったのは、例会で学んだ「四つのテスト」です。宇都宮東RCの皆さんと交流するうちに、これが重要な経営理念であることに気づき、今の仕事でもこの言葉を心がけています。カウンセラーの辻さんからは、“第二の親”と思えるほど、親身に面倒を見てもらいました。お正月に自宅に招いてもらい、旅行に連れて行ってもらったり、問題解決のアドバイスを受けてたりもしました。博士号を取得できたのは、辻さん

と宇都宮東RCの皆さんのおかげです。

自らサポーターとなり社会に貢献を

卒業後に帰国し、在カンボジア日本国大使館に勤めた後、2014年9月から、パニャサストラ大学の日本語・ビジネス研修センター所長兼大学教員として勤務しています。日本で経験したことを学生たちに伝えて留学を後押しし、日本とカンボジアとの友好を深める懸け橋の役割を果たす、やりがいのある仕事です。

現在、当センターで日本語を学ぶ学生は約250人ですが、今後も増えていくと思います。いずれは当センターを高度な人材開発センターへと成長させると同時に、学生たちと一緒にさまざまな社会貢献活動をしていきたいと考え、「日本カンボジアソーシャルデザイン」という学生クラブを立ち上げようとしています。

これまで、ロータリーの皆さんからサポートを受けてきた私が、これからはサポーターとして、社会のため、次世代のために何ができるかを考えています。「自分や家族の幸せだけでなく、ほかの人の幸せも考えなければ、真の幸せではない」。皆さんから学んだことを胸に刻み、実践していきたいと思います。

ロータリー米山記念奨学会事務局

米山記念奨学事業に関するお問い合わせ・ご意見、または“よねやまだより”についてのご意見を、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会まで、ぜひお寄せください。

Tel. 03-3434-8681 Fax. 03-3578-8281

Eメール：mail@rotary-yoneyama.or.jp



ミャンマーに米山学友会が誕生！

2月25日、ミャンマー米山学友会の創立総会がヤンゴン市内で開かれ、ミャンマー出身の米山奨学生・学友22人を含む約60人が出席しました。初代会長に就任したタンシンナインさん（2003 - 05 / 東京調布RC）は東京米山ロータリーEクラブ2750の会員であり、第2750地区をはじめ日本から多くの会員が出席したほか、2014年に旭日小綬章を受章したミャンマー初の米山奨学生、アウン・チョウさん（1962 - 66 / 東京北RC・東京南RC）も家族とともに駆けつけました。タンシンナイン会長は「日本語を学ぶ学生への奨学金、貧しい小中学校への支援なども行っていきたい」と抱負を語りました。



小沢一彦理事長（左）とタンシンナイン会長

職業奉仕、職業サーヴィスを考える

2007－08年度R I職業奉仕委員会委員 廣畑 富雄（福岡西RC）

一般に職業奉仕は、わかりにくいと言われる。例えば、職業を通じた奉仕なのだから、医師の無医村診療や弁護士の無料相談などと誤解される方もいるかもしれない。「奉仕活動」は無料だと理解するからである。『ロータリーの友』の1月号に、第2840地区の本田博己パストガバナー（PG）が、新しいコンセプトの職業奉仕について寄稿しておられた。元来職業奉仕は、私の大変関心のある分野であり、最初に『友』誌に寄稿したのは、約35年前のことである（1982年7月号）。長年開かれていなかった国際ロータリー（RI）職業奉仕委員会が2007－08年度に開かれ、私は第1回の日本の委員を務めた。エバンストンの会議では、大変有意義な議論ができたと思う。そういう背景のもとに、この小文を寄稿させていただきたい。同委員会の審議とRI理事会への勧告は、『友』誌2009年1月号（横組みP16～17）に寄稿している。

職業奉仕という概念が理解しにくいのは、Vocational Serviceを職業奉仕と訳したためであろう。元来「サーヴィス」という概念は、奉仕よりずっと広い概念で、相手をおもんばかり相手のためになる行為である。英語の「サーヴィス」に無料という概念はない。日本のロータリーの大先達、米山梅吉さんの言葉だが、「翻訳も種々試みてみた。しかし翻訳は、大変難しい。第一、サーヴィスという言葉、これが実に難しい。だから英語のまま使う方が良いと思われる」。これは、1929年、日本の第1回地区大会での発言である（前岡志郎PG資料）。

米山さんは、昭和11（1936）年、『ロータリーの理想と友愛』という本を出版。ポール・ハリス著『This Rotarian Age』の翻訳である。その中で、「サーヴィス」は一切奉仕とは和訳せず、サーヴィスと記しておられる。私も永住権を持って長くアメリカで生活したが、サーヴィスを奉仕とは訳せない、と思っている。なお現在入手できる『ロータリーの理想と友愛』は、米山さんの没後の出版であり、米山さんのサーヴィスという訳は、すべて奉仕に変えられている。

この小文で以後は、米山さんと同じく、「職業サーヴィス」と訳す。職業を通じたサーヴィス、端的に言えば、相手に対し、思いやりの心をもって接することを言う。より正確には、関係するすべての人への思いやりである。アーサー F. シェルドンは、このやり方でビジネスをすれば、長い目で見れば、永続的な顧客を獲得し、成功への道に通じるという。ここから有名なロータリーの二つの公式標語の一つ、He Profits Most Who Serves Best（現

在はHe⇒One）、「最もよくサーヴィスする者、最も多く報いられる」が生まれる。

日本の2代目ガバナー、井坂孝氏の『ガバナー月信』を見ると、RI職業サーヴィス委員長から「職業サーヴィスは、人間の社会生活で最も重要である。だから職業サーヴィスを鼓吹してもらいたい」という連絡を受けている。確かに、誰もが職業サーヴィスを重視すれば、より良い社会が生まれるだろう。例えばリーマン・ショック、これはリーマン・ブラザーズ社をはじめとする業界各社の、倫理感を欠いた住宅ローン（サブプライム・ローン）が発端であった。

ポール・ハリスは職業サーヴィスを定義し、「Vocational Service : That is, in matters pertaining to the ethical conduct of his business or profession」と述べている。要するに職業サーヴィスは、高い倫理性を求めることだ、と述べている。サーヴィス、相手のために思う行為には、高い倫理性が伴うのは当然である。

ロータリーは、激動の時代を迎えた。社会奉仕、特に発展途上国への援助が重視される。ポリオ撲滅が成功した後は、発展途上国の諸問題、例えば貧困対策なども重視される。これは私の、規定審議会での議論を通じた理解である。世界のロータリアン数は近年約120万人と変わらないが、この10年間に発展途上国では約10万人増加し、先進国では約10万人減少した。例会も、会員資格も緩和された。ロータリー百余年の歴史と伝統を重視する日本のロータリーにとり、厳しい時代となった。しかし、われわれは、良き伝統は保持し、それを世界に拡大していきたいと考える。

ある元RI会長が、毎年日本の地区大会にお見えになる。理由を聞くと、「日本の地区大会が、最も楽しいので」と言われる。私も10年ほど前だが、ボストンのあるクラブの例会に十数年ぶりに出席した。かつては会員数が400～500人だったのが、当日の例会出席者は10人余で、強いショックを受けたのを思い出す。ロータリーの基本に関し、拙著『ロータリーの心と原点 Back to Basics』について、例会出席者に話したところ、すぐに英訳してほしいと言われて驚かされた。

結びに、日本のロータリーは大体において、ロータリー一百有余年の良き伝統を保持してきたように思う。われわれは胸を張ってロータリーの基本を守り、われわれの信じることを世界に伝えていく、それが世界のロータリーに、大きな貢献になるのではないだろうか。

（第2700地区 福岡県・佐賀県・長崎県 2005－06年度ガバナー）

2016 - 17 年度 地区大会略報 Ⅳ



第 2660 地区

2016 年 12 月 9 ~ 10 日

大阪国際会議場ほか

ホスト 大阪北 R C 登録者 2,602 人



松本進也ガバナー 台湾から張吉雄 R I 会長代理を迎えた大会は、大阪北 R C 会員で能楽師の大槻文蔵氏の祝能「翁」で幕を開けました。東日本大震災で被災しロータリアンの招待を受けてオーストリアを訪問したことがきっかけでピアノの才能を見いだされ、同国に留学中の吉田昂城氏が一時帰国し、支援者へのお礼の意味を込めて演奏。ロータリアンはロータリーの可能性、素晴らしさをあらためて実感することとなりました。100 周年を迎えたロータリー財団など、ロータリーに関する最新情報を、会員が学ぶ機会ともなりました。



第 2580 地区

2017 年 2 月 1 ~ 2 日

ホテルニューオータニ

ホスト 東京上野 R C 登録者 2,162 人

上山昭治ガバナー 上山ガバナーは「出会いを大切に」をモットーに、親睦と研修を重点項目とし、数回にわたり地区研修会を開催。その第 2 回の講師を務めた廣畑富雄 P G を R I 会長代理に迎えた今大会は、「転換点にあるからこそ、原点を確認する」という視点を大切に行われました。初日の地区指導者育成セミナーでは齋藤直美 R I 理事を講師にロータリーの現状と展望を学びました。本会議の記念講演は経済アナリストの森永卓郎氏。その後は懇親会で友情を深め、学びの場、出会いの場となる大会となりました。



第 2750 地区

2017 年 2 月 21 ~ 22 日

グランドプリンスホテル新高輪

ホスト 東京中央 R C 登録者 2,695 人

大槻哲也ガバナー 黄其光元 R I 会長を R I 会長代理に迎えて開催。「洗足学園音楽大学コールフアンタジア」のコーラス、「明治大学マンドリン倶楽部」の演奏、学生たちの熱演に参加者一同感動。記念講演の講師は、東京大学大学院特任准教授の松尾豊氏。人工知能の最新動向やその発展が社会に与える影響や可能性について、わかりやすく解説しました。懇親会では、ロータリアンバンドが大活躍し、若い会員たちにガバナーやパストガバナー夫妻も加わってダンス。盛り上がったところでお開きとなりました。

ロータリーと歌

日本では、例会の時、ほとんどのロータリークラブで歌を歌っています。新会員の皆さまは、そのことに驚かれたかもしれません。ソングリーダーとして指揮棒を振るなど、思ってもみなかった経験をされた方もいらっしゃるかもしれません。

ロータリーでは初期のころから歌を歌っていました。ロータリー 100 周年を記念して出版された『奉仕の一世紀 国際ロータリー物語』には、「1905 年のある秋の夜、例会で一時的な静寂が訪れた。会話のざわめきが突然止んだ。警告もなく、ハリー・ラグルスが自ら立ち上がって『おい、みんな、歌おう!』と当時流行っていた歌を何曲か音頭を取って歌った。以来、例会での合唱は、ロータリーの伝統となった」とあります。ご存じのように、シカゴ・ロータリークラブ(RC)が創立したのは 1905 年 2 月 23 日ですから、1 年もたたないころの出来事です。

「創立から 2 年目、会員同士のささいな意見の相違がだんだん大きくなり、クラブ内が割れ、出席率が低下するようになってきました。当時、シカゴ RC の幹事だったウィル R. ネッフが、ラグルズに『これがもう 1 か月も続けば、クラブは解散してしまうだろう。私は、君が毎週立ち上がって楽しく歌うことにしたらどうか、と思う』と言い、ラグルズはその通りにし、指揮者として確固たる地位を占めた」と、笹部誠パストガバナー(PG 川崎 RC)が、『友』1971 年 4 月号に書いています。



ハリー・ラグルス

さて、皆さまのクラブでは、どのような歌を歌っていますか。いわゆるロータリーソングだけではなく、童謡などを歌われているクラブも多々あるかもしれません。クラブ独自の歌をつくって歌っているクラブもたくさんあります。

1935 年 5 月、京都で開催された地区大会で、かねて募集した作品の中から入選作品が発表されましたが、今、国内のクラブでよく歌われている「奉仕の理想」と「我等の生業」は、この時に入選した 4 曲のうちの 2 曲です。

1952 年、大阪で開催された地区大会では、「手に手つないで」「それでこそロータリー」が、当日発表された 5 曲の中に入っていました。

『ロータリーの友』創刊 50 周年記念として、以前からあったロータリーソングの CD と楽譜集を、リニューアルすることになりました。この時、全国のクラブで作詞・作曲し歌っている歌で、クラブ名や地名が入らずどのクラブでも歌うことができる歌を公募し、以前から CD に入っていた歌に、新しい歌を加えて CD と楽譜集を作成しました。

さて、昭和初期の日本のロータリークラブについて、深川純一 PG (伊丹 RC) によれば「昭和 8 年、京都 RC に右翼の壮士の一団が押しかけました。時の会長の石川芳次郎氏は『ロータリークラブというのは世界的な組織であって、私たちは皆、良質な職業人です。職業を通じて世のため人のために動いているので、決して国の利益に反することではありません』と言ったのですが、納得してもらえず『証を立てろ』と言われました。そこで石川会長は証を立てるために二つの条件を提案しました。それが例会で『君が代』を斉唱することと、例会場に『日の丸』を掲揚することでありました」

ロータリーソング同様「君が代」を歌い「日の丸」を掲げることを不思議に思っている若いロータリアンの皆さま、それは私たちの大先輩が、戦時中、ロータリーを守りぬいた証しなのです。

ロータリーソングに公式とか非公式の区別はありません。ご紹介したように、これまでに何度か公募されていますが、そこで入選した歌がすべて歌い継がれているわけでもありません。例会で歌う歌には決まりはありません。会員同士が声を合わせることによって生まれる連帯感、例会の雰囲気をもるく柔らかいものにすること、それが大事なのだと思います。恥ずかしがらないで、大きな声をおなかから出して、楽しく歌いましょう。『友』編集長 二神 典子



今月はクロスワード。ロータリーのことはよくわからない、という人もご心配なく。パズルは一般的な問題で、ご家族の方も楽しめます。ただし、二重枠に入った文字を入れてできた言葉とロータリーには少し関係があります。どんな関係かな。ロータリーのこと、ちょっとずつ学ぼう。

パズル制作／ニコリ

問題 二重枠に入った文字をAからEの順に並び替えてできる言葉は何でしょう？

ヨコのカギ

- 花見といったら、見るのはふつうこの花
- 北が上になっているものが多い
- 日本語に直すと「いま」でしょ
- 大好物でも、続けて食べていると来る
- 「ろうほ」と読んでも間違いではありません
- かつての時代から残されたもの。前世紀の――
- 本格的でなくスヤスヤ
- 『星降る――』というヒット曲もあった
- 元素記号S、温泉に含まれていたりする
- アルトとも呼ばれる楽器
- 遠くがはっきり見えなくなる気象現象
- チャパティと違って発酵させる
- 今まさにこの季節

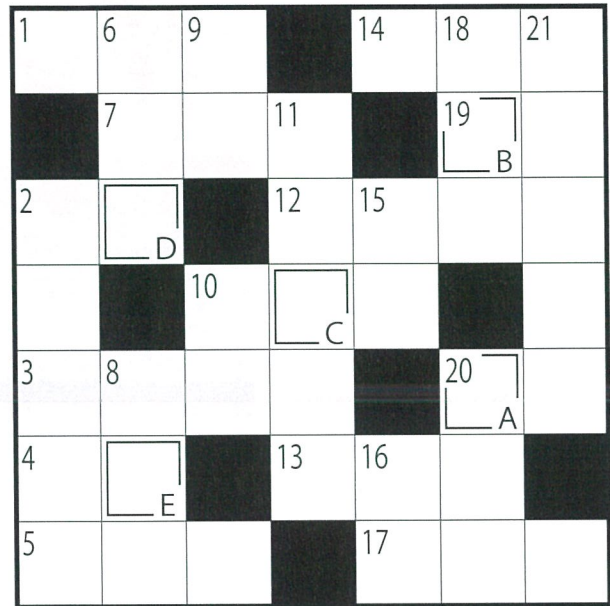
タテのカギ

- ひどく酔った人の歩き方
- 「早押しや三択などがある遊びは何でしょう？」
- 2つに分かれた女性用水着
- テニスの無得点
- アルミやらスチールやら
- 食卓に並ぶ前にひょいと
- 偉そうな一人称
- すずりの、海じゃないところ

毎月10人にロータリーの友名前入り
オリジナルUSB（4GB）をプレゼント



* 1月号の答えと解説を横組みP 41に掲載しています。



答 A B C D E

- 食べずにいると背中とくっつく？
- モデル――、ゲスト――
- 4月から背負い始める子も

応募方法

郵便はがきに、①「4月号の答え」 ②名前 ③所属クラブ ④今月号で印象に残った記事 をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階（一社）ロータリーの友事務所P係までお送りください。ご記入いただいた情報は誌面企画の参考と、賞品発送のためにだけ使用させていただき、印象に残った記事に関する回答は「印象に残った記事ベスト3」の集計に使用します。会員のご家族、クラブの事務局の方、インターアクター、ローターアクター、米山奨学生のご応募も大歓迎です。

締め切り 2017年5月10日（水）必着

正解と当選者発表 本誌7月号

来月のパズルは、数独。お楽しみに！

震災後 6年目もサンタの贈り物 岩沼ロータリークラブ

横浜旭ロータリークラブ（RC）の支援により、震災後から始めた岩沼市内の複数の幼稚園、保育所の園児へ、サンタからの贈り物を毎年継続中。今年度も、12月9日と21日に岩沼RCからのサンタも含め、総計12人のサンタが、3施設の園児に喜びのプレゼント。質問コーナーでは「何歳ですか?」「空飛ぶソリはどこで買ったの?」など、難しい問いにも明快地に回答。横浜旭RCの継続支援の実践力に敬意を表し、感謝。

（第2520地区 宮城県）



みんな笑顔のもみじ例会 千厩RC 山本 廣志

東日本大震災により、沿岸部のクラブは被害を受けました。第2520地区第3分区的に私たち千厩ロータリークラブ（RC）と親交があった、気仙沼RC、気仙沼南RC、陸前高田RCが例会を開ける状況にはないことを聞いて、当時、私たちのクラブで何かできないかを模索していた折、4クラブ合同の例会を企画し復興の一助としようとの意見が出て、皆、大賛成し実現しました。

2011年10月18日、千厩酒のくら交流施設で「もみじ例会」と銘打ち、3クラブを招待して顔を合わせ、



少しの時間でも痛みを忘れて楽しんでいただければと、紅葉の見える宴席を設けました。あの時、皆さんが無事を確認し合い、大いに喜ばれ、盛り上がったことは忘れられません。

あれから5年たった10月18日、4クラブの会員が顔をそろえ親睦を深めました。4クラブ合同例会は毎年続けて開かれ、皆さんの笑顔に会えることを本当にうれしく思っています。

（第2520地区 岩手県）



『ロータリーの友』 新コーナーのお知らせ

『ロータリーの友』では新年度から3つのコーナーがスタートします。つきましては、下記の情報、投稿を広く大募集！新コーナーの一番乗り（載り）を目指しませんか？各欄とも『友』ウェブサイト（rotary-no-tomo.jp）から記入用紙をダウンロードできます。

New Generation

ロータリーのプログラムに参加している（あるいは、参加したことのある）若い人たちを紹介。彼らに今、夢中になっていること、考えていること、将来の夢などを語ってもらい、本人の写真とともに、毎月2人ずつ掲載します。皆さんの周りの「お！がんばってるねえ」「いまどきの子だなあ～」「そんなこと考えてるの？」と思うような若者をぜひ、ご紹介ください。友事務所からご本人に直接、原稿を依頼します。

推薦者 ロータリアン

受付 随時

対象 インターアクター、ローターアクター、青少年交換学生、財団奨学生、米山奨学生、RYLAなど、ロータリーのプログラムや行事に参加経験のある10～30代までの人（現役、OB・OGどちらも可）

推薦方法 推薦対象者のお名前、参加プログラム経験・時期、推薦理由、連絡先（Eメール、電話番号）、および推薦者のお名前、クラブ名、連絡先（Eメール、電話番号）をお知らせください。

私の一冊

最近読んで感動した本、人生を変えた一冊、思い入れの深い一冊を、ロータリアンの皆さんに紹介してみませんか？

書籍
対象となる

- 現在書店で入手可能な市販書籍（絶版本、自費出版、洋書などは不可）
 - ジャンルは小説・文芸、新書、実用書、ビジネス書、教養など（写真集、画集、雑誌などは除く）
- ※本人や関係者の著作・監修・販売、自社の本など、応募者と直接関係する書籍は不可
※特定個人・団体・組織などを誹謗中傷するもの、またはそれらの主義主張に極端に偏った内容は不可

応募資格 ロータリアンおよび家族

締切 随時（1投稿につき1冊まで）

内容 本文320字以内。本文とは別に書籍名、出版社、発行年、投稿者情報としてお名前、クラブ名、連絡先（Eメール、電話番号）を付記しお送りください。

声

読者、投稿者のコミュニケーションのページです。『友』を読んで、「この原稿を書いた人にエールを送りたい！」「感動した」「知らなかった」などの感想、『友』そのものに関するご意見などを紹介します。

応募資格 『ロータリーの友』読者

締切 発行月翌月の10日

内容 本文200字以内。本文とは別に、対象記事名（例：9月号「友愛の広場」、〇〇さんの記事）とお名前、クラブ名、連絡先（Eメール、電話番号）を付記しお送りください。パズルの応募はがきにお書きくださっても結構です。※感想は7月号の内容から承ります。従って、本欄は10月号からのスタートです。

送り先

一般社団法人ロータリーの友事務所

郵送：〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階

Eメール：hensyu@rotary-no-tomo.jp（編集部メール）

FAX：03-3436-5956

記入用紙の
ダウンロードは
こちらから

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

※採用・不採用については（一社）ロータリーの友理事会・編集部にご一任ください。

※「ロータリー・アット・ワーク」「友愛の広場」「俳壇・歌壇・柳壇」への投稿、

「パズル de ロータリー」への応募も引き続きお待ちしております！



ライズリー R I 会長エレクト

環境と会員の多様性に注目

アメリカ・サンディエゴで行われた国際協議会で、イアン H. S. ライズリー国際ロータリー (R I) 会長エレクトは、2017 - 18 年度の会長テーマ「ロータリー：変化をもたらす」を発表しました。持続可能な奉仕というロータリーの目標にとって、環境保護と温暖化防止が極めて重要であるとも訴えました。

環境の悪化と世界的な気候変動は全人類への脅威であるとし、「影響を最も受けやすいのは弱い立場にある人た

ちであり、そのような人たちこそ、ロータリーが助けていく必要があるのです。それにもかかわらず、環境問題がロータリーで議題に上がることはほとんどありません。環境の持続可能性がロータリーの懸念分野ではないと言えたのは、昔の話です。今や、環境問題はあらゆる人にとって懸念すべきことです」とし、7月1日から2018年4月22日の「アースデー」までの期間に、各クラブで会員数と同じ数の植樹をするよう呼び掛けました。

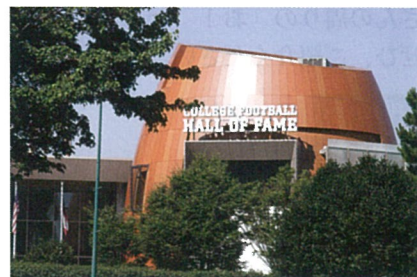
また、クラブ会員の男女のバランスを改善し、平均年齢を下げるよう求めました。

会長エレクトはさらに、クラブが独自の決定に基づいて活動できると述べた上で、ロータリーの発展と将来を守っていくには、世界的なチームワー

クが必要であると力説。「一人ではできないことも力を合わせれば実現できると、私たちは知っています」と述べました。
- ライアン・ハイランド
(『友』3月号横組み P36 ~ 39 に関連記事)

国際大会

観光情報



6月10 ~ 14日開催の国際大会にお越しの際は、スポーツの歴史を誇るアトランタを楽しむため、スポーツの聖地を訪れてみてはいかがでしょうか。

ロータリー財団管理委員長の思い

財団 100 周年の祝賀を広める

2016-17 年度ロータリー財団管理委員長 カルヤン・バネルジー



今年度、世界中のロータリアンが創意に富んだ方法でロータリー財団100周年を祝い、「世界でよいことをする」財団の一世紀にわたる献身ぶりを伝えています。

パキスタンでの記念切手の発行、ドナウ川でのクルーズ行事の実施(収益金の一部を財団へ寄付)、カナダ・バンクーバーでの「100 Years Doing Good in the World (世界でよいことを行ってきた 100 年)」ラベル付きワインの販売などをロータリアンたちは実施してきました。

もちろん、数多くの 100 周年記念晩餐会も開かれています。アーチ・クランプの故郷、アメリカ・クリーブランドのロータリアンは、100 周年記念と「財団の父」をたたえるためクリーブランド交響楽団による

コンサートディナーを主催しました。この行事では、210 万ドルを超える財団への寄付が集まっただけでなく、フルート奏者としてのアーチ・クランプの高い技術にもスポットライトが当てられました。

グローバル補助金プロジェクトを実施して財団をたたえるロータリアンもいます。インドネシアでの Deng 熱との闘い、コロンビアでの衛生設備の提供、トルコでの乳がん早期発見の推進などです。

また、ローターアクターとインターアクターは、100 周年を記念して「100 のよいこと」を実施するという呼びかけに応えています。この活動の例としては、献血、老人ホーム訪問、食糧支援所でのボランティアなどが挙げられます。

財団 100 周年という節目を祝うことで、私たちのサクセスストーリーを世界に伝えることができます。2016 年、アメリカ・ニュース専門放送局 C

NBC の「世界を変えている慈善団体 トップ 10」にロータリー財団がランクインし、ポリオプラスや財団の財務の健全性、説明責任、報告の透明性などが紹介されました。ロータリー財団はさらに、ファンドレイジング(寄付推進)の専門家のための団体「Association of Fundraising Professionals」から、「2016 年世界の卓越した財団」に選ばれました。

私たちの財団 100 周年はまだ終わっていません。特別な行事を企画したり、100 周年記念の寄付を行ったり、もっと多くのよいことをする時間はまだまだ残されています。6 月、この 100 周年祝賀のクライマックスとなるアトランタの国際大会で皆さまにお目にかかることを楽しみにしています。



ホスト組織委員会特別イベント、ハンク・アーロン主催・野球の試合を見逃しても、アトランタ・ブレーブスの新旧の球場をぜひ訪れてみてください。昨年まで球団の本拠地だったターナー・フィールドの外には、ロータリアンで彫刻家のロス・ロッシン氏による殿堂入り選手ハンク・アーロン像が立っています。ブレーブスがサントラスト・パークに本拠地を移転するのに伴い、ロッシン氏は新スタジアムにもアーロン像を制作しました。

ジョージア州の人々は大学フットボールの大ファンですが、アトランタはジョージア大学のお膝元です（地元住民の大学フットボール愛は、10代続くマスコットペット、ブルドッグの Uga 君にまで及びます）。大学フットボールにおいては、長年の名誉ロータリアンであり、ジョージア大学フットボールチーム監督であるヴィンス・

ドゥーリー氏がレジェンド。25 年間、ジョージア大フットボールチームのヘッドコーチを務めました。ドゥーリー氏の指導の下、ジョージア大は勝率 70% を誇りました。

フットボールと聞いて胸が熱くなる人には College Football Hall of Fame（大学フットボール殿堂博物館）がお勧めです。展示は何エーカーにもわたり、さらに 45 ヤード（約 40m）の屋内フィールドまであります。ここで 6 月 12 日にホスト組織委員会が特別イベントを主催する予定ですが、この日に参加できなくても、博物館は大会会場のすぐ近くですので、ぜひ訪れてみてください。－ハンク・サーティン 3 月 31 日で事前登録割引は終了しましたが、引き続き R I ウェブサイトから登録ができます。また、当日、会場で登録することもできます。www.riconvention.org/ja をご覧ください。

今後の R I 国際大会

2017 年 6 月 10 ～ 14 日

アメリカ・ジョージア州アトランタ

統計

全世界ロータリアン総数

1,227,217 人

クラブ数 35,263 クラブ

地区数 534 地区

国と地域 200 以上

ローターアクト会員数 226,389 人

クラブ数 9,843 クラブ

国と地域 160 以上

インターアクト会員数 483,230 人

クラブ数 21,010 クラブ

国と地域 150 以上

2016 年 11 月 30 日現在

* 2016 年 5 月 27 日現在

** 2016 - 17 年度

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

「パズル de ロータリー」(1 月号) の答えと解説

1 月号の答えは

「36」

当選者（敬称略・順不同）

応募総数 188 人 正解者 182 人
津田光央（榎原 RC）、渡辺達夫（岡山南 RC）、吉澤政彦（室蘭 RC）、加茂勝一（柴田 RC）、堀充（稚内南 RC）、済陽順司（都城 RC）、山村明（米沢おしょうしな RC）、植松悦子（松阪山桜 RC）、廣山宗一（川崎中 RC）、袴田文治（静岡西 RC）

7	1	2	8	③	5	4	6	9
6	4	5	2	7	9	1	8	3
9	3	8	6	1	4	7	5	2
8	5	6	1	4	3	2	9	7
4	9	7	5	6	2	3	1	8
1	2	3	7	9	8	⑥	4	5
2	6	9	3	8	1	5	7	4
5	7	4	9	2	6	8	3	1
3	8	1	4	5	7	9	2	6

ところで「36」って？

ロータリーの創始者、ポール・ハリスが、ロータリーを創立した時の年齢です。ロータリーを始める以前のポールはどのような人生を送って

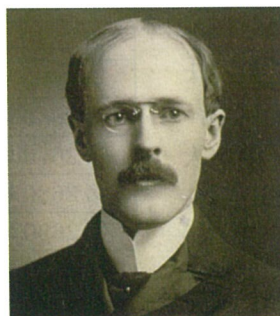
いたのでしょうか。

ポールは 1868 年 4 月 19 日にウィスコンシン州ラシーンで生まれました。ポールには兄と妹がいますが、家庭の事情で、母と妹とは別れ、兄とともに父親の実家があるバーモント州ウォーリングフ

ォードで、祖父母に育てられました。そしてこの時に、祖父母から健全さ、秩序、清潔などを体験、勤労倫理と寛容な心の大切さを学びました。

その後、紆余曲折を経て、アイオワ州立デモイン校法学部を卒業。約 5 年にわたる放浪生活を送った後、28 歳を目の前にして、シカゴに向かいます。

ポールはシカゴで小さな事務所を借りて、イリノイ州で弁護士事務所を開業する許可を取得しますが、弁護士として身を立てることは容易ではありませんでした。ポールは商工会議所と法



シカゴで弁護士事務所を開業した 28 歳のころ

曹協会の会員として積極的に活動し、さまざまなパートナーと組むことで、成功を収めていきます。しかしシカゴのような大都市で個人的な友人を見つけるには難しく、次第に孤独感を感じるようになります。この時に感じ

た孤独感が、ポールが 36 歳の時、ロータリーの最初の会合が開かれるきっかけになったと言われています。

おまけ

『友』1 月号
印象に残った記事ベスト 3

1 位 (37 人)

「職業奉仕」はロータリーの根幹か？

2 位 (35 人)

世界に売れる Made in Japan

3 位 (27 人)

守り、伝える

ROTARY

お知らせ

インターアクトクラブ名称変更

香川高等学校→宇部フロンティア大学
付属香川高等学校

(2710・山口県・宇部西)

2017年1月18日承認

新ローターアクトクラブ

城西大学 (2570・埼玉県・坂戸)

発会 2016年12月21日 会員数 17人
事務所 〒350-0295 坂戸市けやき台
1-1 城西大学清光会館内

会長 水品 巧 幹事 小山 貴大

2017 - 18 年度版 ロータリー手帳 受付中

今年もロータリー年度に合わせ製作、2017年6月～2018年12月の予定が記入できます。各地区のガバナー名、ガバナー事務所の住所・電話・Fax 番号・E メールアドレス、地区大会予定やロータリー関連事項も掲載、付録「ロータリー関連資料」も最新版です。印刷用紙は森林認証紙、インクも環境に配慮したものを使っています。手帳の色はロータリーカラーのロイヤルブルー、サイズは男性上着の内ポケットに入る大きさで、女性のハンドバッグの中でも邪魔になりません。

詳細は、ロータリークラブ宛2月1日付ご案内状をご覧ください。

定価 600 円 + 消費税 (送料別)

ご注文はお早めに、クラブ事務局を通し『友』事務所まで。在庫ある限りの受け付けとなります。

◆訂正 本誌2月号縦組みP10中段前から11行目を(一八八六)年、後ろから6行目を(一八九六)年へ、おわびとともに訂正します。

地区別クラブ数・会員数一覧表

(2017年1月末現在)

地区	R C 数	会員数	16 年1 月末 会員数
第 2500 地区	67	2,322	2,295
第 2510 地区	69	2,606	2,616
第 2520 地区	79	2,320	2,318
第 2530 地区	66	2,420	2,403
第 2540 地区	42	1,134	1,124
第 2550 地区	51	1,743	1,738
第 2560 地区	56	2,132	2,114
第 2570 地区	51	1,652	1,661
第 2770 地区	73	2,611	2,598
第 2790 地区	83	2,825	2,799
第 2800 地区	50	1,638	1,663
第 2820 地区	56	1,994	2,000
第 2830 地区	40	1,178	1,166
第 2840 地区	46	2,104	2,079
第 2580 地区	70	3,081	3,045
第 2590 地区	57	2,069	2,124
第 2600 地区	55	2,003	2,008
第 2610 地区	65	2,671	2,652
第 2620 地区	79	3,058	2,990
第 2630 地区	77	3,139	3,138
第 2750 地区	100	4,860	4,816
第 2760 地区	84	4,849	4,827
第 2780 地区	66	2,376	2,353
第 2640 地区	69	1,926	1,962
第 2650 地区	97	4,677	4,673
第 2660 地区	81	3,618	3,634
第 2670 地区	74	3,032	2,997
第 2680 地区	74	2,842	2,861
第 2690 地区	66	3,097	3,123
第 2700 地区	61	3,221	3,201
第 2710 地区	73	3,370	3,342
第 2720 地区	74	2,406	2,405
第 2730 地区	65	2,396	2,381
第 2740 地区	57	2,256	2,229
34 地区合計	2,273	89,626	89,335

日本のロータリー

会員概数 89,335 人

クラブ数 2,264

(左の表中 34 地区合計から、第 2750 地区の P B グループを引いた数です)

ガバナー月信より 2750 クラブ数・会員数は、P B グループ 9 R C 291 人 (北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ) を含みます。P6「日本のロータリー」数は 34 地区合計から P B グループを引いた数。16 年 1 月末 P B グループ 9 R C 会員数 290 人。

修正 地区会員数修正: 本誌 1 月号横組み P 41 (10 月末) 表中、2670・3,036 人、34 地区合計会員数: 89,787 人、表外と P6「日本のロータリー」最終行会員数: 89,490 人。本誌 2 月号横組み P 43 (11 月末) 表中、2670・3,038 人、34 地区合計会員数: 89,966 人、表外と P6「日本のロータリー」最終行会員数: 89,669 人。本誌 3 月号横組み P 46 (12 月末) 表中、2750・4,861 人、2650・4,648 人、2670・3,011 人、34 地区合計会員数: 89,312 人、表外と P6「日本のロータリー」最終行会員数: 89,015 人。

*『友』ホームページの「ロータリー資料館」にデータ修正後の表を掲載。

*第 2520 地区の数値は震災につき概数。

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友

5 月号主要記事予定

横組み 私たちの地区の R Y L A をご紹介

縦組み 上杉鷹山の訓 (おし) え

九里学園高等学校教諭 遠藤 英

クラブを訪ねて 高知 R C

Rotary

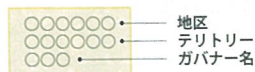


ご投稿・お問い合わせは

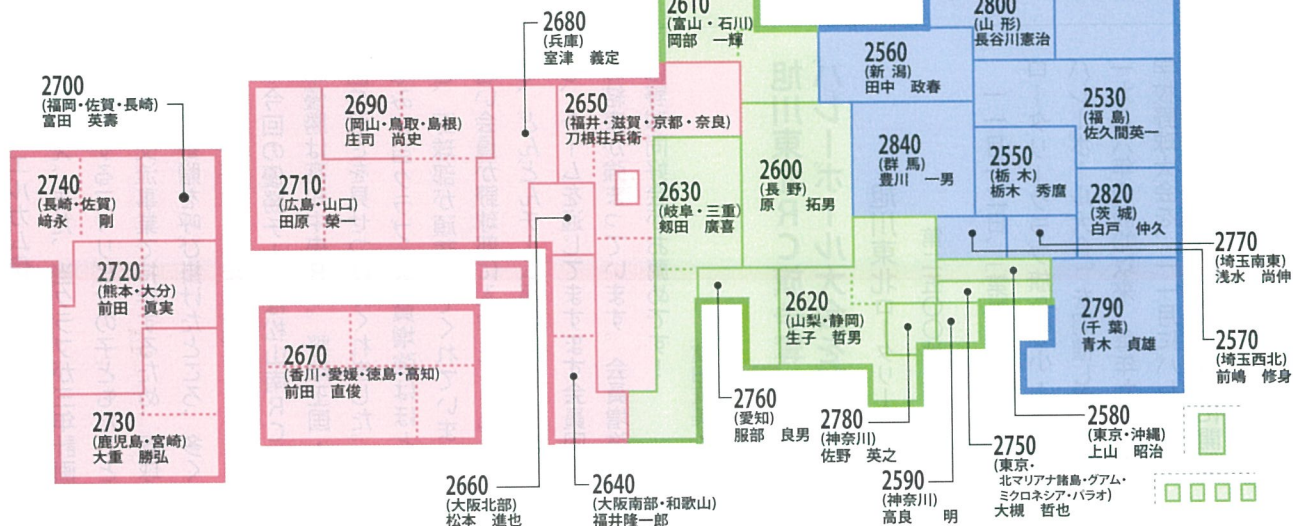
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

一般社団法人ロータリーの友事務所 Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp ロータリーの友 H P www.rotary-no-tomo.jp



第1ゾーン
第2ゾーン
第3ゾーン



ロータリーの友ホームページ www.rotary-no-tomo.jp に各地区のホームページをリンクしています。

月刊 ロータリーの友

第65巻 4月号

2017年3月31日印刷 2017年4月1日発行

一般社団法人

ロータリーの友事務所

社員 斎藤 直美 (豊田)
石黒 慶一 (鶴岡西)
上山 昭治 (東京武蔵野中央)
大槻 哲也 (東京中央)
佐野 英之 (秦野)
松本 進也 (大阪北)

理事会

代表理事 清水 良夫 (横浜)
理事 片山 主水 (名古屋東南)
神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)
上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
片岡 信彦 (土浦南)
橋本 長平 (京都東)
井原 貴 (さいたま新都心)
田中 賢三 (茅ヶ崎)
東 良輝 (宇部西)
吉田 雅俊 (東京新都心)
猿渡 昌盛 (東京武蔵府中)
横山 武志 (東京北)
中里 公造 (川口モーニング)
堀口 昇治 (東京西)
野中 茂 (川崎)
津村 政男 (東京臨海東)
渡辺 誠二 (東京みなと)
二神 典子 (東京築地)
船越 豊 (千葉中央)
小川 湧三 (川崎鶴沼)
板橋 敏雄 (足利東)
中村 昌平 (東京北)

監事

相談役

職員

所長 渡辺 誠二 (東京みなと)
編集長 二神 典子 (東京築地)
副編集長 野崎 恭子
編集 稲川 やよい
黒野 穂二
山名 愛
飯田亜由香
経理 富澤 美子
半田 弥生
福元菜穂子

振込銀行 三井住友銀行浜松町支店
口座番号 (普通) 7450015
郵便振替 口座番号 00180-8-694591
印刷 大日本印刷 (株)
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)

一般社団法人ロータリーの友事務所
〒105-0011
東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
電話 03-3436-6651
FAX 03-3436-5956
ホームページ www.rotary-no-tomo.jp
定価 200 円 + 消費税 (送料別)



胴上げもあり、盛り上がった野球大会

「ロータリー選抜野球大会」を、当クラブのホストにより一月一〜三日に三重県熊野市で開催。出場全一五チーム、約二〇〇人が集まりました。いずれも野球愛にあふれたロータリアン。当地区の剣田廣喜ガバナーが出場者を見て一言「これ、本当にロータリーの集まりなの？ 皆さん若いし、お腹出てないですね」

この大会は二〇〇四年一月にロータリー一〇〇周年記念事業として、当時のグレン・エステス国際ロータリー(RI)会長と千玄室RI理事から「ロータリー一〇〇周年記念カップ」をいただいで始まりました。また、田中作次氏が二〇一一〜一三年度RI会長だった折、優勝旗を寄贈していただき、名前も「グレン&千杯 田中作次旗」となりました。

今大会では海の幸豊かな当地らしく、「ウエルカム伊勢エビ」の料理でお出迎え。また、当クラブが三年計画で実施するフィリピンの子どもたちとの野球交流事業で持参するため、野球道具の寄贈を呼び掛けたところ、多くの善意が寄せられました。

今回の優勝チームは松山南RCで、準優勝は高知中央RC。野球王国・四国の強さを見せつけてくれました。ちなみに当クラブの会員増強はほとんど、野球部が頑張ってくれています。若い会員が野球部に入会してくれるので、どんどんチームが若返っていますし、チームを通じてますます会員同士の結束が強まっています。会員増強には野球同好会がお薦めです！

(濱田直美・記)

旭川東北RC旗争奪 バレーボール大会を開催

旭川東北ロータリークラブ

第二五〇〇地区・北海道

一月一二日、「第三一回旭川東北ロータリークラブ旗争奪小・中学校バレーボール大会」を開催しました。一九八六年の開始以来、毎年九月に中学校野球大会を、一月にバレーボール大会を、地域の中学校を対象に開催してきました。



真剣な表情で試合に臨む選手たち

特にバレーボール大会は二〇〇四年から小学生の四チームが参加し、大会では小・中学校に分かれて総当たりのリーグ戦で順位を確定。その後一位同士と二位同士の小中学校の交流試合を行っており、公式戦ではなかなか実現できないユニークな試合ができる大会となっています。過去には小学生チームが中学生チームを破ったこともありました。

今大会は、第一回大会の立ち上げに尽力した当時の顧問の先生も観戦に來られ、三一年間継続していることに感謝の言葉をいただきました。小学生から大会に参加し、中学生になっても参加する生徒がたくさんいますので、地域のレベルアップに寄与しているものと自負しております。また、継続してきたことで、親子で大会に参加する経

験を持つ人たちもいるようです。毎年、選手たちの真剣に取り組む姿を見ることは、会員の大きな喜びとなっております。

これからも地域に密着して青少年の育成に力を注ぐというクラブの伝統を守りつつ、選手たちの一層の活躍を願い、三代目にわたるまで継続できるように、全力で取り組んでいきます。

Annotation

ロータリーアクトクラブ
(Rotaract Club)

ロータリークラブが提唱する、一八〜三〇歳の大学生および若い成人のためのクラブです。リーダーシップや職業スキルを磨き、ロータリアンなど地元のリダーと交わり、ボランティア活動を行います。ロータリークラブにも入会でき、二重会員身分となることができます。

インターアクトクラブ
(Interact Club)

ロータリークラブが提唱する、学校や地域社会での課題に取り組むために結束する一二〜一八歳の青少年のためのクラブです。奉仕活動を行い、リーダーシップのスキルを身につけ、新しい友人をつくることを目的としています。

地区補助金 (District Grants)

ロータリー財団の使命を支える、比較的短期で小規模のプロジェクトに使用できる補助金です。

「川崎ジュニア」として親しまれる大会を主催し、毎年二〇〇人を超える小中高生が参加する。また、優れたプレイヤーへの海外試合の出場などを支援し、日本のテニス界に貢献している。

五輪選手・上田藍さんの 出前授業を開催

船橋ロータリークラブ
第二七九〇地区・千葉県

船橋市は「市民の皆様の幸せと子供達の豊かな未来」につながる施策を基本としており、クラブではそのことを踏まえ、毎年度、次世代育成を目的としたさまざまな社会奉仕活動に取り組んでいます。

二〇一六年はオリンピックイヤーということもあり、市と市教育委員会の後援（公社）日本トライアスロン連合の協力を得て、オリンピックに三回連続出場した女子トライアスロンの第一人者・上田藍選手を迎え、十一月七日、市立宮本中学校で出前授業を、地区補助金を活用して開催しました。

体育館には全校生徒約八六〇人のほか、保護者も参加しました。上田選手は「向上心に限界はない！」という言葉やバネに、小柄な体のハンデイをはねのけ、二〇一六年の世界トライアスロンシリーズでは年間ランキング三位



レース中に競技用シューズを履く場面を披露

に輝くなど、素晴らしい成績を残しています。

今回の授業では中学、高校時代に水泳、陸上に打ち込んだものの好成績が得られなかった話や、その後トライアスロンに転向したいきさつなど、「諦めない限り成長すること」を熱く語ってくれました。レースで使用する競技用バイクに乗るところを実際に見せてくれるなどの一幕もあり、生徒にとっては上田選手を身近に感じられたと思います。

なお、当日は全国紙二社をはじめテレビ局など計八社の取材を受け、記事やテレビで授業の様子が報道されました。クラブでは今後も、次世代育成に積極的に取り組んでいきたいと思っています。

（吉田郁也・記）

夢をかなえる一歩へ 少年サッカー大会開催

神戸南ロータリークラブ
第二六八〇地区・兵庫県

一月一九日、リーグ・ヴィッセル神戸のホームスタジアムであるノエビアスタジアム神戸で、「神戸南ロータリークラブ少年サッカー大会」を開催。神戸市内の小学一〜二年生の九チーム一人一人が参加し、白熱したプレーを見せました。

この青少年奉仕事業の趣旨は、憧れのプロサッカー選手が実際にプレーする夢のピッチで試合を経験することにより、子どもたちが「Dreams Come True（夢の実現）」を体験できることです。六人制で三グループに分かれ、各チーム二試合行い、各グループでの同順位同士が戦う順位決定戦へと進みます。熱戦の最後に優勝と準優勝、三位のチームにカップなどを授与しました。

また、今回はイギリスのプレミアリーグ、レスター・シティFC所属、日本代表選手でもある岡崎慎司選手（兵庫県の滝川第二高校出身）から、出場した子どもたちに向けた温かい応援メッセージをいただき、会場内の大型スクリーンで放映。賞品として岡崎



カップを受け取り、笑顔を見せる選手

選手のサイン入りのサッカーボールなどを贈ることもできました。

こうした青少年奉仕事業を通じて、地域社会の子どもたちに、夢を持つこと、夢をかなえるための努力の大切さを感じてもらい、人格形成の一助になることを願っています。今後も青少年育成を応援していきたいと思っています。

（多田克史・記）

グレン&千杯 田中作次旗 ロータリー選抜野球大会

熊野ロータリークラブ
第二三三〇地区・三重県

全国のロータリークラブ（RC）には野球部が五〇〇チームほどあります。そこから選抜されたチームで戦う「グレン&千杯 田中作次旗 第一三

環境問題への対応を念頭に、ごみ環境に取り組む工場の見学も内容に盛り込みました。

当日は曇り空の寒い日でしたが、雨にも降られず、およそ五〇人の市民が参加。皆さん和気あいあいと、仲良く語らいながら歩きました。

コースは遊歩道などが整備されている安全な道路を選択。それでも交通量の多い道や交差点などがあり、安全には最も気を使いました。

実施に当たっては、地元警察署に道路使用許可を申請し、東村山市の後援を受け、同市野外活動連盟や東村山地区交通少年団の協賛を得ました。事前にリハーサルを数回行うなど、苦勞もありましたが、市民に喜んでいただき、また、ロータリーを身近に感じてもらうことができ、疲れもふっ飛びました。今後、健康寿命引き上げのため、継続事業として取り組むことにしています。

少女たちの夢の一助に テントを寄贈

埼玉ゆずロータリークラブ

第二七七〇地区・埼玉県

当クラブは女性による女性だけのクラブとして二〇一三年五月に創立以来、女性ならではの視点を大切に

活動を展開しています。今年度は地区補助金を活用して、少女と若い女性の社会教育団体である（一社）ガールスカウト埼玉県連盟に五人用テントを寄贈しました。

一月二三日、上尾市の上尾丸山公園で開催されたイベント「キッズラリー」みて、きいて、みんなとつながろう！で、寄贈したテントのお披露目となり、会員は全員、イベントに参加してきました。

紅葉の美しい広大な公園内にポイントを設け、ガールスカウトたちはもちろん、幼児から低学年の少女少女四五〇人余に保護者三〇〇人、運営側のスタッフが二〇人、総勢八七〇人余が、「迷路を通ろう」「吹き矢で風船割り」「やきいも食べよう」「ネットくぐりにチャレンジ」「糸電話で話そう」



寄贈したテントは早速、イベントで活躍

の各アクティビティーにチャレンジしました。

寄贈したテント内で遊ぶ子どもたちはたぶん、テントに入る経験が初めてなのでしょう。寝転がったり、寝袋に入ってはしゃいだり、「交代ですよ」という声もそっこのけで楽しんでいました。ささやかな贈り物でしたが、無限の可能性を持つ子どもたちが、自由な発想と、大きな夢を育んでくれることを願いました。

神奈川県ロータリアン 親睦テニス会を開催

第二五九〇地区

第二七八〇地区

神奈川県

一月八日、茅ヶ崎市で「第五〇回神奈川県ロータリアン親睦テニス会（上野杯）」が開催され、神奈川県下のロータリアンとその家族、ロータークターなど六〇人が参加した。

このテニスは、一九七五―七六年度の第三五九地区（神奈川県）のガバナーを務めた、故・上野豊氏（横浜ロータリークラブ、以下RC）がカップを寄贈したことから、上野杯として親しまれ、地区が現在の第二五九〇地区と第二七八〇地区に分割した後、両地区ロータリアンの交流の場となっている。



会員同士の友好を深めたテニス会

神奈川県は日本のテニス発祥の地とされ、横浜の山手公園にある横浜インターナショナルテニスクラブには「日本庭球発祥之地」という記念碑があり、隣接する横浜山手テニス発祥記念館には日本のテニスの歴史に関わる資料が展示されている。

今回は第五〇回の節目を迎えたことから、大会後の懇親会で、参加したロータリアンから拠金された二〇万円をジュニアプレーヤー育成支援金として、神奈川県テニス協会に寄贈。大会会長の熊沢信行氏（茅ヶ崎中央RC）から、同協会の岩淵元名誉会長に手渡した。

なお、同協会は一九五二年の創立以来、ジュニアプレーヤーの育成に力を注いでいる。他の都道府県に先駆けて



ウイスキーの蒸溜所でテイスティング

を鑑賞しました。実業家でもあった服部時計店（現・セイコーホールディングス）の服部正次・一郎氏、北澤氏のコレクションを鑑賞し、彼らの文化に対する情熱の深さに感服しました。

二日目は甲斐駒ヶ岳の麓にあり自然に恵まれた、サントリー・白州蒸溜所とサントリー天然水南アルプス白州工場を見学。蒸溜所内の樽貯蔵庫に入ると、熟成されたウイスキーの芳醇な香りが漂ってきました。南アルプスのミネラルを含み、何年もかけて生み出す琥珀色のウイスキーの香り、深い味わいはえも言われぬ至福のひとつときを与えてくれました。

これらの工場では水を守るため、数十～一〇〇年後の未来を見すえ、森林などを保護育成しているそうです。そうした取り組みを聞くことで、ウイ

スキーの本質は水であることを知り、本物の味わいを見つめる時間ともなりました。

この二日間を通して、会員、家族の親睦がより深まり、文化も自然も時間をかけて育てる大切さをあらためて知った、意義のある企画でした。

（山口雅弘・記）

和つと大須！ 笑顔いっぱいの大茶会

名古屋大須ロータリークラブ

第二七六〇地区・愛知県

一月二三日、日本一元気な商店街と言われる大須商店街のシンボル・大須観音（北野山真福寺寶生院）の境内で、ロータリー財団の地区補助金を活用した社会奉仕活動として「和つと大須！大須大茶会」を実施しました。

ロータリー財団一〇〇周年を祝い、この機会に少しでもロータリーについて知ってもらおうと、和の文化の集積である茶道を通じた地域振興、青少年育成を目指しました。特に青少年育成として、少年院で更生を目指す生徒に参加してもらいました。

服部良男ガバナーをはじめ地区役員、同じ地区の西尾KIRARAロータリークラブの会員のほか、名古屋市会議員、大須商店街連盟会長、愛



笑顔いっぱいの大茶会

少年院院長を迎え、大須観音本堂にて、照井菜会長長の点鐘でスタート。茶道愛好家とともに、茶道松尾流第二二代家元・松尾宗典氏による重厚な供茶式を拝見し、伝統の継承、文化の熟成に思いをはせました。

その後、本堂一階と境内での特設茶席では、市民の皆さんに抹茶を振る舞い、設置した「茶道松尾流御席」、お抹茶を体験できる「和つと大須！茶席」は共に大盛況となりました。ロータリーの公共イメージと認知度の向上に貢献できたと自負しております。

この茶席で使った抹茶茶わんや懐紙は愛知少年院の生徒たちが半年をかけて準備してくれたものです。会場の運営には、会員家族や米山奨学生、青少年交換学生、インターアクター、地域住民を含め一〇〇人を超えるスタッ

フが、ロータリアン五八人と一緒に、笑顔をつくる活動を展開。来訪者は三〇〇人を超え、笑顔いっぱいになりました。

（渡辺観永・記）

高齢者を対象に ウォーキング大会を開催

東京東村山ロータリークラブ

第二五八〇地区・東京都

クラブでは一月二三日、創立五〇周年記念事業として「東村山『歩こう会』ハッピーライフ支援プロジェクト」を実施しました。

超高齢化社会の到来を踏まえ、六〇歳以上を対象に、将来的な健康寿命の引き上げと医療費の削減への取り組みとしてウォーキングを企画。さらには



ウォーキング参加者にコースの説明



工事中のジャナディーブ高等学校を視察

でに建設した学校への視察に目的を変更しました。クラブが提唱する初芝橋本高校インターアクトクラブの海外研修を兼ね、インターアクター二人と引率教員一人も同行しました。

支援活動拠点となるタンセンで、学校建設の進捗状況を確認。三度目の訪問となるパシユパティ小学校と、前年度支援したブラバット高等学校の訪問では文房具を配布し、会員の個人寄付を届けたほか、インターアクターと現地の高校生との意見交換会を行いました。現地の日本人協力者の配慮でインターアクターのホームステイも実現し、彼らはより身近にネパールを感じられたことと思います。

さらに、子どもたちがまきを取りに行く作業を軽減させようと、以前支援した小学校のある村に、五二基のバイ

オガストイレの設置を決めました。家畜と人のふんを混ぜると、一日二時間ほどの炊事の燃料となるメタンガスが得られ、上澄み液は肥料になります。環境保全にも役立つ事業として年度内の設置を目指しています。また、この村では「橋本ロータリービレッジ」という碑を建てたいとの申し出がありました。

建物や物品を贈るだけでなく、継続的に訪問することで、現地の事情を知り、村民との信頼や親近感が増し、よりニーズに応えることのできる支援活動ができるのではないかと、クラブでは考えています。

(喜多啓允・記)

フィリピンにおける 歯科医療奉仕

市原中央ロータリークラブ

第二七九〇地区・千葉県

一九八四年から始まった「日本の歯科医によるフィリピンでの歯科医療奉仕」に、歯科医の高橋啓子会員が参加しており、その活動がロータリーの六つの重点分野の一つ、「疾病予防と治療」に合致するとの考えから、クラブでは創立三〇周年の記念事業として、今回初めて参加することにしました。

一月二二〜二七日、高橋会員と、

ボランティアとして三好和彦会長、藤田賢吾幹事、会長エレクトである私が参加。二四日からケソン市で奉仕を行いました。当クラブのほか、現地のダウンタウンマニラ・ロータリークラブ(RC)、サンパロックRCとサンパロック・ロータリーアクトクラブ、日本から旭川北RC、波崎RC、鹿島臨海RC、東京中央RCの会員も参加しており、一日で三十一人の治療を行いました。治療後、痛み止めや抗生物質のほか歯ブラシなどを配り、虫歯予防を啓発しました。

二五日、先住民族の暮らすオロンガポを訪れ、歯ブラシなどを配り、ブラッシング法などを指導しました。参加した村民は一五〇人、子どもは八八人でした。二六日は奉仕最終日で、オロンガポで七三人を治療しました。



オロンガポで歯科医師の医療奉仕

参加してみて、三〇年間も奉仕を続けてきたことへの大変さを実感すると同時に、現地と日本との信頼関係の厚さに敬意を抱きました。日本の高い医療技術がフィリピンの歯科医の技術向上に役立っていることも知りました。私たちはこの奉仕活動をより多くの人に知ってもらえるよう行動していかねばなりません。特にロータリーの事業として継続できるように、協力していきたいと考えています。

(時田清次・記)

文化と自然の恵みに 感謝する職域訪問

大阪淀川ロータリークラブ

第二六六〇地区・大阪府

当クラブでは一〇月二九〜三〇日、会員と家族が参加し、長野県上諏訪の美術館巡りと、山梨県のサントリー白州蒸溜所の職域訪問を実施しました。

初日は諏訪湖畔にある二か所の美術館を訪れました。サンリツ服部美術館では東洋陶器や茶道具、西洋絵画を中心に見学。隣の北澤美術館ではフランスのガラス工芸家、エミール・ガレ、ドーム兄弟によるガラス工芸の名品と、(株)キッツ創業者・北澤利男氏がコレクションを始めるきっかけとなった、近代日本画の巨匠たちの作品

体験を通じて、食べ物への理解や関心を高め、作っている人の思いを感じてもらえればと思います。奉仕する意味は「笑顔でない人を笑顔にする」こと。この事業は、これからさらに光り輝く子どもたちへの支援につながるものです。地元紙にも掲載され、ロータリーの地域社会への貢献をPRする結果にもなりました。

米山奨学生・学友と 高校生との交流会

東京世田谷南ロータリークラブ
第二七五〇地区・東京都

一月二六日、第二回となる米山奨学生・学友三一人と、東京都大学等々力高校二年生一七六人との国際交流を実施。ロータリーの社会奉仕に対する



米山奨学生らを高校生が囲んで交流

考えると、同校の教育理念にもあるノブリス・オブリージュ（気高く生きる者たちの責任と務め）が融和した、最高の事業となりました。

講師となる米山奨学生・学友一人を六人七人の高校生が囲み、講師からの自己紹介、日本にきた経緯や目的、何を専攻しているかを伝え、その後、生徒からの質疑応答で三〇分、三コマのローテーションで進行了ました。

終了後は、高校生も米山奨学生・学友も互いに満足したような表情で、会場も熱気でいっぱいでした。日本のロータリーが誇る米山奨学生・学友が、日本国内で世界との懸け橋となる役を担い、恩返しする場でもあったと思います。

校長先生からは「未来永劫に継続してもらいたい事業です」と、あらためて感謝の言葉をいただきました。
（土居通明・記）

タイの子どもたちの 生活環境を改善

いわき平中央ロータリークラブ
第二五三〇地区・福島県

一月一〇～一五日、当クラブを代表し、会長を含む三人の会員で、タイ・チェンライ県を訪問してきました。目的は、当クラブが今年度、同じ地



タイを訪問し、アカ族の子どもたちを支援

区の滝根ロータリークラブ（RC）とともに「第二五三〇地区WCS（世界社会奉仕）基金補助金」を活用して進めた、「アカ族子ども寮改修整備事業」の完成を確認するためです。

訪問時は、前月に逝去したフミポン国王の喪に当たり、チェンライの街も悲しみに包まれていましたが、東日本大震災以降、当クラブが続けてきた少数民族への支援は結果しました。

アカ族は主にタイの山岳地帯に暮らしており、固有の民族の文字を持ちません。タイ社会で生活するためには学校でタイ語を学ぶ必要がありますが、山岳ゆえに政府の支援も乏しく、小中学校の整備もままなりません。そのため、アカ族の子どもも多くは親元を離れて暮らしながら学校へ通いますが、その費用の大半はアカ族出身の篤志家

やボランティアの寄付に頼っており、支援の格差も大きく、十分な学習環境が保障されていないところも多いのが実状です。

今回支援した、四七人の子どもが暮らすバーン・センスック寮もそうした施設の一つで、図書室、談話室、女子が生活する一室の環境を整備することができました。新装された部屋を確認し、地域の大人や子どもたちの喜ぶ姿を目の当たりにし、「役に立ててうれしい」という気持ち湧くと同時に、現状の男子部屋、厨房との落差を肌で感じ、「まだまだ終わっちゃいない」と実感。これからもタイの少数民族への支援を続けたいと思いました。

（田久昌次郎・記）

ネパールの学校建設支援と インターアクター海外研修

橋本ロータリークラブ
第二六四〇地区・和歌山県

一月六～一七日、会員三人でネパールを訪問しました。目的はクラブ創立六〇周年記念事業の一つ、クラブとしてネパールで五校目の学校建設支援となるジャナディーブ高等学校の完工引き渡し式に出席すること。しかし、長雨で資材の搬入が遅れて完成に至らず、進捗状況の確認と、昨年度ま

ROTARY 文章編 AT WORK

ロータリークラブと地区の活動を紹介、600字以内。字数を超える場合など、編集させていただきます。関連写真があれば添付してください。

わたしの夢・ぼくの夢 発表会

鹿児島南ロータリークラブ

第二七三〇地区・鹿児島県

クラブでは一月二三日、鹿児島市で第二回鹿児島市と世界の小学生スピーチ・図画コンテスト「わたしの夢・ぼくの夢発表会」を開催しました。将来を担う地元と世界の子どもたちが自分の夢や目標を考える時間を持ち発表することで、実現に向けた強い気持ちを持つてくれることを狙い、同時に彼らの夢を聞くことで、大人も新しい視点を得ることを期待してのものです。

市内の小学生によるスピーチは、応募一〇〇人中から一〇人を選出。「体操の選手になり、オリンピックに出たい」「世界中の人を音楽でつなぐよ

うなピアニストになりたい」「消防士になり、自分の命をかけて人を助けたい」など、小さな体で大きな夢を披露しました。発表者のうち、市来喜菜子さんが鹿児島市長賞を受賞。市来さんは「キュリー夫人のように自分も病気を治す方法を研究したい。エボラ出血熱もワクチンをつくれれば多くの人を救える」と語ってくれました。

また、フィンランド、ドイツ、ウクライナ、台湾、オーストラリアの五か国の小学生一四人のスピーチがビデオで紹介されました。そのうち、ウクライナの一〇歳の女の子は「自分は画家になり、パリで個展を開きたい」と夢を語り、「地球はとても美しい。だからすべての戦争をやめてほしい」と平和への願いを訴えました。子どもたち



将来の夢や目標を発表する子どもたち

が自分の夢を語るだけでなく、他人への思いやり、世界平和、環境問題まで考えていることに驚きました。

さらに会場には市内と海外から寄せられた子どもたちの絵画二七四点を展示。国際理解や青少年の健全育成を考慮した有意義なプロジェクトだったと思います。

(内田修友・記)

児童養護施設の 子どもたちとイモ掘り

岡崎東ロータリークラブ

第二七六〇地区・愛知県

一月二三日、NPO法人おかげぎ農遊会の農場で、児童養護施設・岡崎平和学園の子どもたち三〇人と職員、同農遊会のメンバー、当クラブ会員の家族や岡崎ロータリーアクトクラブの会員など計七〇人が参加し、「イモ掘り収穫体験」を行いました。

子どもたちに土の付いたイモを触ってもらい畑での成長を知ってもらおう、地域の人に楽しんでもらいながらロータリーを知ってもらおう、そんな思いを込め、ロータリー財団一〇〇周年の記念事業、またロータリーデーとして実施しました。イモ掘りは三年連続三度目で、当初は単年度事業として

始めましたが、子どもたちに好評で続いています。

当日は暖かな晴天の下、約五〇〇〇平方メートルの畑に育ったサツマイモを全員で協力して収穫しました。重さを計量する大物賞ゲームを行ったところ、二キロ近いイモを掘り出した子もいて、「大きいのが取れたよー」「誰のが一番大きいのか？」と歓声を上げながら、笑顔で喜んでいました。

同学園の上川清玄施設長は「子どもたちは週末に外出する機会が少なく、収穫体験を大変喜んでいました」と述べていました。また、クラブからは記念品(文具)を贈り、イモも持ち帰ってもらいました。

後日、同学園の子どもたちからは感謝の寄せ書きをもらいました。今回の



施設の子どもたちと一緒にイモ掘り

岐阜中山道ロー

ROTARY AT WORK



施設のシンボルツリーを寄贈

〈太田RC〉

クラブ創立60周年記念事業の一環で、太田市美術館・図書館のオープンに合わせ、施設のシンボルツリーとなるヤマボウシの木を寄贈した。東武伊勢崎線太田駅北口の活性化と市民のコミュニケーションの場として建設され、美術館と図書館が連結した斬新な構造の複合施設で、今後、この施設とともにヤマボウシが太田市民の誇りとなることを、クラブでは願っている。
(1月10日 第2840地区 群馬県)

ROTARY AT WORK



全会員がスリランカ訪問、手渡しの交流

〈岐阜中山道RC〉

クラブ創立20周年を記念し、スリランカへの支援を実施。全会員が大統領官邸を訪れ、マイトリパーラ・シリセーナ大統領に高規格救急車を贈呈したほか、空軍司令部に消防車、スリランカ警察に老眼鏡3000本、地域の小学校にテニスボール、文房具など2t分の支援物資を手渡した。同事業は地区で初めて夫婦ともに米山奨学生となった、ラール・ティラカラタネ、エランガ夫妻の協力で実現した。
(1月14、19日 第2630地区 岐阜県)

ROTARY AT WORK



健康の森フェスティバル

〈結城RC〉

クラブが13年前から整備を続ける結城市健康の森で、地区補助金を活用し、下館RACなどの協力を得て13回目の「健康の森フェスティバル2016」を開催。約700人の市民が自然観察やゲーム、竹とんぼ作りなどを楽しんだ。焼きそばや豚汁なども安価で提供し、売上金は里山整備事業のために寄付した。
(11月23日 第2820地区 茨城県)

ROTARY AT WORK



ベトナムの中学校に電子ピアノ寄贈〈神戸北RC〉

国際奉仕、社会奉仕、青少年奉仕、職業奉仕各委員会の合同の奉仕活動として、ベトナム・ホーチミンのトラン・ダイ・ギヤー中学校に電子ピアノを寄贈した。会員が中学校を訪れ、ラム・チュー・ギョー校長からお礼の言葉とともに感謝状をもらった。生徒や先生と記念撮影し、生徒が弾き初めをした。
(12月6日 第2680地区 兵庫県)

ROTARY AT WORK

ロータリークラブ奉仕活動をカラー写真で紹介。写真と150字程度の説明文。字数を超える場合は編集させていただきます。必ず活動日を入れてください。記念写真(集合写真)は掲載できません。

ROTARY AT WORK



恒例、クリスマス家族会

〈函館RC〉

年末恒例のクリスマス家族会を開催。参加した子どもたちは、宮崎県会長ふんするサンタクロースからプレゼントを手渡され大喜び。続いて北海道の冬の寒さを吹き飛ばそうと、フラダンス教室や、親睦委員会のメンバーによるハンドベル演奏、大抽選会と続き、大変盛り上がった。
(12月22日 第2510地区 北海道)

ROTARY AT WORK



リレーマラソンで交流

〈宇都宮陽北RC〉

2015年に続き、非営利の総合型地域スポーツクラブ・スポーツカレッジ「Ship」主催のリレーマラソンに協賛し、チームとして参加した。地域の青少年や養護学校生の健全育成を主眼とした大会で、今回で9回目。スポーツクラブや保育園などのチームとバトンをつなぎ、無事42・195kmを完走。ポリオ撲滅の募金活動も行い、地域住民と笑顔の交流の場となった。
(12月18日 第2550地区 栃木県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK



英語でのコミュニケーション能力向上を願う

〈京都田辺RC〉

「京田辺市立小・中学生英語スピーチコンテスト」を開催した。グローバル化する社会や訪日外国人の増加などに伴い、英語でのコミュニケーション能力の向上は不可欠。17人の児童・生徒が「自らのこと」「自分の夢」「ふるさと京田辺」をテーマに英語で語った。会場を訪れた教育関係者や市民は発表のレベルの高さに感心していた。
(11月5日 第2650地区 京都府)



ROTARY AT WORK

ソフトテニス大会を支援

〈御坊RC〉

日高ソフトテニス協会主催の「第18回日高地方スポンサーズレクリエーション大会」に協賛。一般、小学生、高校生、60チームが参加した。御坊・日高地方は小学生のソフトテニス盛んで、青少年奉仕に力を入れているクラブは初回から支援しており、大会の出場者からは全国制覇を果たした選手、現役で活躍する選手を輩出している。
(12月25日 第2640地区 和歌山県)

ROTARY AT WORK



青少年インラインスケート大会

〈長崎北RC〉

長崎市障害福祉センターの協力で「第2回青少年インラインスケート大会」を開催。発達障がいなどがある18歳以下の障がい者(児)を中心に、昨年来上回る59人、家族や会員などを含め130人が参加し盛り上がった。インラインスケートは青少年の運動能力の向上や、精神面でも効果を発揮すると言われていて、初めて滑る子もメキメキ上達。速く滑れた子にメダルを贈ると、歓声が上がった。

（1月22日 第2740地区 長崎県）

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

50周年記念で安桜山を整備

〈関RC〉

クラブ創立50周年を記念し、関市のシンボル・安桜山の西側遊歩道を整備。88mの手すりを新設し、元あった手すりはさびを落として塗装。来訪者が休めるようベンチも設置し、完成式を行った。2018年度から市の健康増進事業として行われる東側の整備と併せ、市民の健康を増進し、憩いの場になることをクラブでは願っている。

（11月27日 第2630地区 岐阜県）



大好評の肌年齢測定

〈京都西山RC〉

障害福祉センターあらぐさ（長岡京市）への支援として、同施設が行う「あらぐさ祭り」に参加し、骨密度測定、肌年齢測定、健康相談などを行った。特に肌年齢測定は大好評で、測定に来た入所者家族や施設職員、近隣住民と楽しく交流。同時にポリオ撲滅キャンペーンも行い、多くの寄付が集まった。

（10月23日 第2650地区 京都府）

ROTARY AT WORK



草の根国際交流

〈東金RC〉

東金市には留学生の多い城西国際大学があり、クラブでは毎年、東金国際交流協会と協同で国際交流パーティーを開催。今回も世界各国からの留学生100人以上と、ロータリアン、地域住民などが公民館に集まった。ギター独奏、フラダンスなどバラエティー豊かな出し物やテーブル対抗のクイズで盛り上がり、最後は輪になってダンス。みんなの笑顔が輝いた。

（11月23日 第2790地区 千葉県）

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK



発達障がい児支援教育プロジェクト 〈鹿児島RC〉
鹿児島大学教育学部と共催で特別支援教育講演会「発達に障害のある子どもの支援における効果的なICT活用方法」を開催し、同学部の肥後祥治教授と鹿児島市立桜丘東小学校的の大江浩光教諭が講演。大江教諭は実際の現場でのICT（タブレット、教育アプリ）の有効活用方法や過去のアナログ教材との使い分けの大切さについて説明した。前年を超える119人が聴講、感想も好評だった。
(11月6日 第2730地区 鹿児島県)



小学生用サッカーゴールを寄贈 〈上尾RC〉
上尾上平サッカースポーツ少年団に、子どもだけで持ち運びができ、簡単に組み立てられ、しかも本格的な小学生用サッカーゴールと、一人でもキックの練習ができるリバウンダーを寄贈した。上尾市内にサッカーができるような芝生のグラウンドがなかったことから地区補助金を活用し贈ったもので、これで空き地や放課後の校庭などでもサッカーができる、と喜ばれた。
(11月20日 第2770地区 埼玉県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

寒風、氷雨の中、走路警備でマラソンに協力 〈高槻西RC〉
第25回高槻シティハーフマラソンが行われ、全国から6852人のランナーが出場し、市街地や淀川、芥川の堤防を回るハーフ、10kmなどの各コースを快走した。招待選手の世界陸上パリ大会日本代表の坂本直子さん、アトランタとシドニーオリンピックで3位・2位のエリック・ワイナイナさんも参加者と交流しつつ完走。会員は例年通りコースの走路警備を担当し、大会の成功に協力した。
(1月22日 第2660地区 大阪府)



ROTARY AT WORK

RACが親睦交流 〈宮崎・宮崎中央・宮崎西フェニックスオーシャンRAC〉
宮崎・宮崎中央・宮崎西フェニックスオーシャンRACが、親睦交流を図るため、合同例会として「ミニ運動会」を開催。応援参加の大口RACと都城RACの会員を含む22人がミニ・バレーボールに汗を流した。各クラブ混成チームの対抗戦だったが、すぐに仲良くなり、懇親会も盛り上がった。
(11月27日 第2730地区 宮崎県)





ロータリー アットワーク

ROTARY 写真編 AT WORK

障がいのある人もない人も
共に楽しもう!

八潮ロータリークラブ
第2770地区 埼玉県

「障がいのある人もない人も共に楽しもう!」。そんな合言葉で始まった「ふれあいダンス&コンサート」。11月20日、心地よい秋晴れのもと、500人を超える人々が集まり、盛大に開催しました。

当クラブでは障がいのある子どもを持つ保護者の団体「八潮市手をつなぐ親の会」の皆さんと、毎年恒例でボウリング大会などを行っていましたが、「もつと一般の人たちも巻き込んで何かできたらいいね!」という会員の一言がきっかけとなり、この大きな活動へと発展、開催の運びとなりました。

第1部は、高齢者や障がい者の支援団体「地域で共に生きるナノ」から「チーム・ナノ」のダンスステージ。障がいのある子どもたちが主役を演じ、開演と同時に元気なダンス! とても愛らしく、ほんのちよこつと色っぽく、ステージが狭く感じるほど走り、踊ってくれました。第2部は「陽気に生きようこの人生をさ」などのヒット曲で知られるシンガー・ソングライター宮沢勝之さんのコンサート。歌と手話のコラボレーションで披露されました。観客の皆さんも一緒に歌い、会場が一体となって和やかムード。

開演してみればアツという間の2時間。内容の濃いダンスとコンサートが成功したことで、多くの人から感謝の声をいただきました。「来年もやってね。それまで元気である励みになるから」と言ってくれた介護施設のおばあちゃん。とてもありがたい言葉に感動しました。これを励みに、次年度以降も社会奉仕活動として継続、発展していければと思います。会員の気持ちを一つにできた、意義ある活動でした。(飯泉良人・記)

亡き妻の聞く小寒の吾が体位

千葉・市川 照井 親資

富士近くなりたる日和三が日

東京蒲田 阪田 昭

初茜あふるさとのやさしさよ

静岡・浜松南 杉浦 仁

雑踏や行き交ふ人も年の暮

岐阜・高山西 小森 丈一

白妙の山連らなれり初御空

石川・加賀 折橋紀与美

名利を座敷のごとく山眠る

京都・福知山 松山ひとし

山畏れ山に親しみ去年今年

和歌山・海南 川上 武

無愛想にあらずただただ悴みて

大阪北 吉田 邦男

寒月や母を看取りて早八日

愛知・瀬戸 玉井美智子

落人のこんな奥まで祖谷の冬

兵庫・神戸西 瀧川 好庸

あらがわず北風に向かひて歩みけり

兵庫・甲子園 田中 由子

春の地震つばさを持たぬ人哀し

徳島・脇町 片山 良樹

去年今年十年日記一行目

香川・高松 大平 昇

鯖酒に程良き酔でありにけり

佐賀・伊万里西 田中 南嶽

北風や木漏れ日づく散歩道

埼玉・日高 野口 明良

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人一枚に三句まで ◆締切日二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』俳壇係宛

柿の実はたわわに実り遠山に
蜜柑色づく古里の道

静岡・浜松南 杉浦 仁

留学生出世したよと年賀来る
結婚出産幸せ便り

岐阜加納 鶴飼 武彦

威儀正しとうとうたり神歌を
謡い納めて歳改まる

神奈川・横浜 長谷川武雄

九十歳のイェルク・デムスの弾くシューベルト
美しくせつなく余韻愛しも

石川・金沢百万石 石丸 恭子

生きている喜びかみしめ賀状書く
歳毎に減る顔浮べつつ

島根・出雲南 小村 尚子

鉄筋がうどんのようにぶらさがる
ビル解体の東京の空

神奈川・相模原 佐藤 清一

あまたなる書類の処分に去来する
社業にかけしわれの情熱

東京荒川 井上 久子

川の瀬で羽根を繕ふ鴨番ひ
水冷たきに化粧忘れず

神奈川・川崎西 吉田 恵一

穏やかに義母は逝きたり百年の
苦勞を胸に深くおさめて

岡山・倉敷東 吉岡 洋子

木の間より春陽キラキラ窓にうけ
夫といたたくお茶のひとつとき

奈良 吉田 佳代

寒いねとひとりつぶやく冬の朝
歌のやうには心暖まらず

長崎出島 伊東 浩子

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人一枚に三句まで ◆締切日二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』歌壇係宛

隠し芸仕事の中で生きてない

長野・辰野 河手 欣哉

今年こそ変わってやるぞと半世紀

京都・宇治鳳凰 辻 幸男

成功は小さな勇気が持つている

愛知・新城 鳥居 栄一

公平な立場に光る友の愛

埼玉・川越 小川 正夫

新しい恋を見破る古い師

大阪東淀ちゃやまち 小坂 克彦

局が増え高齢歌手に晩花咲く

埼玉・行田さくら 小澤 誠邦

爺ちゃんはチャンネル権を孫にやり

新潟・吉田 佐藤 良一

足るを知る余白は今のままで良い

高知西 山岡 陸宏

花一輪愛でて人生良しとする

新潟 小林 悟

次期会長決めて安泰永遠に

大分・中津 福澤 廣明

ケータイがスマホになっても通話のみ

東京池袋 小泉 博明

これで良し考え抜いて一人酒

長崎・諫早 下釜 貞志

瑞穂の国言葉通りの美しさ

大阪・堺 大澤 徳平

子供みなガラガラ嗽新学期

神奈川・横浜旭 吉原 則光

おみくじの凶に負けてはいられない

大阪・豊中 関谷 洋子

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人一枚に三句まで ◆締切日二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』柳壇係宛



稲畑 汀子 選

立つ度につまづくコード春炬燵

東京西南 荒居 隆二

日常の生活の中でよくあることである。炬燵（こたつ）をつないでいるコードにまたしても躓（つまず）いた作者。部屋はあまり広くないのかもしれないので、コードをまたがなければ通れないのかもしれない。それに春炬燵であるから、よく炬燵から出入りするのであろう。この句から春炬燵の状態が描けて、さまざまな想像ができる一句となった。

微笑んで又も微笑む初鏡

千葉・野田 佐野 浩平

新年初めて鏡に向かって粧（よそお）う姿である。いつもより心を込めてお化粧をして、最後に鏡に自分の笑顔を写しているのであろうか。またしてもにつこり微笑（ほほえ）むのも、お正月らしい雰囲気をつえた一句になった。作者は男性であるから、初鏡の女性は妻であろうか、娘であろうか。二度微笑みを繰り返す雰囲気はお正月らしい。

元旦の鎮まる街に心澄む

埼玉・川口中央 谷野 日出人

亡き人の想ひ出ばかり冬田道

埼玉・川口中央 高橋也寸遠

枯蔦の根元は細く生きてをり

千葉・富津中央 三枝かずを



佐佐木幸綱 選

穴八幡冬至の夜宮あかかと
賑はひ居れば吾妹華やぐ

東京ワセタ 福地桂之助

東京の新宿区早稲田にある穴八幡では、冬至の日から立春の日まで「一陽来復」のお守り・お札が授与されるので、江戸時代から大いに賑（にぎ）わってきました。私も学生時代にはよくでかけて行ったの思い出します。

この一首、ご夫婦で冬至祭に行かれた場面です。夜店もたくさん出ていて、大賑わいの境内。奥さまも大いに若やぎ、華やいでおられる様子が目に浮かびます。

壇上に立てば会長顔になる
地位が人間つくと云うが

埼玉・行田さくら 小澤 誠邦

一首のモデルは友人の方でしょうか。あるいはふつうに、あたらしく会長になった人かもしれない。せんし、もしかしたらご自身かもしれない。短歌では、こういうかたちで、自分のことをうたう場合もありますから。

見どころは、結句の「……と云うが」という止め方です。世間では、地位が人間を作るといいますが、まさかこれほどあざやかに変身できるとは！とびっくりしている感じが、結句でうまく出ており、ユーモアの歌として楽しい作に仕上がっています。

気温二度黒雲迫る波野村
神楽の里に初雪のきざし

熊本・竹田 高野 将



てじま晩秋 選

汲みおきの水やわらかく花は吸う

大阪西 鴨谷瑠美子

「汲みおきの水……」現代社会では理解されないかもしれませんが、これこそ文芸人の優しき心です。鴨谷さん、良き季節である春爛漫（らんまん）の朝・昼・晩を存分にお楽しみください。

お土産は外国タバコだった頃

富山・射水 江守 正

五〇年ほど前、親戚や職場の余裕ある先輩の外国旅行のお土産は庶民派のラッキーストライク等々の煙草でした。その一箱を机上に。休みを待つて吸う幸せな瞬間を思い出しております。

なぐさめの言葉が虹色に見える

鳥取・倉吉中央 牧野 芳光

いわゆる「句跨（また）ぎ」（五・七・五ではないが句姿を合計すると十七文字で、結果として定型の形に収まっている）の章です。この句は「ひらがな表記」が活きていて秀逸です。

故郷の鴨居の写真今もなお

群馬・伊勢崎 秋山 春海

「ふるさと」とその懐かしき過去の想い出のフォト……良い景色です。どんどん洋式化されてゆく衣食住。大げさかもしれませんが、たくさんある日本の良さ。その継承も大切です。

塗り潰す場所で人生決められる

香川・高松 大平 昇

アルツハイマー病

(医)橋本孝佑会
奥野クリニック 理事長 奥野 孝

アルツハイマー病による認知症(アルツハイマー型認知症)が認知症の約半数を占めていますが、アルツハイマー病の発症を予防することができるといって私見を交えて述べます。

アルツハイマー病は、アミロイドβというタンパク質が神経細胞内に蓄積するため、神経細胞が変性死滅してしまうことから起こります。神経病理学的には、アミロイドβの蓄積からなる老人斑と、タウというタンパクの異常凝集からなる神経原線維の存在が特徴で、神経画像検査では記憶をつかさどる海馬を中心とした脳組織の萎縮を呈します。アミロイドβが神経細胞内に蓄積する仕組みが判明すれば発症を一次的に予防することができます。

狂牛病(牛海綿状脳症)に罹患した牛の肉を食べた人が牛と同じ海綿状脳症を発症した症例がありますが、タンパク性の感染因子を介していることがわかり、プリオン病と呼ばれる最近、プリオン病と同じタンパク性の感染因子が、アミロイドβの神経細胞内凝集に関与していることが

報告されました。二〇一六年、ノーベル医学生理学賞を受賞した東京工業大学の名誉教授である大隈良典氏は、酵母菌を使い細胞内の不要になったタンパク質を分解して栄養源に再利用する仕組み「オートファジー(自食作用)」を解明しました。アルツハイマー病では、神経細胞内のオートファジーが低下したことからアミロイドβが細胞内に凝集することが原因と考えられています。

脳梗塞が原因で起こる脳血管性認知症は、動脈硬化が主な原因であるため、食生活などでその発症をある程度予防することができます。しかしアルツハイマー病は多様な発病の仕組みから、発病そのものを抑える一次予防的な治療薬が、現時点では存在しません。生活習慣予防の観点から、動脈硬化の原因となるLDLコレステロールを低下させる、魚に含まれる不飽和脂肪酸・イコサペンタエン酸(EPA)の摂取が推奨されています。一方、牛や豚の肉をはじめとする動物性タンパク質の摂取は制限すべきという意見がありますが、このことはアルツハイマー病を発症させる可能性のある感染性タンパク因子が含まれているためであることも知っておいてください。

(第二六四〇地区・和歌山県・橋本RCにて・同RC会員)

公益財団法人 米山梅吉記念館

[開館時間] 午前10時～午後4時
[休館日] 月曜日
12月28日～1月4日
整理のための休館日
(5月、8月の特定日)

〒411-0941
静岡県駿東郡長泉町上土狩 346-1
TEL 055-986-2946
FAX 055-989-5101
Email yumh@ai.tnc.ne.jp



講義は相当厳しく行われた様子で、少しでも時間に遅れると教室には入れてもらえず、講義中は私語も厳禁、常に没頭して聞くようにという米山の要請でした。

この本の冒頭には「常識の意味」としてこのように書かれています。「凡そ人の身を立て世に処せんとするには、必ず先ず常識の門を叩いて其表玄関に刺を通じ、斯くて社会の大広間に案内されなければならぬ。其所に既に先着の客もあるべし、先客必ずしも拔群優秀の士とは限らず、後れて来る者も必ずしも碌々無意の人にはあらず。其の無礼失態なきよう注意すべきは勿論のこと、いささかも個人の中で横柄を蒙るが如きことがあってはならぬ。社会の大広間に於ける作法、我輩は之を常識と称するものである」



『常識関門』表紙

卓話



■「卓話の泉」は、クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

歯科治療最前線

早野歯科医院 院長 早野 泰弘

いわゆる銀歯などかぶせものを作る従来の方法は、まず、歯を削り、歯型をとって模型を作ります。模型の上でワックスを彫刻して作った原型を埋没材に埋め込んで^{いがた}鋳型を作り、金属を溶かして鋳型に流し込みます。そして、鋳型から取り出したものを調整、研磨して完成という、歯科技工士の熟練の技で成り立っていました。

これに対し、^{キャド}CAD/^{キャム}CAM(コンピューター)を利用し、設計・生産・加工を行う技法)を利用したかぶせものの作り方は、型取りして模型を作るところまでは一緒ですが、模型をスキャナーで立体的に読み取り、

コンピューター上で設計、ミリング(切削)マシンでブロックを削り出し、技工士が調整、研磨し完成という製作手順です。

そもそもCAD/CAMは自動車産業など広く工業界で利用されている技術です。大量生産される工業製品とは異なり、一人ひとりのオーダーメイドである歯科には、この技術は不向きと考えられてきました。しかし、近年、セラミック、チタンなど歯科材料が多様化。診査・診断にもデジタル化が進み、コンピューターの性能の向上とともにCAD/CAMを利用した製作物の精度や製作スピードが上がったため、普及が進みました。保険診療でも一部CAD/CAM冠の使用が認められています。

技工所で、模型を読み取るスキャナーのほか、口の中で削ったあとの歯を直接読み込む^{こうくう}口腔内スキャナーがあります。読み取ったデータをそのまま技工所に送ると、かぶせものを作ってもらえます。さらに、読み取ったデータを元に、その場で設計、ミリングし、歯に装着するセレクトシステムという一回完結型の治療システムもあります。将来、すべてのかぶせものや入れ歯が型取りすることなく、その場でできる時代が来るかもしれません。

(第二六三〇地区岐阜県大垣西RCにて・同RC会員)

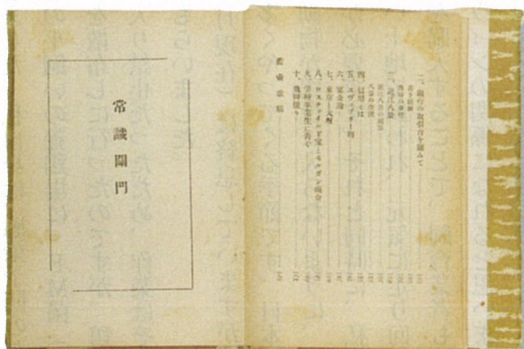
米山梅吉没後七〇年シリーズ

米山梅吉この一冊

常識関門

昭和二十二年一月発行(二二六ページ、定価一円)
(昭和二十七年 第二版 定価二五〇円)

米山梅吉は青山学院で科外講座を担当した時期があり、この本にも米山自身がこのように書いています。「今より一六、七年も前のこと、吾輩が青山学院に於て毎週一回科外講義を引き受け常識判断の題下に経済問題を主として其の實際に即して説話を続けたことがあった」。それらの講義などを中心にしたこの第一版の巻頭には、実業之日本社社長増田義一氏の序文として「米山君は今より十七年前に母校青山学院に於て常識講座を担当せられ、広く学生間の大評判となったことがある」とあります。



『常識関門』



書道コンテストに入賞した生徒を両クラブ一緒に表彰

当クラブと斗六RCは一九八三年五月に姉妹クラブを締結し、三四年目になる現在まで交流を続けています。当初は毎年相互訪問して合同例会を開催してきましたが、会員の高齢化もあり、現在は一年ごとに交互に訪問しています。今回の訪問も合同例会を通じてクラブ間、会員間の親睦を図ることが目的です。

真岡市を朝四時に出発し、台北松山空港に午前十一時三〇分到着。空港で斗六RCの会員十数人の出迎えを受け、初訪問の私は、大変驚きました。さらに斗六から四時間もかけてバスで迎えに来てくれたことを知り、感謝の念でいっぱいになりました。

車中は、日本語を流暢に話す斗六RC会員の通訳で自己紹介を行い、会員同士が旧交を温めたりして、とても和やかな雰囲気の中、有意義な時間を過ごしました。

斗六市と真岡市は当クラブの仲立ちで友好都

市関係を結びました。さらに中学校同士が姉妹校になるという関係もあり、夜六時から始まった合同例会には斗六市長、正心高級中学校の校長も出席していました。

例会中、書道コンテストで入賞した生徒たちに両クラブ合同で表彰状を授与しました。懇親会ではカラオケ大会が始まり、斗六RCの会員には演歌を日本語で歌って歓迎していただき、当クラブ会員もお返しにと歌い、大変盛り上がりしました。

終了後、斗六RCの会員から二次会に誘われた会員、校長から誘われた会員と分かれましたが、双方ともに親睦を深めた一日となりました。

異文化交流を通して、自分たちの現状を考える良い機会になりました。姉妹クラブを締結した当時の会員がなくなり、さらに高齢化が進む中、いつまで交流が続けられるのか。大きな課題が目の前に立ちあはだかっていると感じた訪問ともなりました。

斗六RCの皆さまのご厚意に感謝。

(第二五〇地区 栃木県 司法書士)

突然の鳥インフルエンザに思う

村上 加藤 治郎

西年を前にした昨年十一月末、近くの養鶏場で高病原性鳥インフルエンザが発生し、約三一万羽を殺処分することになりました。当クラブ会員の加藤幹司さんが経営する会社でも応

援に行きました。私自身は、感染予防のために、その近くの平飼いの養鶏場に、E.M菌(有用微生物群)を散布しに行ったのですが、鶏舎の周りが立ち入り禁止だったため、作業はその飼育者にしてもらいました。

今(一月現在)は終息していますが、冬は渡り鳥が多くやってくる季節です。日本中で渡り鳥や小動物が鶏舎に入らないように、これからも注意が必要です。それと同時に、私たち消費者も広い土地で飼われ、元気に走り回っている鶏の卵を購入することで、飼育業者も消費者もウィンウィンの関係になれると思います。

一か所ですくさんの鶏を飼う、ケージ飼育では、一羽でも今回のようなインフルエンザを発症した場合、その養鶏場は全滅で、飼育業者の損失も甚大なものです。これを機会に、私たちの消費スタイルを変える時期がきたのではないかと思います。

(第二五六〇地区 新潟県 酒類販売)



鳥インフルエンザの身近な発生に考えさせられました



昨年度の地区大会で千玄室バストガバナーと

の福井正典ご夫妻も参加されており、ロータリーのことをたくさん教えてもらい、大変勉強になったのを思い出します。

リスボン大会は当時の国際ロータリー（RI）会長が田中作次さんだったこともあり、日本人が大勢参加して大変盛り上がりました。日の丸を掲揚し、「君が代」が斉唱され、会場全体が感動に包まれました。

昨年度、当地区の地区大会では、京都RCの千玄室バストガバナーが講演の中で、「ロータリークラブは参加することに意義がある」と強調されていました。「PARTICIPATE」の言葉を思いながら、これからもロータリークラブの活動に参加したいと思っています。

昨年のソウル大会で一〇回目の参加となり、和歌山南RCから表彰状を頂きました。これを励みに、アトランタ大会に参加することになっています。

（第二六四〇地区 和歌山県 スーパーマーケット）

フレンドシップ委員会 を紹介します！

宮崎 大國 高俊

宮崎ロータリークラブ（RC）には「フレンドシップ委員会」があります。二〇一四―一五年度に新設された委員会、姉妹・友好クラブとの交流推進と、東京、大阪、福岡に結成されている当クラブのOB会の支援と交流促進の二つを目的としています。

この委員会の設立前は、クラブ幹事や親睦委員会、クラブの野球チームなどが交流をそれぞれにフォロワーしていましたが、今はフレンドシップ委員会が一元的にサポートすることにより円滑に、また幅広くフォロワーできるようになりました。まだ設立三年目ですが、すでに当クラブにはなくてはならない委員会になっています。

今年度は、一〇月八―一〇日に佐藤嘉信会長以下四人で姉妹クラブの山形RCを訪問。山形RCがホストを務める地区大会に参加しました。素晴らしい式典の後「ポリオ撲滅キャンペーン記念演奏会」と大懇親会に参加し、たっぷり交流を深めました。

一月一九日には、全国から多くのOB会員が参加する恒例の「OB交流例会」を開催。懐かしい宮崎での思い出をたくさん語り合いました。翌二〇日には懇親ゴルフ大会も開き、笑顔があふれた二日間となりました。

三月一六日には友好クラブである奈良RCの創立六五周年記念例会にも参加してきました。

わがまちの味
阿賀 身欠きにしんのこうじ漬け



北前船がもたらした、雪深い里山のお正月料理。12月に入ると身欠きにしんをこうじで発酵させます。その伝統の味を食べたくて帰省し、お酒を飲みます。そのままもよし、焼いてもよし、最強の健康食品です。

山崎 京子（新潟県・阿賀野川ラインRC）

た。

次年度、わがクラブは創立六五周年を迎えます。これからも「フレンドシップ」の名のもとに、たくさんの方の友情、交流、親睦を育む活動を支援し続けていく委員会でありたいように！

（第二七三〇地区 宮崎県 ITサービス）

台湾・斗六RCを 訪問して

真岡 市村 忠男

一月一九日、宇賀神裕一会长夫妻と会員の総勢二人で台湾・斗六市の斗六ロータリークラブ（RC）を訪問しました。

会津若松ロータリークラブの今年初の例会を一月一日、新年会を兼ねて市内の日本料理店で開きました。例会の出席率は驚異的。というのもこの日は新年をことごとともに、もう一つ、おめでたいイベントが行われたからです。スリランカ出身のカルナティラカ・コスワッタゲ・チャミラ・サンダルワン君は、二〇一一年一三年度の間、当クラブの米山奨学生として会津大学（コンピュータ理工学に特化した専門大学）で学びました。現在は会津のベンチャー企業で働きながら、大学院生として博士号の取得を目指しています。そのチャミラ君が

新年会と三三九度

会津若松 竹田 政弘

くれたエベレスト遊覧と、旧市街地の観光を楽しんで帰国しました。パシユパティナート寺院内には裏手の川に隣接する火葬場があり、骨も灰になるまで焼いてそのまま川に遺灰を流します。この川はガンジス川の支流にあたり、聖なる川ガンジスに帰る様子を目にしました。骨も何も残さないから、ヒンズー教には墓がありません。異文化、死生観の違いを学びました。彼も来春には卒業ですが、ネパールに帰るのでしょうか？ もし日本で就職するのであれば、また親交が続くので楽しみです。その時は「日本のお父さん」から「日本のおじいちゃん」と呼んでもらえる日が来るのかな。お幸せに。

（第二七〇地区 広島県 石油販売業）

さる二月一五日に母国スリランカで結婚式を挙げ、新妻のラクミさんを会津に迎えたのです。南国育ちのラクミさんは初来日。もちろん、雪を見るのも初めてで、会津の冬の厳しさにさぞや心細い思いではないだろうか、とのクラブ全員の親心から、新年会に合わせて温かい歓迎の宴が企画されました。

「ペリー・ビュティフル・タウン、バット・ソー・コールド！」という新妻のチャージミグなあいさつで会場は一気に和み、東山芸妓衆の祝舞いに続き、三三九度の固めの盃が交わされました。

厳かな祝謡、媒酌、祝詞奏上など、すべて会員の手づくり。和やかな中にも心からの祝意と友好の思いがいつぱい詰まった熱いセレモニーとなりました。

到着早々に風邪を引いてしまったというラク



すべて会員手づくりのセレモニー

ミさん、寒さに負けずに二人で力を合わせて、末永くお幸せに！

「国際交流の絆が世代を超えてつながってきますように」との願いを込めて、雪をも解かす温かい拍手を送りました。

（第二五〇地区 福島県 ビル管理業）

国際大会に参加して

和歌山南 大桑 祥嗣

私が和歌山南ロータリークラブ（RC）に入会して一三年になりますが、以前、同じ地区の新宮RCに一〇年余り在籍していましたから、合わせて二〇年以上のロータリー歴になります。

和歌山南RCに入会した翌年にロータリー一〇〇周年を祝う国際大会がシカゴで開催され、参加してきました。月日のたつのは早いもので、あつという間に一〇年以上が過ぎました。その間九回の国際大会に参加してきました。シカゴ大会から始まり、デンマークのコペンハーゲン、アメリカのソルトレークシティ、ロサンゼルス、ニューオーリンズ。イギリスのパーミンガム。タイのバンコク。ポルトガルのリスボン。それからオーストラリアのシドニー、いずれの大会も思い出深い経験となりました。

ロサンゼルスでは大会が終わった後、ロサンゼルス港からメキシコまで三日間の船旅をしました。ツアーには、第二六五〇地区バスターガバナーで、お茶の販売を行う（株）福寿園会長



と、生き方は前向きで積極的です。

関さんの前では「歳だから」という言い訳は通用しません。八一歳の私など、関さんに励まされることが多いのです。

句集名は句集中の「はや銅鑼を打ちて客來る年始め」から付けられました。鎌倉浄明寺のお住まいでの囑目です。

春しぐれ駆込み寺の蛇の目傘

風ありて寺の回廊朝涼し

など句集中の古都の情景は、自家薬籠中の物であり、句に実感の力があります。

関さんはねじ製造会社の代表取締役会長として毎日出社。仕事を離れてから俳句に没頭すると、煩わしい世事の雑念がどこかへ消え去るそうです。その精進から

初硯一氣に筆の走りけり

一湾の光を掬ふ白魚網

夏草の光に揺れて靡くなり

敬老の日やわが周囲みな達者

春隣苦楽の果ての九分十分

といった句が生まれました。

実は私も四六歳の時に新潟東ロータリークラブ

ブの俳句会（五月会）に誘われて、俳句を始めました。現在、俳句結社・嵯峨野の名誉主宰として、全国の句友と俳句を生きがいの一つとして楽しんでます。奉仕活動や趣味は、長生きの秘訣と言われています。これもロータリーに入会したおかげと心から感謝しています。関さんの一〇〇歳の句集が待たれるところです。

（第二七五〇地区 東京都 ホテル経営）

ネパールの結婚式に招かれて

呉 神垣 和典

二〇一二年一三年度米山奨学生マスキ・ビザン君（ネパール）とは、私がカウンセラーを務めたのが縁で、広島大学大学院に進学した現在も、食事をしたり、アルバイトや生活の相談を受けるなど交流が続いています。彼の新婚も同じ大学院生で、ネパールのカトマンズ出身。この度結婚式の招待を受け、こんな機会でもなければヒンズー教の挙式を見たり、観光に行くこともないだろうと思い、好奇心から一人冒険旅行をしてきました。

カトマンズから、四輪駆動車で山岳地帯の悪路を走ること七時間、広島を出て三〇時間、やっと彼の故郷ゴルカ市に到着。市といっても、ここから約一五分登ったところにある。ゴルカ朝（一五五九〜二〇〇八）の旧王宮からは八〇〇段級のマナスル山、アンナプルナ連峰が望める田舎町で、約二年前に起こったネパール地震の震源地でもあります。



日本のおじいちゃんと呼ばれる日が楽しみ

式は二月一日、朝九時から自宅に花嫁を迎える清めの儀式で始まり、昼前にホテルで入前結婚式、その後、新婦が初めて新郎宅に入る儀式が行われました。そして町の寺院で家族だけが祠（ほこら）に入って、ガネス神の額に赤いティカ（もち米の印）をつけてお祈りをし、花嫁が氏子になった報告をしました。私も「日本のお父さん」ということで、特別に入れていただきました。

二人は、マハラジャ風の壮麗な衣装。既婚女性の出席者はみんな赤いサリー。未婚女性はカラフルなサリーで豪華絢爛（けんらん）です。圧巻は一七（二）時までホテルで延々と続く披露宴。来賓などのあいさつは一切なく、音楽隊の生演奏で沖縄民謡によく似たりズムに乗って、近所の人たち約四四〇人が入れ替わり立ち替わり祝いに来て踊り明かしました。二人は記念撮影に引っぱりだこで、これは日本も同じ。

二泊してカトマンズに戻り、彼が手配して

友愛の広場



エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

傘寿の舞

大垣センチュリー 土屋 和馬

恥ずかしながら、傘寿という年齢になって初めて、両親に感謝できる気持ちになった自分があり、本当に幸せに思えた。何かにつけて先祖の墓をお参りし、報告したり、悩みをぶつたり、岐路に立たされた時は守ってほしいと真剣にお願いしてきた。

先日、いつものように墓参りに行き、手を合せていると、涙がこみ上げてきた。こんなに健康な体に産み、育ててくれた両親を思い、かつて逆らったり、軽んじたりしたことが申し訳なく、今はただただありがたいと清らかな気持ちになったのが、自分でも不思議であった。

このところ旧友の突然の訃報や、親しい友人が病に倒れたとの心痛む知らせに、なんとも



やりきれないもやもやを抱え、気分が晴れなかった。命に限りはあるものと知りつつ、そう簡単に悟れるものではない。つらい時、迷った時、悩んだ時は、素直に手を合わせて祈るほかないのである。今、生かされている命を大切に使おうと帰路に就いた。

それからまもなく、京都で武道を修める知人から八坂神社で奉納演武をしないかとお誘いを受けた。八〇歳を迎えたわが人生の区切りと、残る日々をいかに新たに過ごすべきか、決意を込めて演武しようと心を定めた。

私の居合道人生は五〇年近い。未熟な己を情けなく思い、悔し涙を流して稽古に励んだ日々であった。思うような技ができた時は喜びを感じ、礼節を重んじる先人の教えをしつかり身に付けようと汗を流した。居合道は、剣道などほかの武道と違い、真剣を使つての仮想の敵との闘いである。まさに金子みすゞ（一九〇三）

三〇）の詩に見る「見えぬものでもあるんだよ」の心境である。一つひとつの技には理合い（筋道）があり、それを基本に稽古に励むうちに技に命が吹き込まれ、磨かれる。技を磨くことは、己を磨くことでもある。己を磨くことで、また技も磨かれる。殺人剣であつてはならな

い。己にも敵にも感謝できる活人剣でありたい。「自分らしきとは」「己を生かすとは」と自問自答の修行を心がけてきた。それは仕事においても、社会人としても、家庭人としても、ロータリアンの一員としても、役に立っていると自負している。

一月一四日、全日本剣道連盟居合道教士八段として、一技一技に心を込め、全て縁ある人たちへのお礼と感謝の念がこみ上げてくる中で、演武を終えた。素戔鳴尊、櫛稲田姫命を祭る八坂の神前において、生涯忘れることのない感謝の奉納演武をさせていただき、安堵したのである。

（第二六三〇地区 岐阜県 冷暖房配管工事）

『九十五歳の句集 銅鑼』

東京蒲田 阪田 昭

当クラブ会員の関芳之助（俳号・淨山）さんは、一九二一（大正一〇）年五月生まれの九五歳で、二五年間皆出席を続けています。九一歳の時に、当クラブの俳句同好会に参加して、俳句を始めました。

ロータリー活動に熱心で、その情熱を俳句にも向け、上達の早さは驚嘆するばかりです。そしてこの度、四年間に詠んだ句をまとめて『九十五歳の句集 銅鑼』を上梓しました。

山里に春の夕焼明日励まむ

冬近しまだ老ゆまじと薪を積む

歳老いてなすこと多し年の暮



大船渡西ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB OF
OFUNATO WEST



大船渡東高インターアクトクラブの3年生を送る会では、休石会員の両親が丹精込めて育てた野菜がメインの郷土料理が振る舞われた。「岩手県食の匠」のお母さんとその仲間たちがつくった料理の優しい味に感嘆！

家族一人のうちただ一人生き残った人の血が流れているようで、今回も震度六の地震の後、高さ一〇層に及ぶ津波が来るまでの間に街中をすり抜けるという好運に恵まれた。そういう境遇に感謝する気持ちがあつて、復興のために尽力しているのに違いない。

斎藤さんも立志伝中の人と言える。祖父の代までは豪農だった。破産後、祖母が大福餅の製造販売を始めた。その仕事を引き継ぐ条件で高校に進ませてもらったのに、卒業後はいったん警察官になったという。だが、父が病弱だったので、結局、菓子製造の道に入り、昭和三九（一九六四）年、黄身あんをホワイトチョコレートでくるんだ「かもめの玉子」の製法を試行錯誤の末に確立した。そのころ、イカ釣り漁船が好漁のときは船主が酒やお菓子をふるまう風習があり、ヒットしたのだとか。震災後は、

校庭を仮設住宅に占領された児童・生徒たちの運動不足を補うための野球場だ。フランスのリヨンのロータリークラブからの支援の申し出をきっかけにアイデアを練り、総額一八〇〇万円のマッチング・グラント事業にしてもらった。球場の看板には支援してくれたフランス、ドイツ、イタリア、韓国、アメリカ、日本の国旗が描かれている。

濱守さんは、いまは毎日何千食もの弁当や給食をつくる会社の経営者だが、スタートは中学を卒業すると、すぐに外国航路の貨物船の賄い料理人になったことだ。

明治二九（一九九六）年の三陸大津波のときに



東日本震災支援球場に立つガバナーの濱守豊秋さん。「地元の人から、子どもたちの元気な声が聴けてうれしいと言われ、報われる思いだった」

新幹線が動き出し、人も動き出して、復興特需でも言うべき売れ行きだった……。

斎藤さん自らが語る一代記は、微に入り細にわたる、東北弁だから聞き取りにくくはあったが、おもしろいこと、おもしろいこと。「人をほめて伸ばすのが大事。長所を伸ばせば欠点が見えなくなる。人前でほめるのがいい」といった処世訓にも味があつた。

さて、この調子で、お目にかかった人たちみんなの紹介をしていくと、別冊特集号をつくらなければならないほどの分量になる。

それぞれ、どんなふうに元気な人たちが、写真から想像してください。

池辺史生（いけべ・ふみお）
元週刊朝日記者。現在はフリーランスの記者。
佐藤 敬（さとう・たかし）
写真家。人物の撮影を軸に活動。

例会の出席率はまだまだ高いとは言えない





「岩手県手をつなぐ育成会」副会長の上野哲さんは、濱守さんらの協力を得て、知的障害者のグループホーム「もみじ」の再建に力を尽くした



震災当時の会長だった新沼福三さんは美容院の経営者



例会場が流された当時、例会ごとに道具一式を運ぶ役を担った運送会社経営の休石（やすみいし）正基さん



門田崇さんは、津波で店舗を失った銀行や商工会議所などを自分が理事長を務めるショッピングセンターに受け入れた

「早かったなあ。お前のところにある米をすべて譲ってくれと頼まれたのは翌日だったかもしれない」と振り返るのは、南三陸ショッピングセンター「サン・リア」の理事長を務める門田崇さんだ。「はじめは避難所がどこにあるかわからないからうろうろした。そのうち、市から、明日はどこどこへ合わせて二〇〇〇人分とか頼まれるようになり、一か月で五万〜六万食はつくって届けた。代金はもらわなかった」と濱守さん。

さいとう製菓会長の斎藤俊明さんも、自分のところの製品「かもめの玉子」を合わせて二五万個ほど避難所に届けている。それを入れる段ボール箱を床に敷くと寒さがしのげるということで、これも喜ばれたそうだ。

工場は山の手にあるので製造設備は温存されたが、養鶏場で餌が不足、鶏が卵を産まなくなるという事態となり、原材料が入手できなくなると生産はストップ。しかし、一か月足らずで操業を再開した。このニュースは被災地の人々をずいぶん勇気づけたという。

新沼さんは、四軒の美容院すべてを流されたが、

日ごろから避難訓練をしていたので従業員は全員無事だった。それらのスタッフが失業手当をもらえるように手配した後、六〜七人のチームを組んで避難所を回り、カット、洗髪のボランティア活動に励んだ。

「延べ一〇〇〇人くらいやつてあげたかな。停電でドライヤーが使えなかったけれど、喜ばれたね、ことに女性には」

新沼さんは、仲間からアフリカ捕りの名人といわれる漁師だったが、美容師を妻としてからは陸に上がって経営の才を発揮、被災二か月後の五月に気仙沼店を再開したのを手始めに、年内に四店舗で営業再開、いまは六店舗のオーナーになっている。とんでもない働き者の髪結いの亭主だ。

**被災した二か月後、例会を再開
支援物資受け入れの態勢を整える**

クラブは、被災二か月後の五月一九日から例会を隔週で再開し、各地のロータリークラブからの支援を受け入れる態勢を整えた。見舞金ばかりか、軽トラック、マイクロバス、米、酒、ラーメン、

トウモロコシなどの食品、衣類、毛布、ミシン、ストープ、ポータブルトイレ、紙おむつ、二〇万枚のマスク、益子焼のセットなど、さまざまな支援物資が届くので、それをいったん保管するための倉庫を用意したり、必要としているところに配布するためボランティアの人たちの助けを借りたり、新沼さん以下の歴代の会長、幹事、復興支援委員長の濱守さんほかの会員が大奮闘している。

こちら、自分としては多めの義援金を送ったり、大船渡からサンマを取り寄せたりして免許符とただだけの身、いまさらながら、大変だったんだなあ、と当時の状況を想像した。

大船渡西RCのそういう活動が人を引き付けるのだろう。プレハブ横丁の会合の翌日、大船渡魚市場二階の集会所で開かれた例会では、斎藤俊明さんの紹介でまた新たに入会する人があり、現在、会員は六〇人に増えている。

この後、写真撮影のために、幹事の浜田さんにあちこち案内してもらったのであるが、ガバナリーの濱守さんには、例会の前に、末崎地区につくられた東日本復興支援球場に連れて行ってもらった



大船渡西ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB OF
OFUNATO WEST



対応したか、大要を聞いた。その後、プレハブ横丁の居酒屋に行くと、第二五二〇地区のガバナーを務める濱守豊秋さん、大船渡商工会議所の斎藤俊明会長ほか同クラブの主要メンバーが待ち受けてくれた。居酒屋、スナックなど一店舗が並ぶこのプレハブ横丁は、大阪鶴見RCから贈られた三〇〇万円を資金につくられ、大船渡市民ならびに復興のために大船渡に来ている工事関係者の憩いの場となってきたが、間もなく役目を終えて取り壊されるとい

う。話題は、当然、震災当時のことになる。当時の会長・新沼福三さんは、その日、仙台で



(上・中)復興が進む中心街。2mほどの高さだった防潮堤は7.6mの高さになった。(下右)内外からの寄金で建てられた鎮魂愛の鐘は、地震のあった午後2時46分に鳴る。(下左)プレハブ横丁の居酒屋で乾杯！

たからである。浜田さんは、出張先の盛岡から車を飛ばしてその日のうちに帰った。流されてきたタゲボートに直撃された自宅は二〇〇坪も離れたところにあった。二階にいた母は救出されたが、父親は孫のアルバムを取りに階下に取りつたときに津波に襲われ、亡くなっている。娘さんとも連絡が取れなかったが、翌朝、高台の中学校で難を逃れていたので

がれきの町でたまたま新沼さんに出会った現幹事の浜田さんは「幽霊じゃないかと思った」という。携帯がつかないの、で消息不明の新沼さん、犠牲になつたらしいというわさされてい

る美美容院は四店舗すべてが津波に流されていた。学生生活を送る娘さんの引越しの手伝いに行っていた。二日ばかりで大船渡に戻ったが、経営する



かもめの玉子の斎藤俊明会長。この人に誘われて入会した人は何人になろうか



幹事の浜田浩誠さんはプロパンガス会社の専務



会長の藤原太伸さん。復興の現場で自ら重機を操る藤原組の社長

再会できた。

現会長の藤原太伸^{ひろのぶ}さんも自宅を流され、母を亡くしている。

人口が四万人余りだった大船渡では、五五〇〇を超える家屋が損壊、四一九人が死亡・行方不明となっている。当時、大船渡西RCの会員は四五人だった。命を落とした人は一人。しかし、七割の人が被災している。

シヨックは大きかった。だが、みなさんの話を聞くと、復興に向けての立ち上がりが極めて早かったことがわかる。

浜田幹事によると、故金野健^{きんの}社長（大船渡RC）の号令一下、明和土木の社員が市から依頼されるより先にシヨベルカーなどを大動員するというふうで、津波から二日目には市内の道路のがれきがほぼ片付けられ、通行可能になったという。ちなみにこの会社の常務の前野良雄さんは大船渡西RCの会員である。

被害に遭わなかったほかの会員の動きも素早かった。弁当屋を営む濱守さんは、直ちに炊き出しを始めた。

東日本大震災から六年 復興に尽力した。パワフルな人たち

文・池辺史生 写真・佐藤 敬



被災後、速やかに
職業を生かした支援を開始

大船渡西ロータリークラブ（RC）会員のパワフルなことに感嘆、感服した三日間であった。例会は木曜日の昼に行われるというので、水曜



日中に大船渡入りすることにした。東京から東北新幹線のやまびこで二時間半、一ノ関で下車、レンタカーで東に向かった。宮城県の気仙沼、岩手県の陸前高田を経由して大船渡に入るコース。二〇一一年三月一日の東日本大震災から六年、被災地の復興の様子を観察しながらの一〇〇キロ弱の道中だった。

午後三時ごろ、かさ上げされた土地に新築されたホテルにチェックイン。出迎えてくれた大船渡西RCの浜田浩誠幹事から、大津波に襲われた大船渡がどのように復興しつつあるか、会員はどう

例会は新装なった魚市場の2階で行われるようになった。ペランダに出ると、眼下に大船渡湾が広がる



すが、同時に、自分の内側のリスクについて知る、自分の体の動きについて知って対策を講じる、自らが実行するヘルスケアも大切なことです。

ホルモンの仕組みについて知り、基礎体温を記録してみる、ストレスを減らして休養を取る、こと、食生活は塩分、アルコール、カフェインを制限し禁煙するなどの工夫を試みる、こと、女性の体に必要なサプリメント（ビタミンB6、マグネシウム、カルシウム、ビタミンE）などを摂取すること、適度な運動とそしてリラクゼーションも必要。頑張りすぎはいけません。セルフケアは専門家と相談し、適切な診断を仰いで行うことが大切です。

女性の心身の総合的ケアは、これからとても大事なことになってきます。婦人科医師、美容家などの専門家、身近な家族や地域の人々など、本当にさまざまな職業にかかわる人たちの協力が大切です。その場合、ネットワークをつくり、協力し合って、連携し合って進むことが良いと思います。

同時に、これらの療法は男性の健康度も高める健康療法としても機能しますから、本人だけではなく、周りの人も知識を得られます。まず女性が、家庭の中で新しい治療や健康法を試みれば、男性や子どもへも、その知識はすぐに広がるのではないか、と私は思っています。

最近増えている子宮頸がんなどは、二五〜四四歳にかけて患者数のピークを迎えます。つまり今、二〇代の人たちがきちんとがん検診を受けないと、本当のがんとして完成してしまってからでは、命を失うことにもなりかねない、という危機感が私たち産婦人科医にはあります。

そのためには何をすればいいか。症状がなくて

もまず検診を受け始めることです。乳がんは今、一二人に一人、子宮筋腫は三人に一人、子宮内膜症は一〇人に一人がかかると言われてます。これらの病気を合わせますと、数字の上では三〇代から四〇代の女性の三分の二は、何らかの形で異常を持っているということになりますが、検診を受けている人たちはその一〇分の一、と言われてます。

乳がんは大きくなると自分でも触ることができるようになりますが、触るようになってからでは遅い。なるべくミリ単位、できればもっと極小な、微細なうちに見つけたい。これが、検診の極意です。触れないものを見つけないこと、これが画像診断です。一番エビデンスがある、と言われているのがマンモグラフィー、乳房レントゲン撮影ですが、エコー（超音波検査）も若い世代に適している、ので、ぜひ、受けていただきたいものです。

一回一回の検診では、どうしても見逃しが二〜三割は出てしまう恐れがあるので、毎年受診する、あるいは二〜三年に一度は検査を組み合わせて受けるようにしてください。四〇代以上の人には毎年をお勧めしています。早期発見により、早めの対策が立てられますから。

一〇〜二〇代でヘルスケアのかりつけ医を持ち、二〇代になったら婦人科超音波検査を、もし性交経験があるなら併せて子宮頸がん検診を、三〇代になったら乳がん検診（エコーやマンモグラフィー）も加え、四〇代から更年期対策に、五〇代からはメタボ対策に、というように、専門家と相談しながら、自分の将来の健康プランをつくってほしいと思います。

とにかく、多忙な現代女性は気をつけて二〇代

から三〇代にかけては、月経関連の疾患と子宮内膜症の早期発見や不妊の予防などに努め、自分の妊娠能力とメンタル力、体力を守るスキルを身に付けることが肝要です。

女子には、ぜひもっと教育と経済力を、と提言しているのが、国際連合人口基金（United Nations Population Fund）です。「Motherhood in Childhood」と言って、まだ少女なのに母親になってしまふ、一四歳以下でも子どもを産む女性が、世界にはまだたくさんいます。子どもを産んだ少女は学校にも通えなくなり、教育を受ける機会を失い、将来的にはろくな仕事にも就けません。

普通の女性が普通に仕事を行い、職場にも公共の空間にも、子どもを連れて出かけることが当たり前になっている今、女性の健康も男性の健康も子どもの健康もみな、全てがつながっています。そして、今の自分たちだけではなく、未来の姿まで変えていきます。

女性の健康は女性だけのものではありません。女性が健康で生き生きとした状態だと、家庭や社会全体が健康になります。女性の健康サポートが、地域や社会の活性化につながるのです。

毎日、毎年、良い習慣を積み重ねていくことが私たちの未来、家庭や地域を変えていきます。それが世界にとっても大事なことであり、日本が、世界に率先してヘルスケアを推し進め、世界で一番おもてなしの高い、スキルの高い社会になることが日本の産業になり、世界に対して貢献できることになる、と私は信じています。

ぜひ、女性の健康を支援してください。そして女性と一緒に健康になり、幸せになっていたきたいと思っています。

います。現場の産婦人科医の頑張り、それを支えてくれる地域の保健師、看護師、そして家族のみんなの総合力だと思っています。

一方、父親は長時間労働の体制にあり、家にいる時間が少なく、最近はやく半数くらいの人々が「育児に参加する」とは答えています。北欧のレベルに届くにはまだまだです。日本の男性ももう少し、家庭や地域で過ごす時間を増やすことができれば、育児に関しても、それから妊娠・出産に関しても、より参画でき、かつ男性の健康度・貢献度が上がっていくだろうに、と私は思います。

今、社会全体に貧困が増えています。特にひとり親の家庭にひどい貧困が広がっています。貧困家庭では、住居費、光熱費、食費、交通通信費、医療費などはどうしても削ることが難しいです。で、まず教育費が削られていきます。

また、貧困はどうしてもいじめや児童虐待の背景になりやすく、それらが暴力支配、性的役割の固定や個の否定、最終的には「何をしてもだめ、現状は変わらない」という諦めの気持ちへとつながっていくと、社会学者たちは述べています。

貧困家庭の抱える問題を放置したままでは、虐待死が発生します。現代社会では、子どもへの虐待が増えています。私たち婦人科医は、ただ虐待の数が増えたのではなく、虐待死を増やす背景が広がっている、と考えています。

その背景には、母親が周囲から孤立したまま出産に臨む現状、いわゆる「若年女性の望まない妊娠」があるとされています。子どもの主たる虐待者というのは、ほとんどが母親なのです。子どもが生まれた時に母親しかいない、周りから孤立しているという状態をよく反映しています。

こうした現代社会の問題は、みんなつながっているのではないかと私は考えています。

女性の健康は女性だけのものではない

女性の健康は、男性の健康とは違う面があります。それは性ホルモンの違いによります。女性は、女性ホルモンの波に乗りながら、仕事も子育てもこなしていると言えます。このような女性の体や心の健康特性について、自分自身がよく知って、自分の体や心と上手に付き合う、これが現代女性にとって大事な健康課題だと思います。婦人科検診はきちんと受け、早めにチェックして、起ころうとする、を回避することが大事です。

平均寿命が男性八〇歳、女性が八七歳以上になる現代の日本ですが、健康寿命、つまり日常生活に制限のない期間は、女性は男性に比べて短いのです。女性は七〇代後半から骨粗鬆症・認知症になりやすく、衰弱して不自由な生活を過ごす期間が長くなっています。

一方、若い女性にも大きな問題があります。無月経、三か月以上月経がこない人が増えています。また、痩せすぎによる骨粗鬆症、骨折も起きています。月経痛がひどい女性には子宮内膜症の恐れがあります。子宮内膜症は不妊や卵巣がんになりやすいのです。若い時に月経痛がある女性は二、六倍、子宮内膜症になりやすいという数字も出ています。若いときにきちんとケアしていれば、将来の不妊も防ぐことができるのです。

特に重篤な病気が潜んでいなくても、生理前に二週間ほど、イライラしたり倦怠感^{けんたかん}を覚える、月経前症候群（PMS）も増えています。月経のある女性の五〇〜八〇割の人、四人中三人に見られる症状とされ、ほとんどの女性が思い当たることではあります。日常生活にまで差し支える人が一〇割ほどいて、精神科へ通院する人もいます。

これらに対しては総合的に、女性の健康をケアしていくという方法が大事です。月経トラブルの治療とヘルスケア、これは私も取り組んでいます。低用量ピルや精神安定剤、抗うつ剤、あるいは漢方などの薬物はもちろん使って治療は行いま

■ 女性ライフクリニック銀座院長

対馬ルリ子



青森県八戸市生まれ。一九八四年 弘前大学医学部卒業後、東京大学医学部産婦人科教室助手、都立墨東病院総合周産期センター産婦人科医長などを経る。二〇〇二年（医）ウイミンス・ウェルネス銀座クリニック（現女性ライフクリニック銀座）開設、理事長。〇三年 NPO法人「女性医療ネットワーク」設立、理事長。一二年 女性ライフクリニック新宿併設。日本思春期学会理事など、役職多数。日本産婦人科学会認定医。母体保護法指定医。厚生労働省「女性の健康の包括的支援総合研究事業」研究班所属。『女性検診』がよくわかる本 小学館、二〇〇六年など著書多数。東京銀座新ロータリークラブ会員。

言いますが、日本では今、三〇・六歳となつていきます。都会ほど「そろそろ子どもを」と思う年齢が上がってきていて、東京の私のクリニックに「初めて、子どもを産もうと産婦人科に來たのですか……私はこれから子どもが産めるでしょうか」と真剣に相談にいらつしやる方々の年齢は、三八歳から四〇歳くらいです。皆さま、一流の大学を出て一流の仕事に就き、社会の最前線で働いているエリートの方々です。

私は医師として「四〇歳近くになると女性の妊娠する力は弱くなっている」という事実を伝えなければならず、それを聞くと皆さん、ショックを受けられます。「そんなこと、誰も私に言ってくれませんでした」と。こうした反応は当然だと思えます。将来の妊娠に関する情報が全くない中で、彼女たちは必死で働いてきたのです。

母子の健康は 地域の健康と発展に 重要な役割を果たす

現代日本は本当に女性が働きやすい社会なのか。子どもを産みやすい社会なのか。「ジェンダーギャップ指数」で見ると、日本の順位は低いのです。この指数は男女格差を測る物差しの一つですが、日本は二〇一六年は一四四か国中、一一一位でした。トップにはアイスランド、フィンランド、ノルウェー、スウェーデン……と北欧諸国が並びます。イギリスには、『エコノミスト』という週刊新聞がありますが「日本企業は、慎重に紙をリサイクルするが、女性の能力を無駄にしていることには無頓着だ」（二〇一一年一月五日号）と

掲載されてしまいました。

女性の埋もれた能力をどう發揮してもらうのか。もし女性の活躍が男性と同じ程度になったら、つまりジェンダーギャップを埋めるようになったら、日本のGDP（国内総生産）は約一・三割上がるだろうと、ゴールドマンサックスは試算しています。そのような現状を背景として私は、女性の健康をどのように支えていったらよいのだろうか、女性が安心して活躍できるためには、どのようにしたらいいのか、と考え続けています。

一つには、婦人科系の疾患をなるべく少なくする、早期に発見しひどい状態にならないようにしたい、と思っています。乳がん、子宮頸がん、子宮内膜症などの婦人科系疾患を抱えて働いたり、出産したりする女性たちが急激に増えているからです。政府は、女性の活躍推進を成長戦略の一つとして掲げていますが、この人たちの年間医療費、生産性の損失というのは、日本医療政策機構の二〇一五年のデータによれば、現在少なくとも六・三七兆円（医療費一・四二兆円、生産性損失四・九五兆円）にも上ると言われています。

これを何とかして、削減したいと思えます。お金の問題だけではありません。一人ひとりの女性の生活の質、そして人生を向上させることに直結しています。かつては、妊娠・出産の健康が女性の健康の問題のほとんどを占めていましたが、今では各年代、各ステージにまたがっているいろいろな問題が生まれています。

今、女性ホルモンの分泌が活発で妊娠・出産にふさわしい年代（二〇～四〇代）の女性たちが、あまり子どもを産みません。そのために増えているのが子宮内膜症、子宮筋腫、乳がん、子宮体がん、卵巣がんなどの婦人科系の病気です。

また、更年期には更年期障害が起こるだけではなく、女性ホルモンの守りがなくなってくる時期ですから、女性も生活習慣病が増えやすいのです。高血圧、糖尿病、高脂血症などが増えてきます。そして老年期には、骨粗鬆症、認知症。女性は男性よりも、これらの疾患がだいぶ多いことが知られています。

そもそも、女性の働き盛りは妊娠・出産に一番ふさわしい時期でもあるのです。これが両方とも可能になるよう整備され実現できている国というのが、ジェンダーギャップが少ないと言われているヨーロッパ諸国なのですが、今、日本や韓国などでは、三〇代前後の女性たちが働くことと妊娠・出産の関係がうまくいっていません。

母子の健康は、地域の健康と地域の産業発展にとっても重要な役割を果たすと言われています。二〇〇〇年、国連ミレニアム開発目標には、八つの目標が掲げられていました。その中で「開発と貧困撲滅」によって「教育の確保、出産死亡率の低下、感染症予防」が、「人権、民主主義および良い統治」によって「女性に対する暴力に対抗し、女性差別撤廃条約を実施」が実現できるとして、二つの目標が立てられました。このように、母子の健康を整えることは個人の範囲にとどまらず、地域に確実に良い影響を及ぼします。

周産期死亡とは妊娠・出産の時に赤ちゃんが亡くなることを言いますが、この周産期死亡率だけを見ても、日本は大変低いのです。先進国の中でも最も低率で「世界で最も安全な出産のできる国」であることが示されています。こんなに産婦人科医が少ない環境の中で、かなり頑張っ



世代を超えた「母子の健康」が今、求められています。© Alyce Henson / Rotary International

供するだけではなく、一人ひとりの女性や母子が生きていく力を持つことを後押しする教育や支援を進めています、すなわち世代を超えた「母子の健康」が今、求められています。

なぜなら、女性の健康は、次世代の健康に直結するからです。新しい、いろいろな生き方をするようになった女性たちが、どのように快適に人生を過ごし、どのように病むことが少なく、どのように自分がしたいことを実現できる世の中にしていくか。経済状態、衛生状態は昔と違ってすっかり良くなり、女性は長寿になりましたが、婦人科医の私としては、女性の人生が人として尊厳のある、クオリティーの高いものであるようにするためには、若い時から、どのようなことを積み重ねていかれるかが大事だと思っています。

胎児の時から亡くなるまで、人が生きていく過程を、健康という視点をもって眺め設計していくことを、WHOは「ライフコースアプローチ」と呼んでいます。私は、それはすなわち健康力を身に付けることだと思っています。

健康力とはつまり、情報を持つということ、そしてそれを理解し、自分なりに取捨選択をし、自分の生活や行動に生かすということ。これを別の言葉で「ヘルスリテラシー」と言うのですが、日々この判断を繰り返していくことにより、その人らしい健康な人生になっていくということです。

ヘルスリテラシーが低いと、人は健康が損なわれやすく、医療費がかさむような大変な病気になりやすく、慢性的な病気にかかる、けがをしやす、などの救急サービスを受ける事態が多くなります。

女性が初めて子どもを産む年齢を、初産年齢と

母子の健康

女性の健康は女性だけのものではありません。女性が健康で生き生きとした状態だと、家庭や社会全体が健康になります。女性の健康サポートが、地域や社会の活性化につながるのです。

女性ライフクリニック銀座院長 **対馬ルリ子**
Ruriko Tsushima

女性の健康は

次世代の健康に直結

女性は年を取るにつれて、人生の課題を持ちながら、実にさまざまなステージに立ちます。戦後、女性のライフスタイルは激変しました。長寿になり、閉経後の人生が長くなりました。高学歴になり、職業を持ち、同時に、出産数が減ることにより月経回数が増加しています。「健康であること」を意識することは、小さいころから学んでいくことによって実現していきます。

WHO（世界保健機関）憲章による健康の定義は「健康とは、病気でないとか、弱っていないというだけではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態（social well-being）にあることをいいます」となっています。健康は他人が決めることではなく、自分自身が内側で感じることで、決めること。健康は自分の内側にあるのです。

健康をつくっていくのは、毎日の習慣です。バ

ランスの良い食事、運動の習慣は当然として、体調管理や良好な人間関係を保つこと、自分が大事な人間であるという感覚を持つこと、これも social well-being にとっても大切なことです。毎日ストレスを感じる人は多いですが、そのストレスを上手に回避したり、上手に付き合っていくことで、私たちは心も健康でいられるのです。

タバコを吸わないこと、きちんと休みを取ることで、一つひとつが大事な健康の財産だと思います。そして、健康診断です。健診は、現代人にとっても大事な健康習慣となります。症状が出た時は既に病気が進行しています。早期発見してこそ悲しい思いをしなくてすみ、自分の健康寿命を延ばしていくことができます。

ロータリーは、母子の健康について「ロータリー財団は、ロータリアンが以下の形で、母子の健康を改善するのを支援します」として、

一 五歳未満の幼児の死亡率と罹患率の削減
二 妊婦の死亡率と罹患率の削減

三 より多くの母子に対する基本的な医療サービスの提供、地域社会の医療／保健関係のリーダーと医療提供者を対象とした母子の健康に関する研修

四 母子の健康に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための奨学金の支援の四つを提言、さまざまな活動を奨励しています。

現代社会では、母子の健康というテーマは発展途上国だけの問題ではありません。日本の社会でも真剣に考える時代が来ています。子どもの数が減り、人口が減り、産業が衰退していくことが危惧されているからです。

婦人科の医師は、さまざまな医療サービスを提

4月は母子の健康月間です

THE ROTARY-NO-TOMO

母子の健康

■女性ライフクリニック銀座院長 対馬 ルリ子

 4
73

シリーズ クラブを訪ねて

東日本大震災から六年 復興に尽力したパワフルな人たち

大船渡西RC・第2520地区

文：池辺 史生 写真：佐藤 敬

 9
68

友愛の広場

傘寿の舞

大垣センチュリー

土屋 和馬

『九十五歳の句集 銅鑼』

東京蒲田

阪田 昭

ネパールの結婚式に招かれて

呉 神垣 和典

新年会と三三九度

会津若松

竹田 政弘

国際大会に参加して

和歌山南

大桑 祥嗣

フレンドシップ委員会を紹介します！

宮崎

大國 高俊

台湾・斗六RCを訪問して

真岡

市村 忠男

突然の鳥インフルエンザに思う

村上

加藤 治郎

●わがまちの味

卓話の泉

歯科治療最前線

大垣西

早野 泰弘

アルツハイマー病

橋本

奥野 孝

 18
59

米山梅吉の二冊

ロータリー俳壇

◆稲畑 汀子 選

 20
57

ロータリー歌壇

◆佐佐木幸綱 選

 20
57

ロータリー柳壇

◆てじま晩秋 選

 20
57

ロータリー・アット・ワーク

障がいのある人もない人も共に楽しもう！

八潮ロータリークラブ

〈写真〉上尾／鹿兒島／高槻西／宮崎・宮崎中央・宮崎西フェニックスオーシャンRAC／長崎北／関／京都西山／東金／宇都宮陽北／函館／京都田辺／御坊／太田／結城／岐阜中山道／神戸北

 22
55

わたしの夢・ぼくの夢発表会

児童養護施設の子どもたちとイモ掘り

米山奨学生・学友と高校生との交流会

タイの子どもたちの生活環境を改善

ネパールの学校建設支援とインターアクター海外研修

フィリピンにおける歯科医療奉仕

文化と自然の恵みに感謝する職域訪問

和つと大須！ 笑顔いっぱいの大茶会

高齢者を対象にウオーキング大会を開催

少女たちの夢の一助に TENT を寄贈

神奈川県ロータリーアン親睦テニス会を開催

第二五九〇地区・第二七八〇地区

五輪選手・上田藍さんの出前授業を開催

夢をかなえる一歩へ 少年サッカー大会開催

グレン&千杯 田中作次旗 ロータリー選抜野球大会

旭川東北RC旗争奪バレーボール大会を開催

表紙 横組み ◎ Rajesh Kumar Singh / Rotary International

縦組み ◎ Alyce Henson / Rotary International

表紙題字 加藤 光峰

表紙レイアウト 箕牧 彰

 ●横組みの目次は、反対側の表紙を開いた4・5ページにあります。
●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。


鹿兒島南

岡崎東

東京世田谷南

いわき平中央

橋本

市原中央

大阪淀川

名古屋大須

東京東村山

埼玉ゆず

船橋

神戸南

熊野

旭川東北



THE ROTARY-NO-TOMO

ロータリーの友

4

2017
APRIL

VOL.65 NO.4



SPEECH

母子の健康

対馬 ルリ子

クラブを訪ねて
大船渡西ロータリークラブ

Rotary

